

第3章

設問項目ごとの集計結果
(要介護者等調査)

第3章 設問項目ごとの集計結果

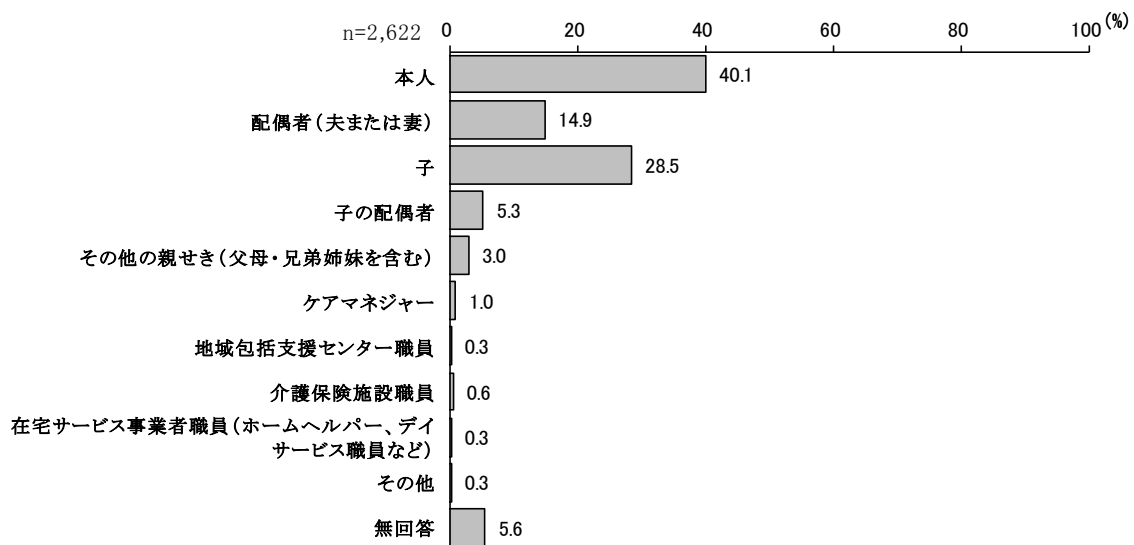
1 調査対象者の属性

(1) 調査票の記入者

対象者全員

問1 この調査票を記入される方は、ご本人からみて、どなたにあたりますか。ご本人から見た続柄等でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

○回答者は「本人」(40.1%)が最も多く、次いで、「子」(28.5%)、「配偶者(夫または妻)」(14.9%)となっています。



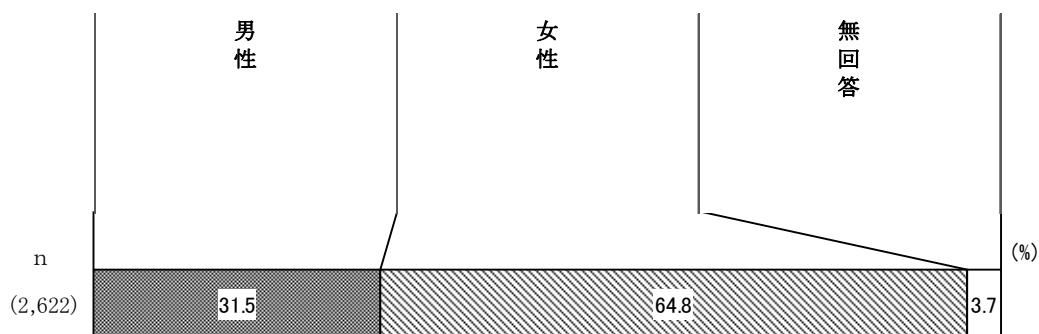
(2) 性別

対象者全員

問2 ご本人の性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※現在の社会生活上の性別(自分がどちらの性として日常生活を送っているか)をお答えください。

○本人の性別は、「男性」(31.5%)、「女性」(64.8%)となっています。

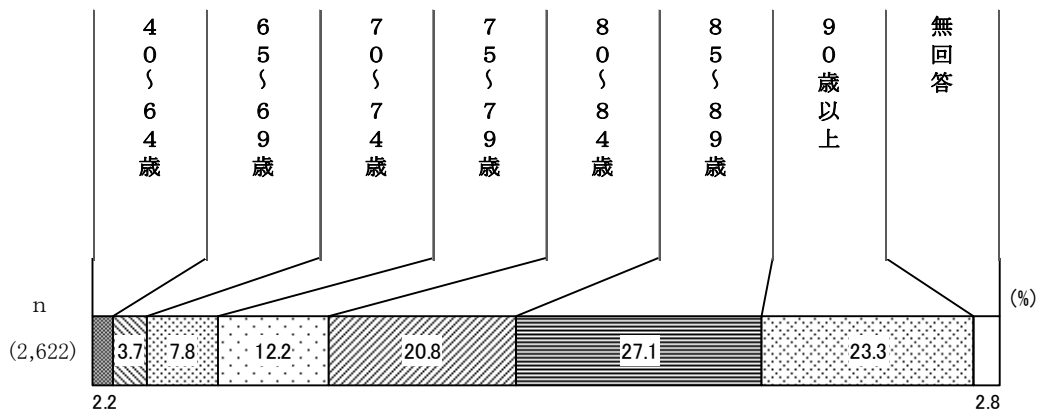


(3) 年齢

対象者全員

問3 ご本人の年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

○本人の年齢は、「85～89歳」(27.1%)が最も多く、次いで、「90歳以上」(23.3%)、「80～84歳」(20.8%)となっており、後期高齢者(75歳以上)が83.4%を占めています。

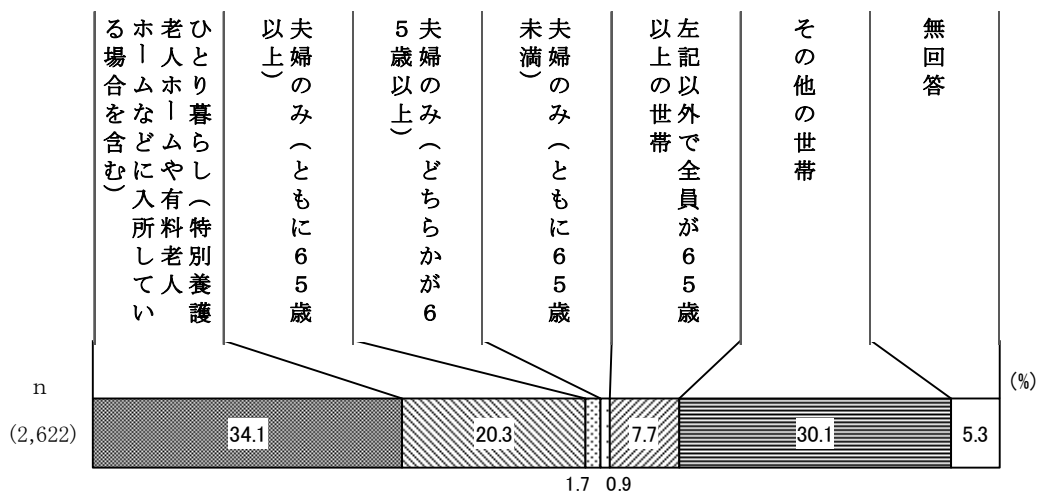


(4) 世帯の状況

対象者全員

問4 世帯の状況は次のどれですか。(あてはまるもの1つに○)

○世帯の状況は、「ひとり暮らし(特別養護老人ホームや有料老人ホームなどに入所している場合を含む。)」(34.1%)が最も多く、次いで、「その他の世帯」(30.1%)となっています。

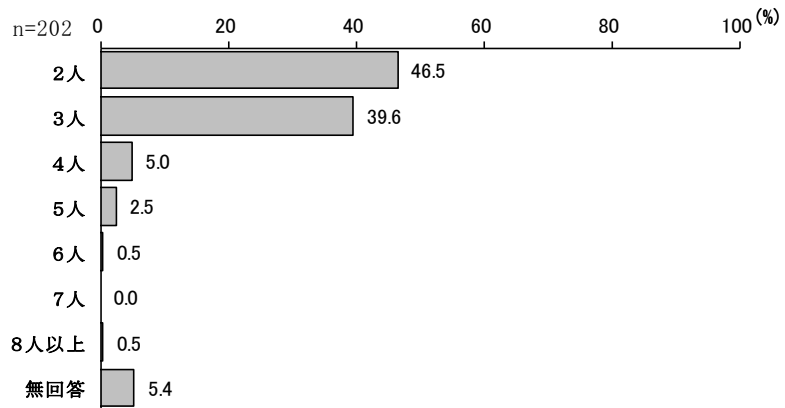


(5) 世帯全員の人数

対象者全員

問4-1 【問4で「上記以外で全員が65歳以上の世帯」に回答した方】
世帯全員の人数をお書きください。 ____人

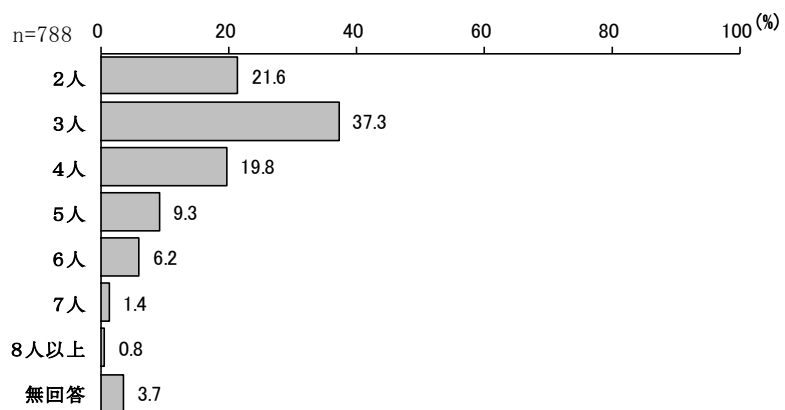
○世帯の状況で「上記以外で全員が65歳以上の世帯（「ひとり暮らし」、「夫婦のみ」以外で全員が65歳以上の世帯。）」と回答した方の世帯人数は、「2人」（46.5%）が最も多く、次いで「3人」（39.6%）、「4人」（5.0%）となっています。



対象者全員

問4-2 【問4で「その他の世帯」に回答した方】
世帯全員の人数をお書きください。 ____人

○世帯の状況で「その他の世帯」と回答した方の世帯人数は、「3人」（37.3%）が最も多く、次いで、「2人」（21.6%）、「4人」（19.8%）となっています。



(6) 現在居住している地域（中学校区）

対象者全員

問5 現在お住まいの中学校区をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

○現在の居住地域（中学校区）は、太白区の「長町中」（3.3%）が最も多く、次いで、青葉区の「五橋中」、宮城野区の「宮城野中」（ともに2.7%）となっています。

また、5区別の構成比は、「青葉区」27.2%、「宮城野区」15.7%、「若林区」9.8%、「太白区」21.6%、「泉区」20.8%となっています。

※地区全体の母数は、2,622人です。

〈青葉区〉地区全体 27.2%

n=714

五橋中	2.7	大沢中	1.3	折立中	1.0
上杉山中	1.7	北仙台中	2.1	広陵中	0.4
五城中	1.6	桜丘中	1.4	三条中	1.9
第一中	2.3	第二中	1.7	台原中	2.4
中山中	1.9	錦ヶ丘中	0.3	広瀬中	2.3
南吉成中	1.3	吉成中	1.0		

単位：%

〈宮城野区〉地区全体 15.7%

n=411

岩切中	1.7	幸町中	1.2	高砂中	1.4
田子中	1.1	鶴谷中	1.9	東華中	1.3
中野中	1.4	西山中	1.3	東仙台中	1.7
宮城野中	2.7				

単位：%

〈若林区〉地区全体 9.8%

n=256

沖野中	1.6	蒲町中	1.8	七郷中	1.1
八軒中	1.8	南小泉中	1.9	六郷中	1.5

単位：%

〈太白区〉地区全体 21.6%

n=566

秋保中	0.3	愛宕中	0.9	生出中	0.5
郡山中	1.8	富沢中	2.0	中田中	2.0
長町中	3.3	西多賀中	1.5	人来田中	1.3
袋原中	2.1	茂庭台中	0.6	八木山中	2.4
柳生中	1.3	山田中	1.6		

単位：%

〈泉 区〉地区全体 20.8%

n=546

加茂中	2.1	向陽台中	1.8	将監中	1.5
将監東中	1.3	松陵中	1.0	住吉台中	0.6
高森中	1.2	長命ヶ丘中	1.2	鶴が丘中	1.6
寺岡中	1.1	七北田中	1.0	南光台中	1.7
南光台東中	0.8	根白石中	0.5	南中山中	1.2
八乙女中	1.5	館中	0.5		

単位：%

〈全 域〉

n=129

わからない	1.1	無回答	3.9
-------	-----	-----	-----

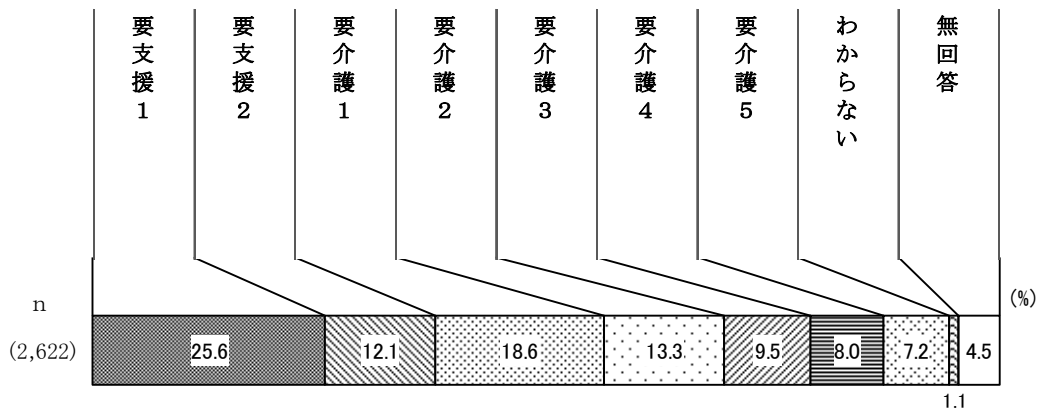
単位：%

(7) 要介護度

対象者全員

問6 現在の要介護度は次のどれですか。(あてはまるもの1つに○)

○要介護・要支援度は、「要支援1」(25.6%)が最も多く、次いで、「要介護1」(18.6%)、「要介護2」(13.3%)となっています。なお、前回調査(平成28年度)より、「要介護1」が1.2ポイント、「要支援2」「要介護5」が0.6ポイント高くなっています。

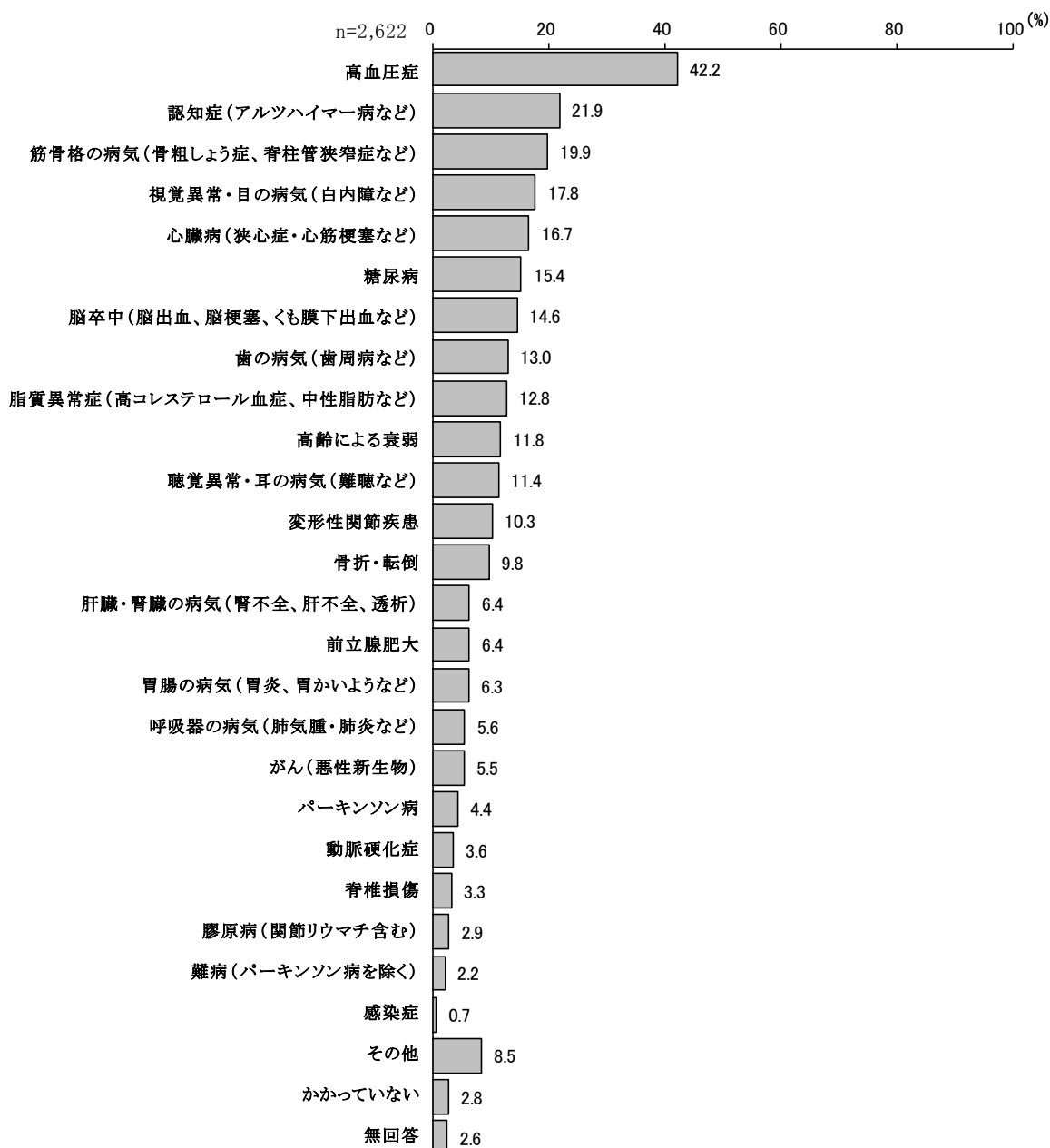


(8) 傷病の状況【複数回答】

対象者全員

問7 現在、次のような何らかの傷病にかかっていますか。(あてはまるものすべてに○)

○傷病の状況は、「高血圧症」(42.2%)が最も多く、次いで、「認知症(アルツハイマー病など)」(21.9%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症など)」(19.9%)、「視覚異常・目の病気(白内障など)」(17.8%)、となっています。



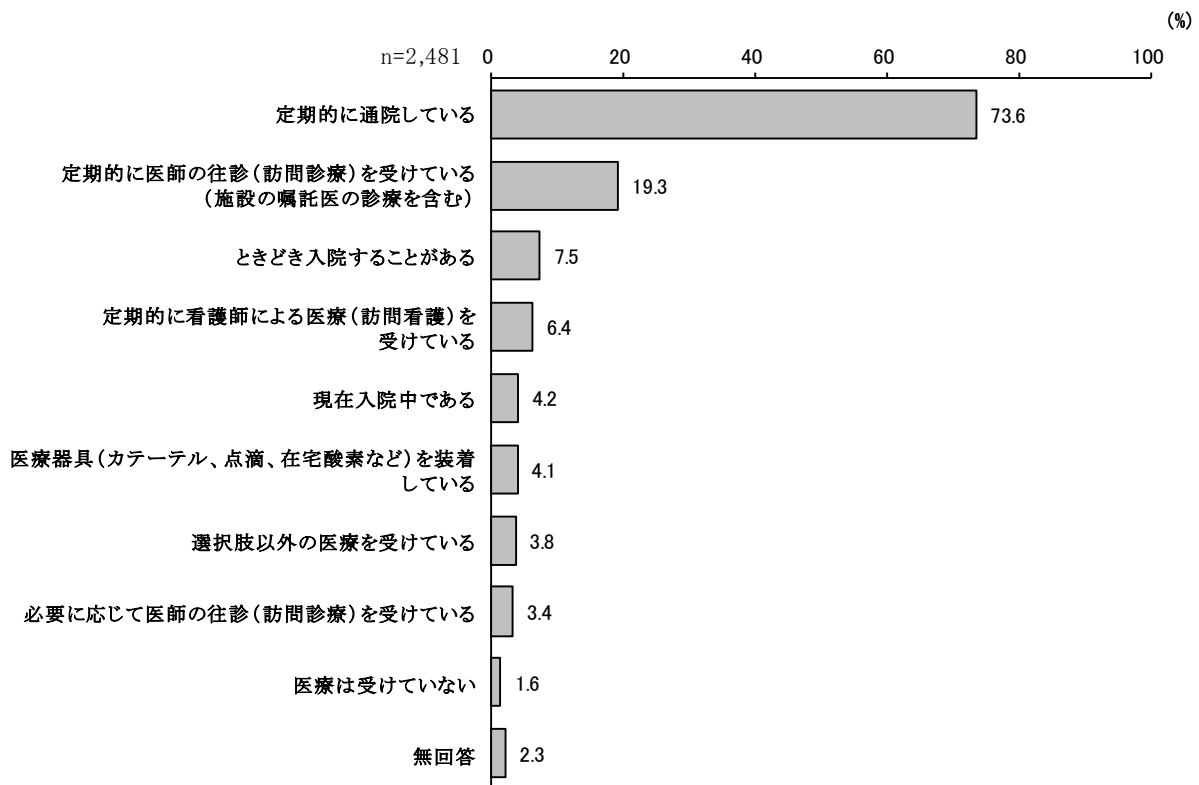
(9) 傷病に対する医療処置の状況【複数回答】

対象者全員

問7-(1) 【問7で「傷病にかかっている」と回答した方】

現在かかっている傷病で、次のような医療を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

○傷病に対する医療処置の状況は、「定期的に通院している」(73.6%)が最も多く、次いで、「定期的に医師の往診(訪問診療)を受けている(施設の嘱託医の診療を含む)」(19.3%)となっています。なお、前回調査(平成28年度)より、「定期的に医師の往診(訪問診療)を受けている(施設の嘱託医の診療を含む)」が0.9ポイント、定期的に看護師による医療(訪問看護)を受けている」が0.7ポイント、「選択肢以外の医療を受けている」が0.5ポイント、「必要に応じて医師の往診(訪問診療)を受けている」が0.4ポイント高くなっています。

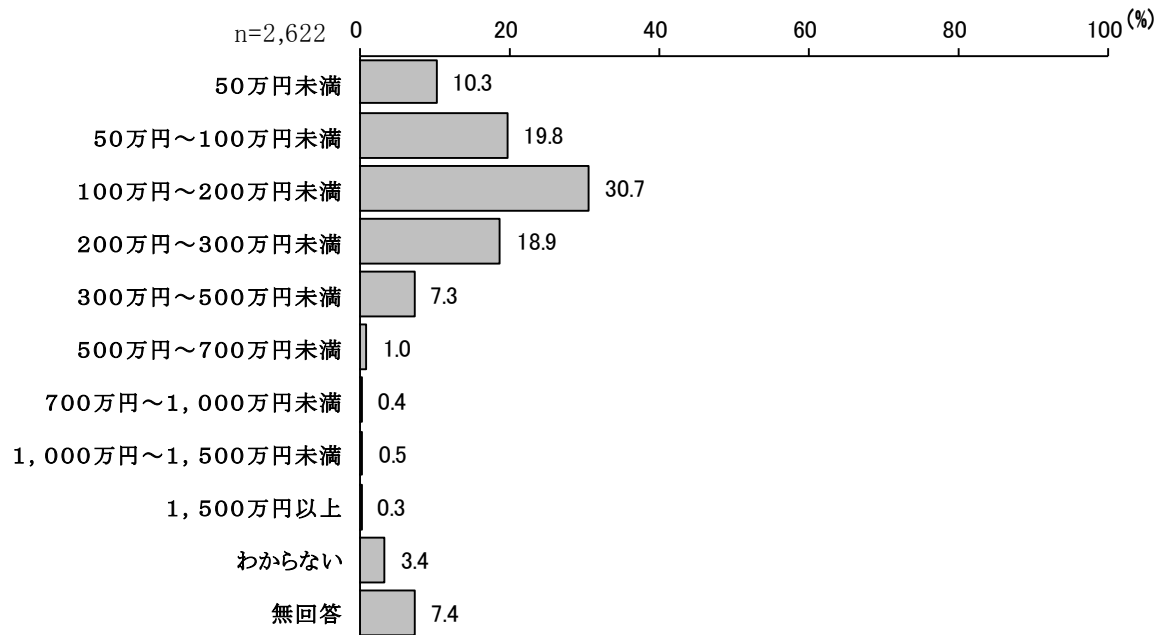


(10) 本人の年間総収入

対象者全員

問8 ご本人の年間総収入（年金、仕送りなども含みます。）の額はおよそどれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

○本人の年間総収入額は、「100万円～200万円未満」（30.7%）が最も多く、次いで、「50万円～100万円未満」（19.8%）、「200万円～300万円未満」（18.9%）、「50万円未満」（10.3%）となっています。

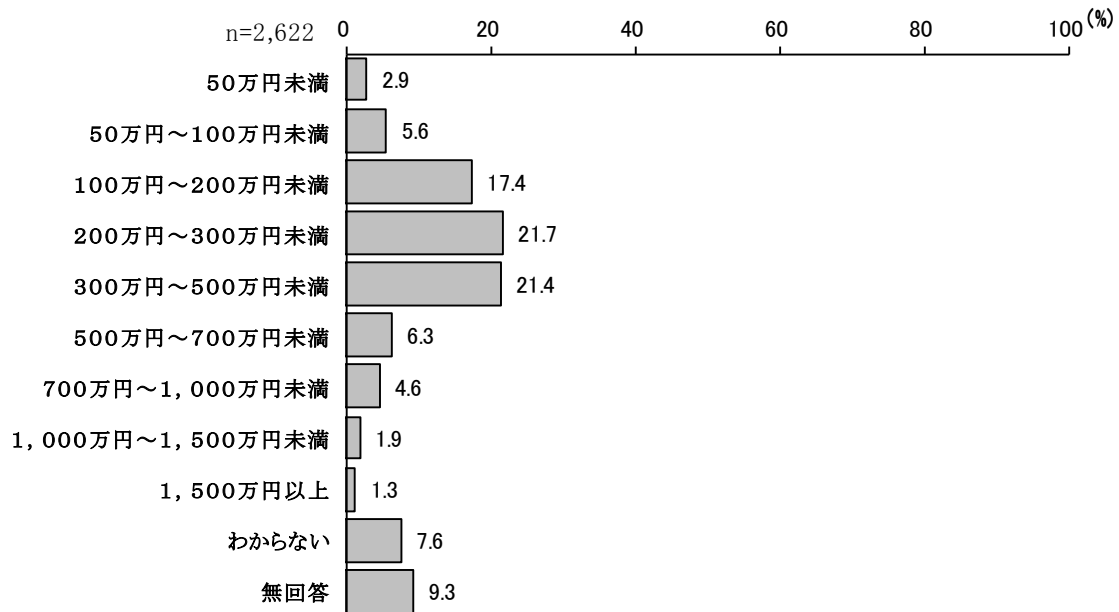


(11) 世帯の年間総収入

対象者全員

問9 ご本人も含めた世帯全員の年間総収入（年金、仕送りなども含みます。）の合計額はおよそどれくらいですか。（あてはまるもの1つに○）

○本人も含めた世帯の年間総収入額は、「200万円～300万円未満」（21.7%）が最も多く、次いで、「300万円～500万円未満」（21.4%）、「100万円～200万円未満」（17.4%）となっています。

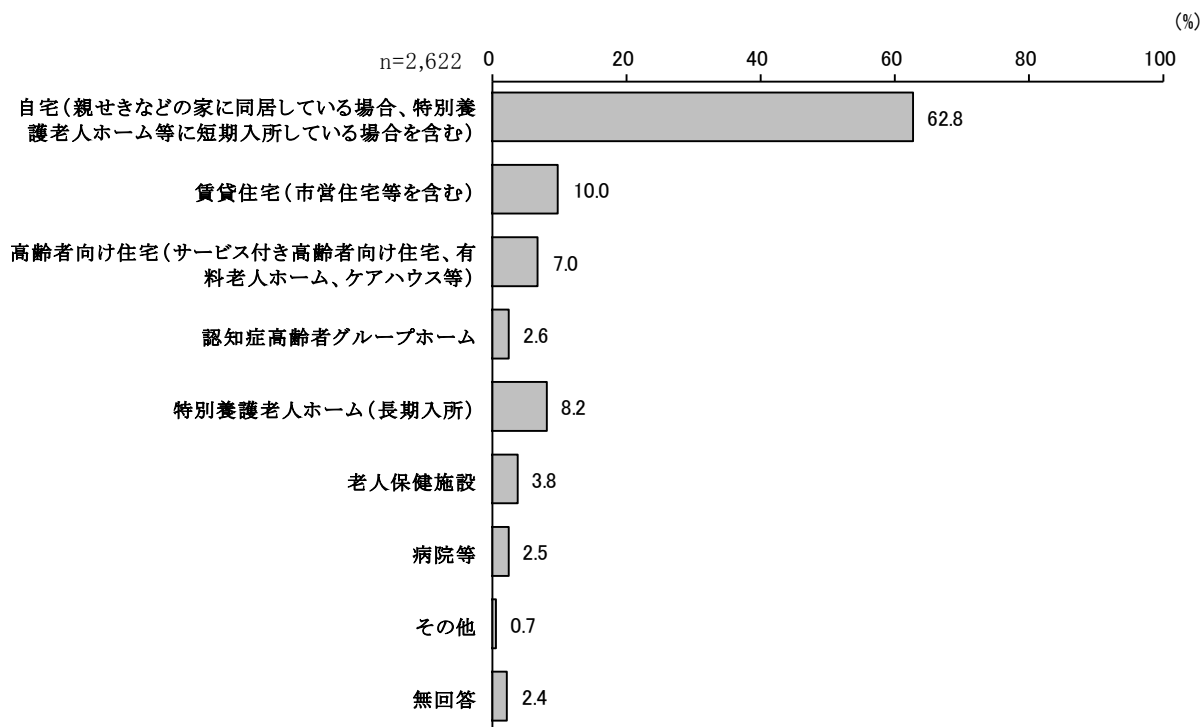


(12) 現在の生活場所

対象者全員

問 10 ご本人は、現在どこで生活していますか。(あてはまるもの1つに○)

○現在の生活場所は、「自宅（親せきなどの家に同居している場合、特別養護老人ホーム等に短期入所している場合を含む）」（62.8%）が最も多くなっています。

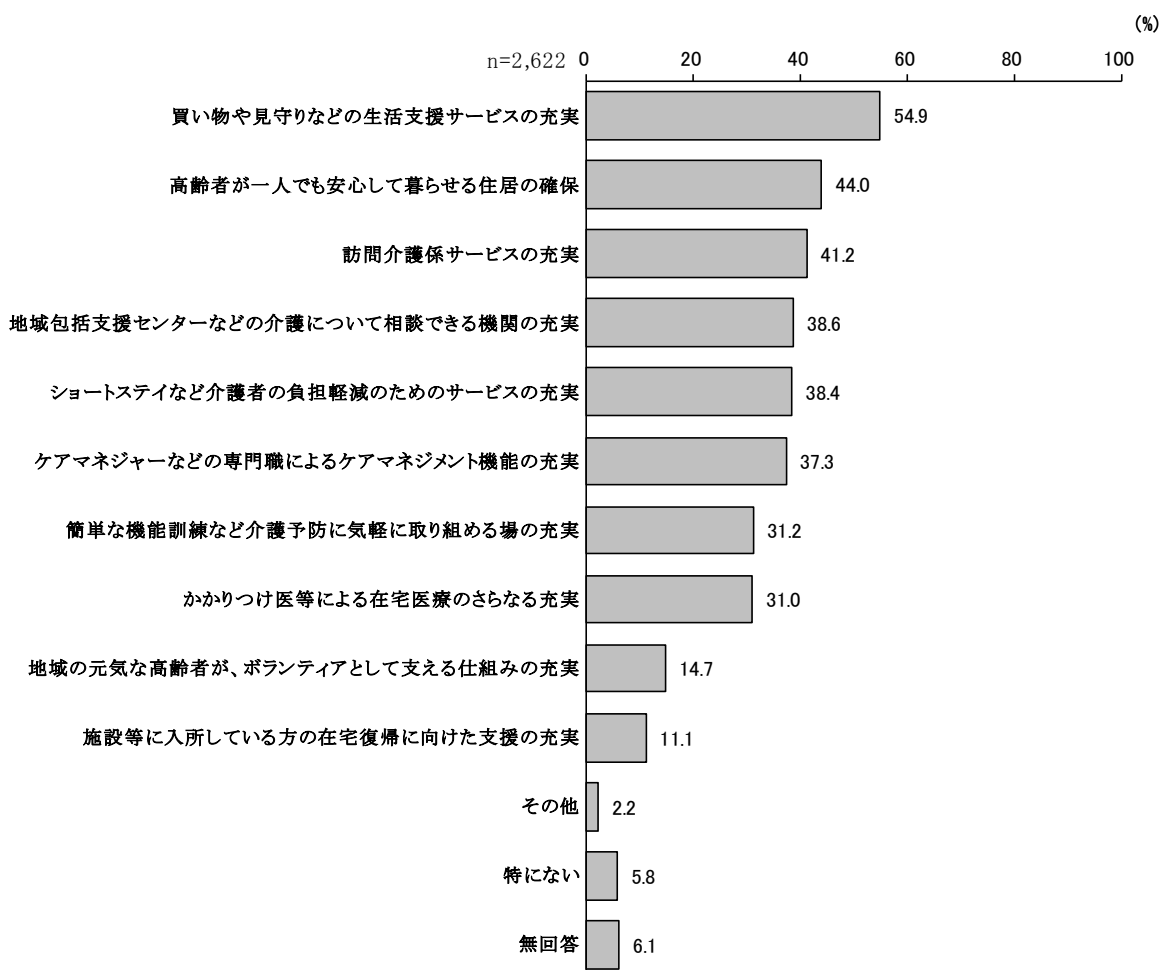


2 在宅で暮らしていくために必要なことについて【複数回答】

対象者全員

問11 今後、高齢者の増加にともない、介護が必要な方も増えていく中で、本人の希望に沿いながら、できるだけ在宅で暮らしていけるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○在宅で暮らしていくために必要なことは、「買い物や見守りなどの生活支援サービスの充実」（54.9%）が最も多く、次いで、「高齢者が一人でも安心して暮らせる住居の確保」（44.0%）、「訪問介護係サービスの充実」（41.2%）となっています。



3 介護保険について

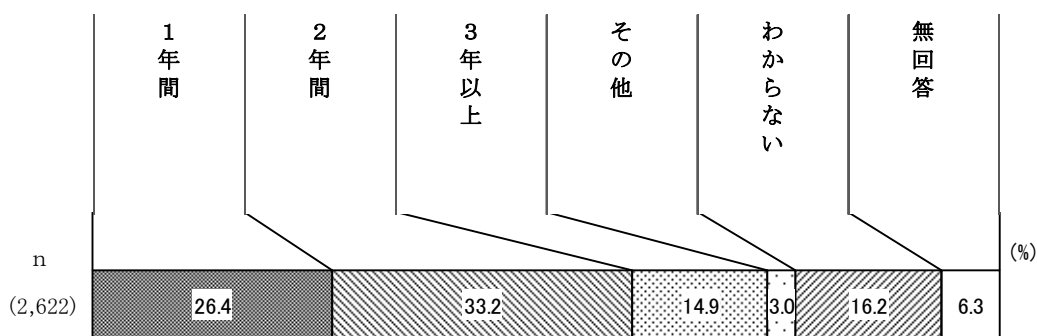
対象者全員

(1) 更新認定の有効期間の適当な長さ

問12 現在、新規の要介護等認定の有効期間は12カ月、更新認定の有効期間はご本人の状態に応じ12～36カ月の範囲で定めることとなっております。この有効期間について、どのくらいの長さが適当だと考えますか。(あてはまるもの1つに○)

※ただし、心身の状態が現在の要介護・要支援区分よりも悪化した(よくなった)場合は、有効期間中でも、区分変更の申請を行うことができます。

○更新認定の有効期間の適当な長さは、「2年間」(33.2%)が最も多く、次いで、「1年間」(26.4%)、「3年以上」(14.9%)の順となっています。なお、前回調査(平成28年度)より、「3年以上」は2.9ポイント高くなっています。

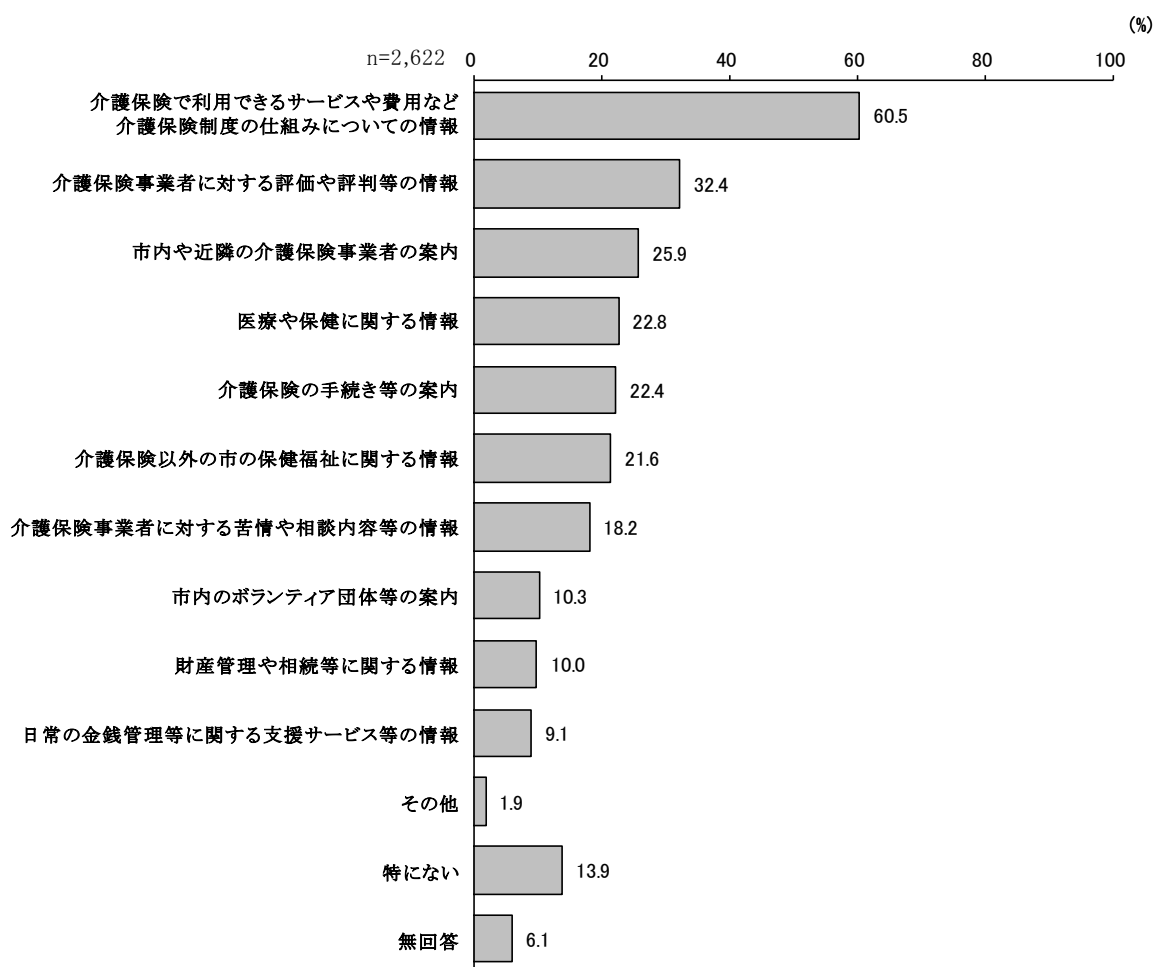


(2) 介護保険に関連した知りたい情報【複数回答】

対象者全員

問 13 介護保険に関連して、知りたい情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

○介護保険に関連して知りたいと思う情報は、「介護保険で利用できるサービスや費用など介護保険制度の仕組みについての情報」(60.5%)が最も多く、次いで、「介護保険事業者に対する評価や評判等の情報」(32.4%)、「市内や近隣の介護保険事業者の案内」(25.9%)となっています。なお、前回調査(平成28年度)より、「介護保険で利用できるサービスや費用など介護保険制度の仕組みについての情報」が12.5ポイント、「介護保険の手続き等の案内」が8.1ポイント高くなっています。

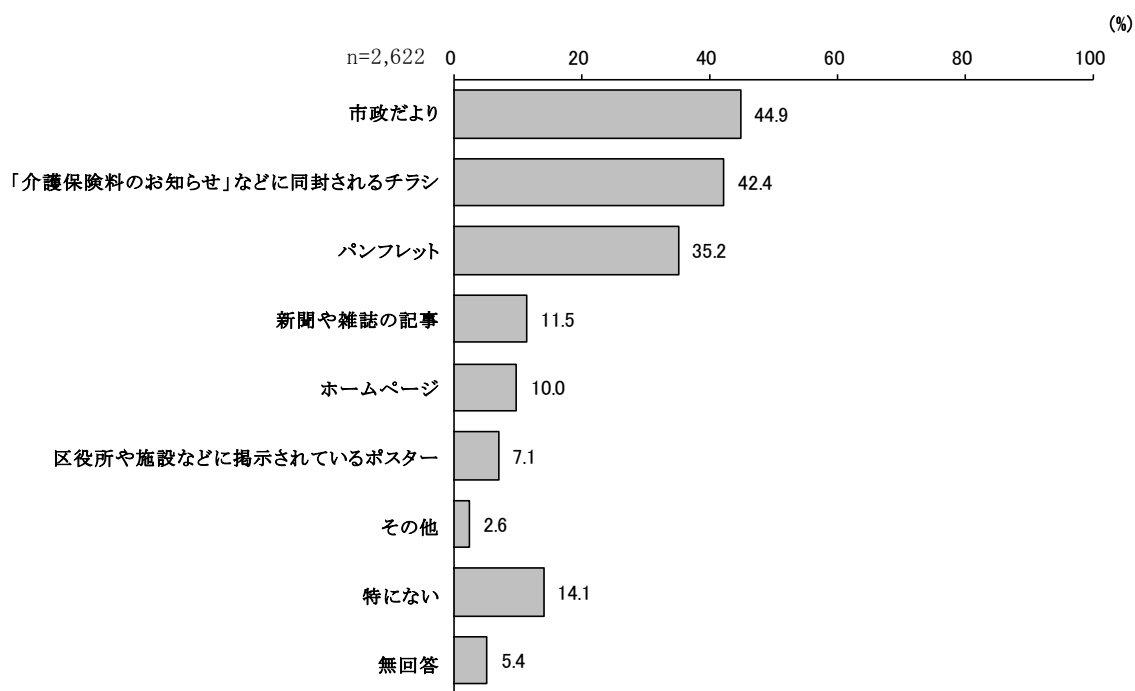


(3) 充実してほしい市提供の情報媒体【複数回答】

対象者全員

問14 仙台市からの介護保険に関するお知らせについて、何が充実していると便利だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

○介護保険に関する情報媒体として充実してほしいものは、「市政だより」(44.9%)が最も多く、次いで、「『介護保険料のお知らせ』などに同封されるチラシ」(42.4%)、「パンフレット」(35.2%)となっています。なお、前回調査(平成28年度)より、「『介護保険料のお知らせ』などに同封されるチラシ」が8.7ポイント、「パンフレット」が6.4ポイント高くなっています。



4 介護保険料について

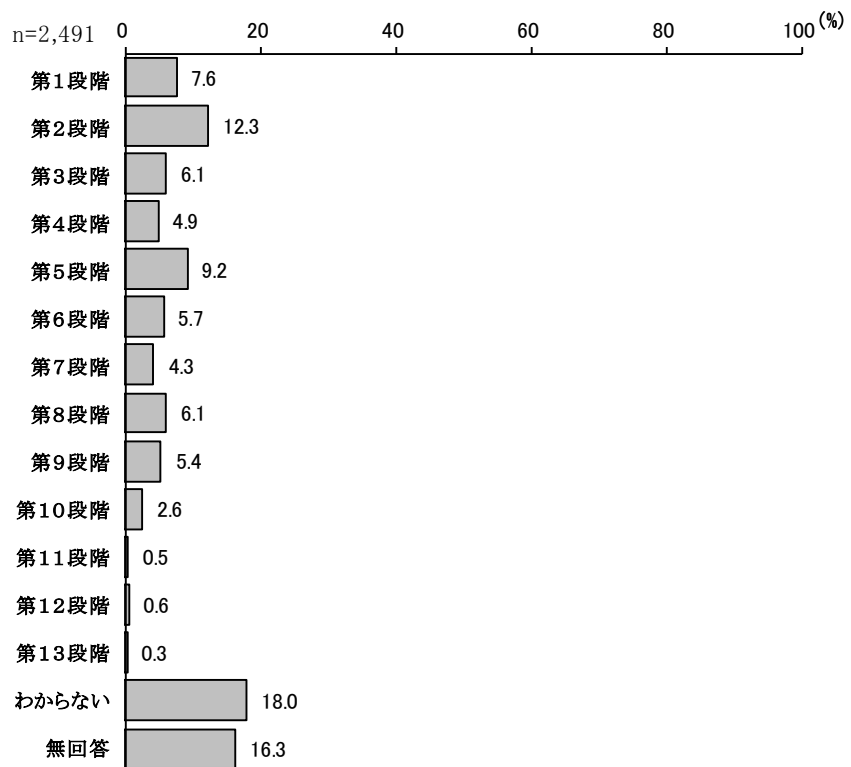
(1) 保険料段階

65歳以上全員

問15 ご本人の保険料段階は、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

※保険料の段階は、「平成31年度介護保険料決定通知書」に記載されています。

○保険料の所得段階は、「第2段階」(12.3%)が最も多く、次いで、「第5段階」(9.2%)、「第1段階」(7.6%)となっています。

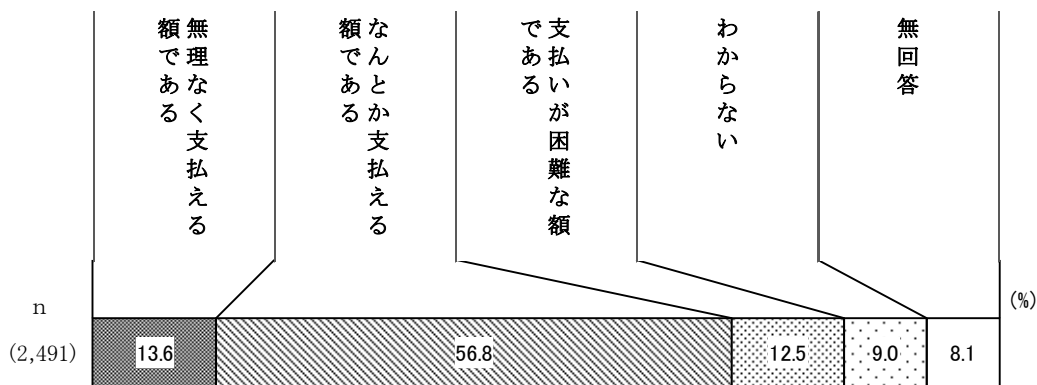


(2) 保険料の負担感

65歳以上全員

問16 現在の保険料額を、どのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

○保険料の負担感は、「なんとか支払える額である」(56.8%)が最も多く、「無理なく支払える額である」(13.6%)を合わせると、70.4%が『支払える額』と考えています。



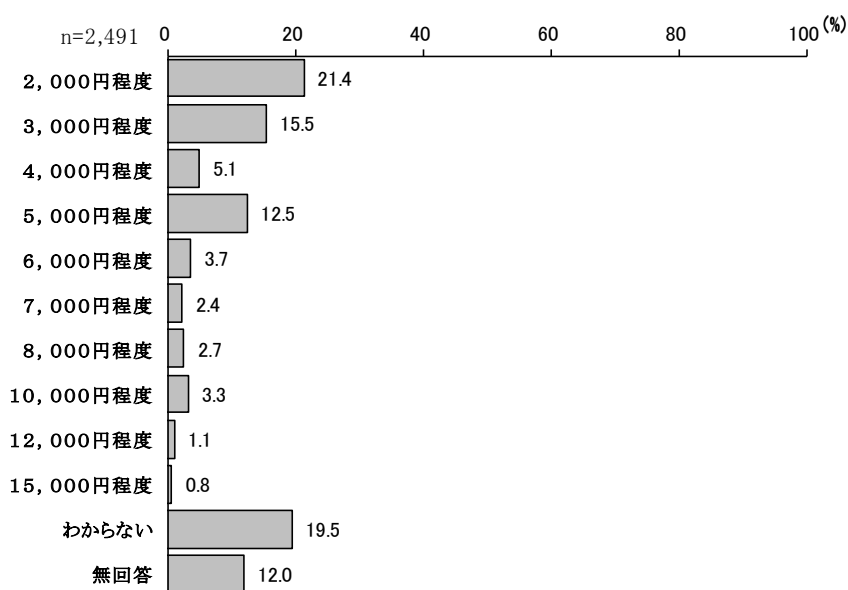
(3) ひと月あたりの妥当と考える保険料額

65歳以上全員

問17 現在のご本人の保険料段階として、妥当と考える保険料の額は、ひと月あたりどのくらいの額ですか。(あてはまるもの1つに○)

※例えば、第2段階の方は第2段階として妥当と考える額をお答えください。

○ひと月あたりの妥当と考える保険料額は、「2,000円程度」(21.4%)が最も多く、次いで、「3,000円程度」(15.5%)、「5,000円程度」(12.5%)となっています。また、「わからない」は19.5%となっています。



(4) 保険料と介護サービスのあり方

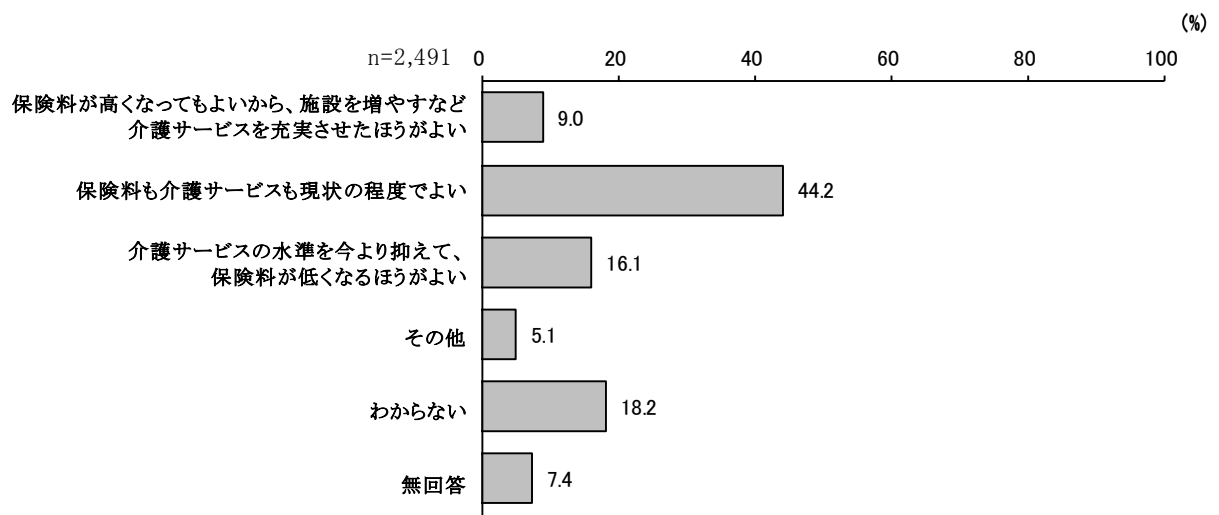
65歳以上全員

問18 介護保険料の基準額は、介護サービスをどれだけ利用したかによって決まります。よって、施設が増えたり、介護サービスが充実するなどしてサービスの利用が増えると、保険料も増加することになります。

このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの1つに○)

○保険料と介護サービスのあり方については、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」(44.2%)が最も多く、次いで、「介護サービスの水準を今より抑えて、保険料が低くなるほうがよい」(16.1%)、「保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい」(9.0%)となっています。

なお、前回調査(平成28年度)より、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」が3.9ポイント高くなっています。

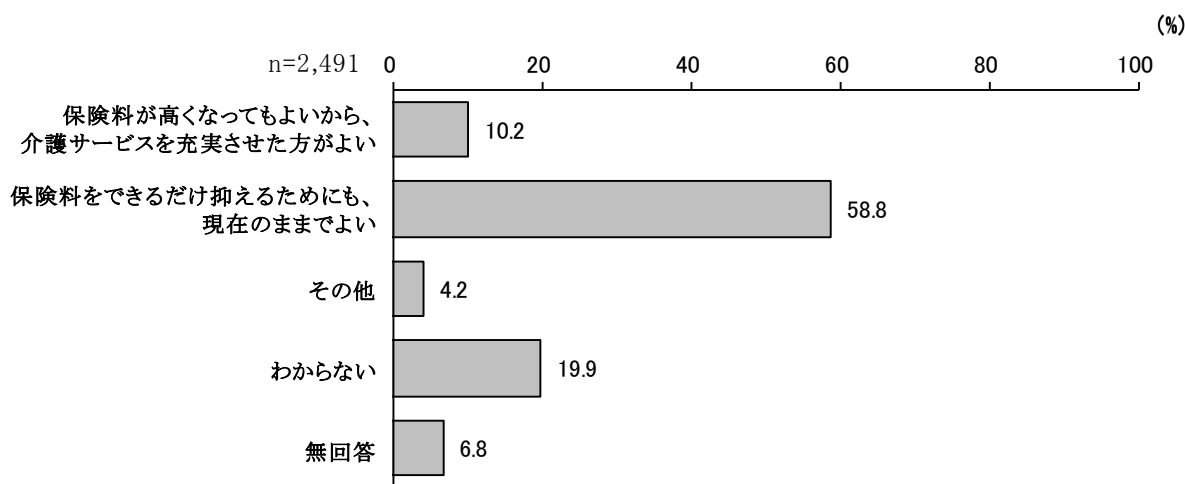


(5) 市独自の介護サービスと保険料のあり方

65歳以上全員

問19 介護保険制度では、基本的なサービスの水準を国が定めていますが、仙台市の判断でその他のサービスを保険給付の対象に加えたり、サービスの利用限度額（1～3割負担で利用できる限度額）を高く設定することができます。
 ただしこの場合、必要な費用は全額65歳以上の方の保険料でまかなうことになるため、皆様からいただく保険料が高くなります。
 このことを踏まえ、保険料と介護サービスのあり方について、ご本人の考えに最も近いものは、次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

○市独自の介護サービスと保険料のあり方に関する考え方は、「保険料をできるだけ抑えるためにも、現在のままでよい」（56.1%）が最も多く、一方、「保険料が高くなってもよいから、介護サービスを充実させた方がよい」は10.5%となっています。なお、前回調査（平成28年度）より、「保険料をできるだけ抑えるためにも、現在のままでよい」が7.1ポイント高くなっています。



5 在宅サービスの利用状況と満足度について

(1) 現在利用している在宅サービスの種類【複数回答】

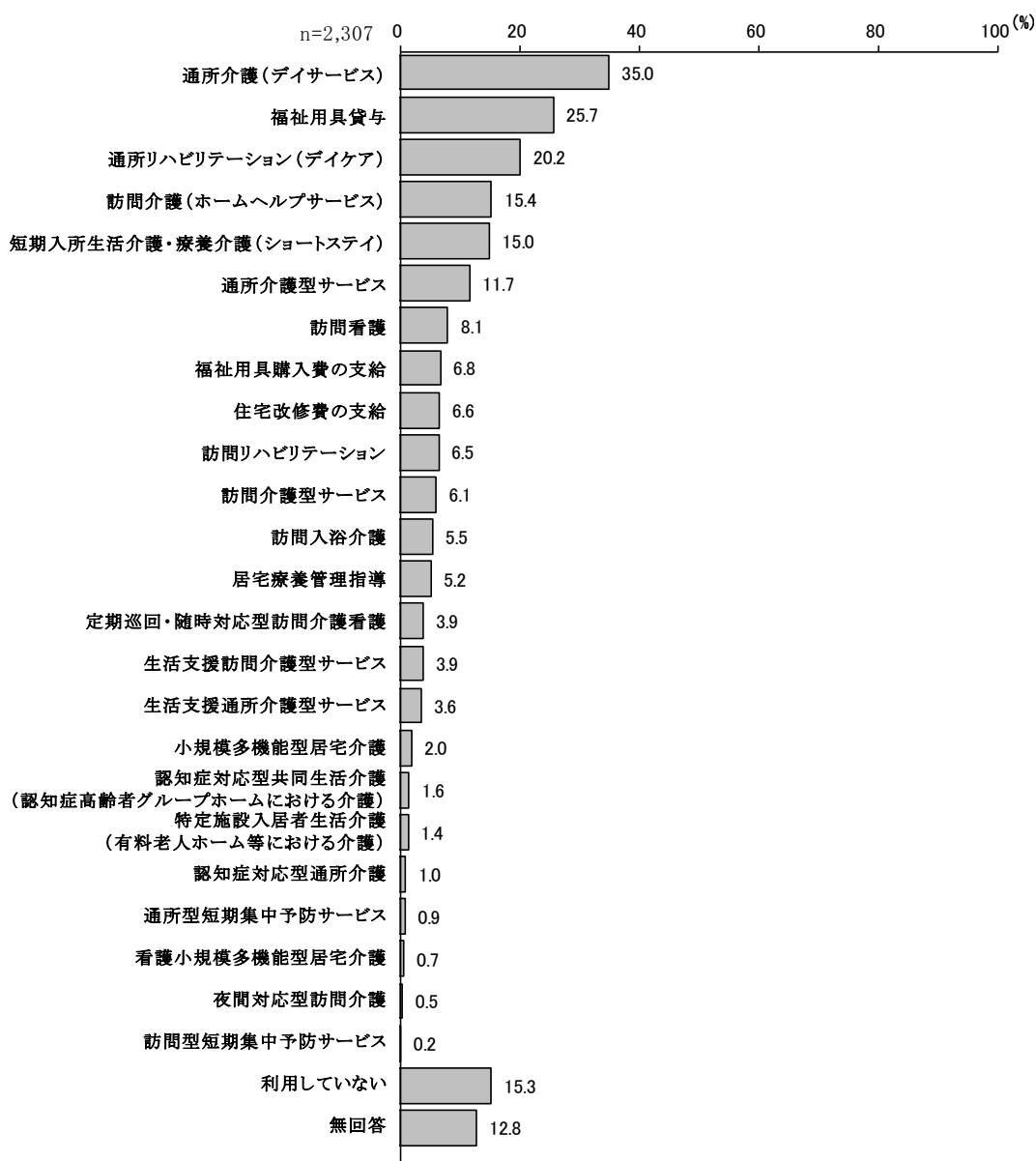
在宅者等

問20 現在、介護保険のどの在宅サービスを利用していますか。

(あてはまるものすべてに○)

※たまたま今月の利用がない場合でも、普段利用している在宅サービスをお答えください。

○現在利用している在宅サービスの種類は、「通所介護（デイサービス）」(35.0%) が最も多く、次いで、「福祉用具貸与」(25.7%)、「通所リハビリテーション（デイケア）」(20.2%) となっています。一方、「利用していない」は15.3%となっています。



(2) 現在利用している在宅サービスの利用頻度

在宅者等

問21 以下の介護保険サービスについて、令和元年10月の1カ月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、もしくは①利用していない)」を選択してください。

(A～Rの項目ごと、それぞれ1つに〇)

※各サービスには地域密着型、認知症対応型のサービスを含めます。

〇現在利用している各在宅サービスの令和元年10月の1カ月間の利用頻度で最も多かったのは、『A.訪問介護(ホームヘルプサービス)』(34.6%)、『C.訪問看護』(39.8%)、『D.訪問リハビリテーション』(44.0%)、『F.通所リハビリテーション(デイケア)』(32.2%)では「週1回程度」、『B.訪問入浴介護』(39.8%)、『E.通所介護(デイサービス)』(30.6%)では「週2回程度」、『G.夜間対応型訪問介護』では「週5回以上」(36.4%)となっています。

	調査数	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
上段：件数 下段：%								
A. 訪問介護(ホームヘルプサービス)	355 100.0	7 2.0	123 34.6	76 21.4	22 6.2	17 4.8	47 13.2	63 17.7
B. 訪問入浴介護	128 100.0	- -	44 34.4	51 39.8	8 6.3	1 0.8	3 2.3	21 16.4
C. 訪問看護	186 100.0	2 1.1	74 39.8	42 22.6	18 9.7	7 3.8	11 5.9	32 17.2
D. 訪問リハビリテーション	150 100.0	1 0.7	66 44.0	30 20.0	10 6.7	4 2.7	5 3.3	34 22.7
E. 通所介護(デイサービス)	808 100.0	9 1.1	207 25.6	247 30.6	136 16.8	69 8.5	42 5.2	98 12.1
F. 通所リハビリテーション(デイケア)	466 100.0	6 1.3	150 32.2	129 27.7	50 10.7	16 3.4	10 2.1	105 22.5
G. 夜間対応型訪問介護(訪問回数)	11 100.0	1 9.1	- -	- -	- -	- -	4 36.4	6 54.5

○令和元年10月の1カ月間のH～Pの各在宅サービス利用の有無については、すべての項目で「利用した」が多くなっています。

	調査数	利用していない	利用した	無回答
上段：件数 下段：%				
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	89 100.0	3 3.4	83 93.3	3 3.4
I. 小規模多機能型居宅介護	47 100.0	2 4.3	45 95.7	- -
J. 看護小規模多機能型居宅介護	15 100.0	- -	14 93.3	1 6.7
K. 訪問介護型サービス	140 100.0	7 5.0	125 89.3	8 5.7
L. 生活支援訪問介護型サービス	89 100.0	4 4.5	72 80.9	13 14.6
M. 訪問型短期集中予防サービス	4 100.0	- -	4 100.0	- -
N. 通所介護型サービス	269 100.0	8 3.0	251 93.3	10 3.7
O. 生活支援通所介護型サービス	83 100.0	6 7.2	57 68.7	20 24.1
P. 通所型短期集中予防サービス	20 100.0	1 5.0	12 60.0	7 35.0

○令和元年10月の1カ月間の『Q.短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）』の利用頻度で最も多かったのは、「月1～7日程度」（52.0%）となっています。また、『L.居宅療養管理指導』で最も多かったのは、「月1回程度」（46.7%）となっています。

	調査数	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	無回答
上段：件数 下段：%							
Q. 短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	346 100.0	43 12.4	180 52.0	51 14.7	17 4.9	24 6.9	31 9.0

	調査数	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	無回答
上段：件数 下段：%							
R. 居宅療養管理指導	120 100.0	8 6.7	56 46.7	23 19.2	5 4.2	15 12.5	13 10.8

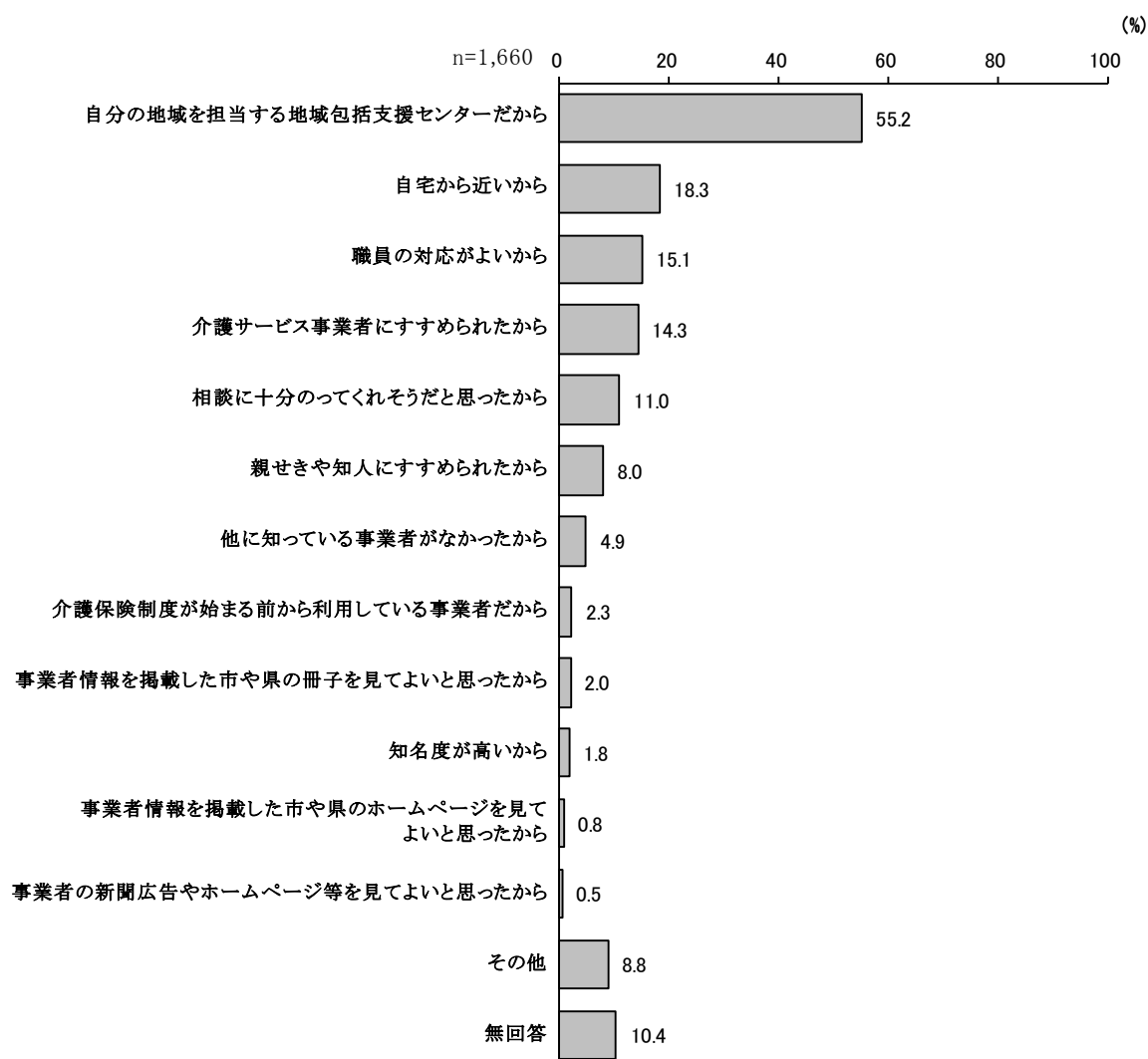
(3) ケアマネジャー（居宅介護支援事業者・地域包括支援センター）の選択理由

【複数回答】

在宅サービス利用者

問22 現在利用しているケアマネジャー（居宅介護支援事業者／地域包括支援センター）を選んだ理由は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○現在利用しているケアマネジャー（居宅介護支援事業者／地域包括支援センター）を選んだ理由は、「自分の地域を担当する地域包括支援センターだから」（55.2%）が最も多く、次いで、「自宅から近いから」（18.3%）、「職員の対応がよいから」（15.1%）となっています。また、「その他」の内容としては、「病院からの紹介」などが挙げられています。



(4) ケアマネジャーや地域包括支援センターに対する満足度

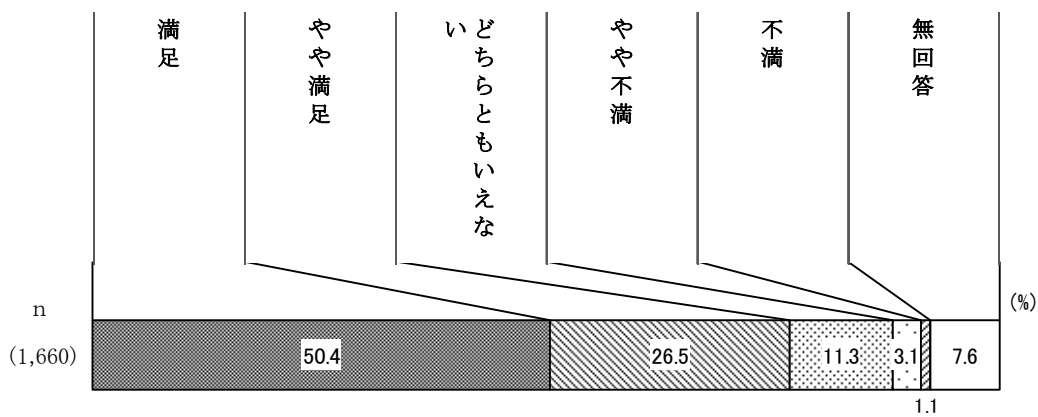
在宅サービス利用者

問23 ケアマネジャーや地域包括支援センターのサービス※に満足していますか。

(あてはまるもの1つに○)

※介護される方やご家族の状況や希望を踏まえて、適切な在宅サービスが利用できるように、「ケアプラン(介護サービス計画)」を作成し、市やサービス事業者との連絡調整を行うサービスのこと。

○ケアマネジャーや地域包括支援センターのサービスに対する満足度は、「満足」(50.4%)と「やや満足」(26.5%)を合わせた『満足』が76.9%となっています。なお、前回調査(平成28年度)より、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が0.7ポイント低くなっています。

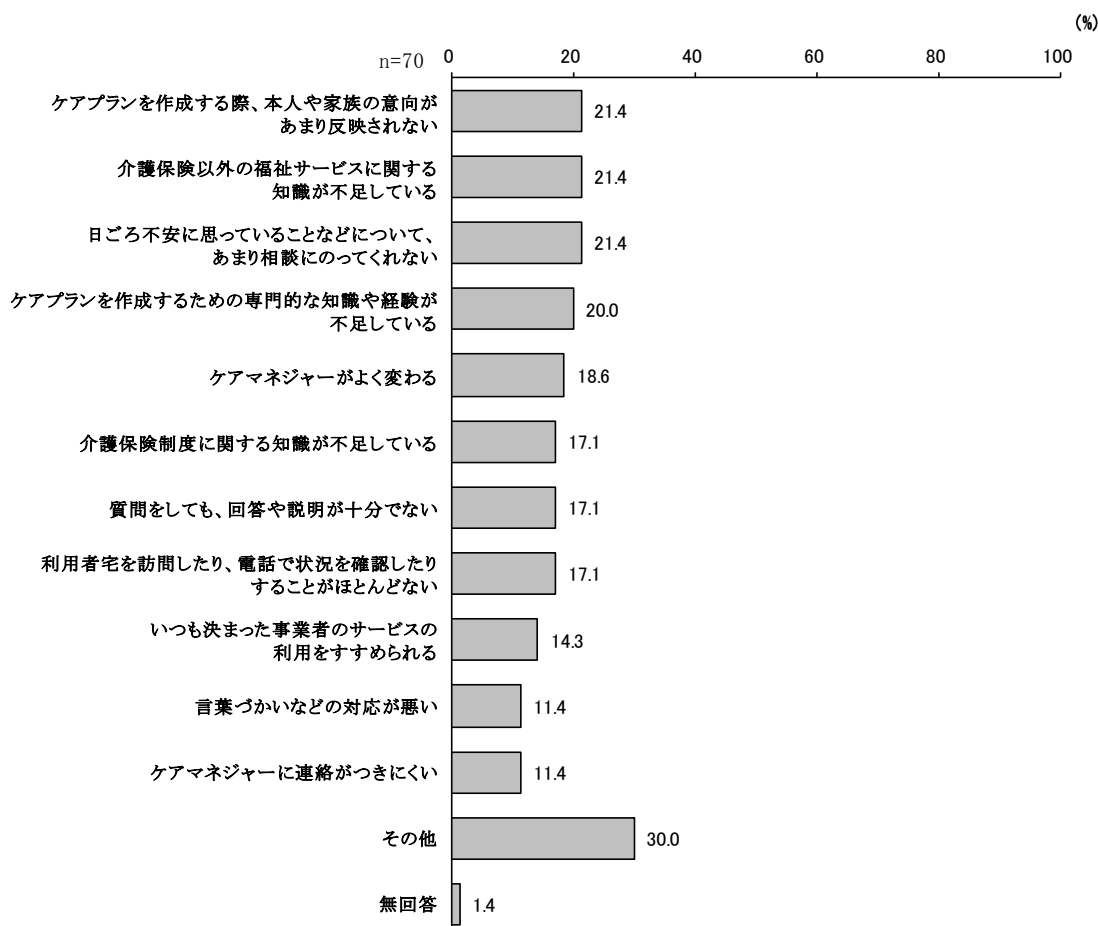


(5) ケアマネジャーや地域包括支援センターに対して不満な点【複数回答】

在宅サービス利用者

問23-(1) 【問23で「やや不満」「不満」と回答した方】
 どのようなことに不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

○ケアマネジャーや地域包括支援センターに対して不満な点は、「ケアプランを作成する際、本人や家族の意向があまり反映されない」「介護保険以外の福祉サービスに関する知識が不足している」「日ごろ不安に思っていることなどについて、あまり相談にのってくれない」(それぞれ21.4%)が最も多く、次いで、「ケアプランを作成するための専門的な知識や経験が不足している」(20.0%)となっています。なお、前回調査(平成28年度)より、「質問をしても、回答や説明が十分でない」が22.0ポイント、「利用者宅を訪問したり、電話で状況を確認したりすることがほとんどない」が18.8ポイント低くなっています。また、「その他」の内容としては、『ケアマネジャーの個人差が大きすぎる』などが挙げられています。

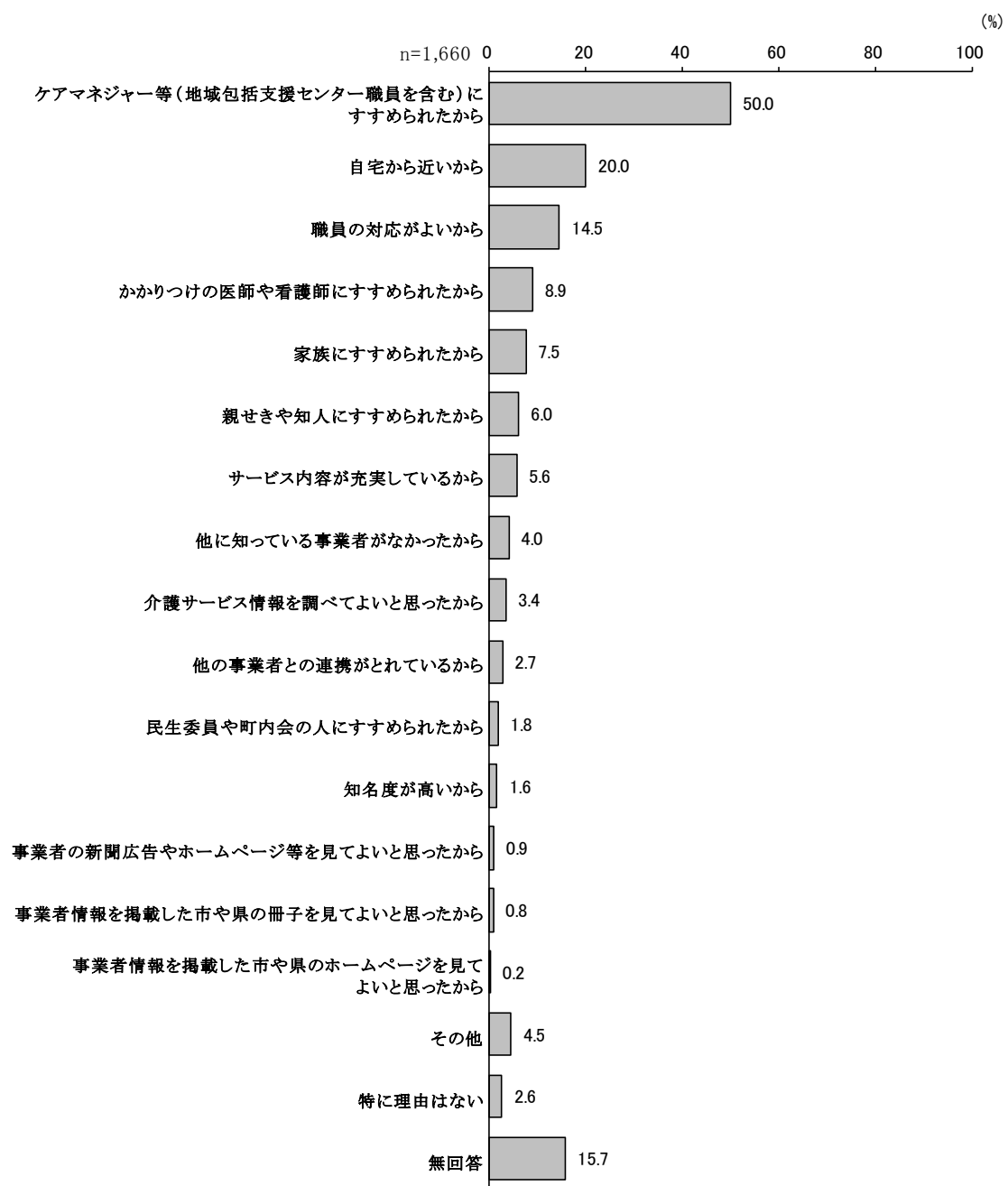


(6) 現在利用している在宅サービスの選択理由【複数回答】

在宅サービス利用者

問24 現在利用している在宅サービス事業者を選んだ理由は次のうちどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

○現在利用している在宅サービスを選んだ理由は、「ケアマネジャー等（地域包括支援センター職員を含む）にすすめられたから」（50.0%）が最も多く、次いで、「自宅から近いから」（20.0%）、「職員の対応がよいから」（14.5%）となっています。また、「その他」の内容としては、「見学に行って決めた」などが挙げられています。

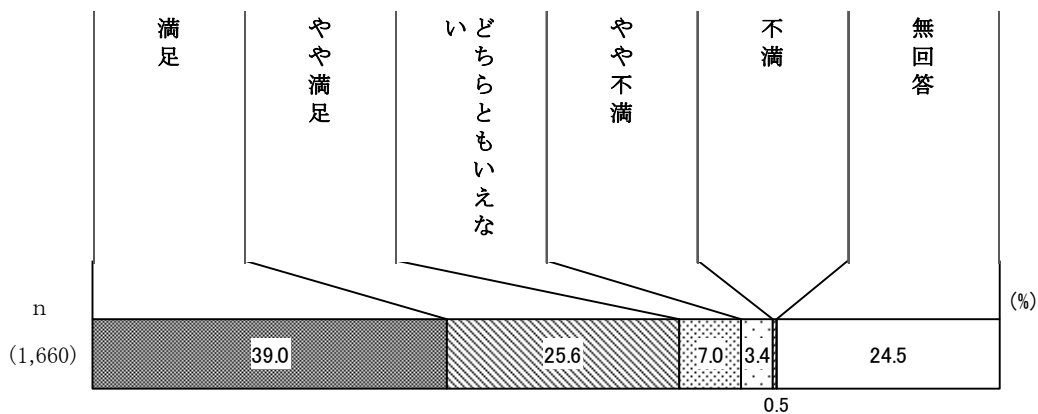


(7) 在宅サービスの質や内容に対する満足度

在宅サービス利用者

問25 現在利用している在宅サービスの質や内容に満足していますか。
(あてはまるもの1つに○)

○現在利用している在宅サービスの質や内容に対する満足度は、「満足」(39.0%)と「やや満足」(25.6%)を合わせた『満足』が64.6%となっています。一方、「不満」(0.5%)と「やや不満」(3.4%)を合わせた『不満』は3.9%となっています。なお、前回調査(平成28年度)より、「満足」が3.6ポイント低くなっています。



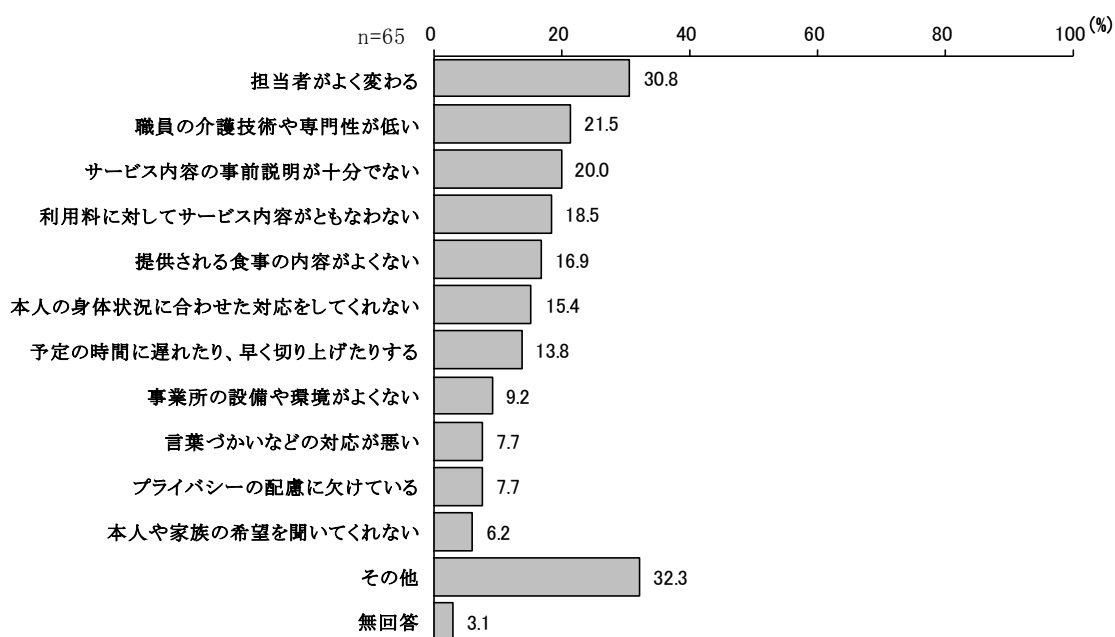
(8) 在宅サービスの質や内容に対して不満な点【複数回答】

在宅サービス利用者

問25-(1) 【問25で「やや不満」「不満」と回答した方】

どのようなことに不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

○在宅サービスの質や内容に対して不満な点は、「担当者がよく変わる」(30.8%)が最も多く、次いで、「職員の介護技術や専門性が低い」(21.5%)、「サービス内容の事前説明が十分でない」(20.0%)となっています。また、「その他」の内容としては、「入所時契約書が法・条例改正に伴い、更新されていない」など多様な意見が挙げられています。

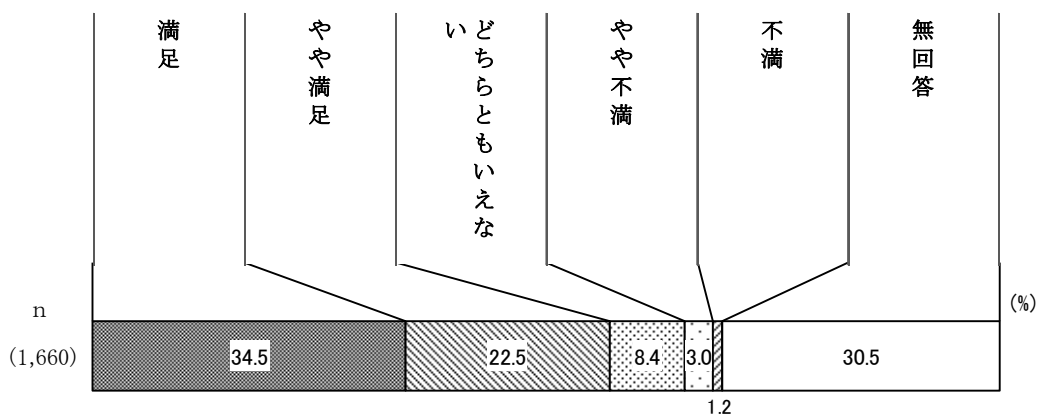


(9) 在宅サービスの量に対する満足度

在宅サービス利用者

問26 現在利用している在宅サービスの量（回数、1回あたりの時間など）に満足していますか。（あてはまるもの1つに○）

○現在利用している在宅サービスの量に対する満足度は、「満足」（34.5%）と「やや満足」（22.5%）を合わせた『満足』が57.0%となっています。一方、「不満」（1.2%）と「やや不満」（3.0%）を合わせた『不満』は4.2%となっています。なお、前回調査（平成28年度）より、「満足」が5.4ポイント低く、「無回答」が6.6ポイント高くなっています。

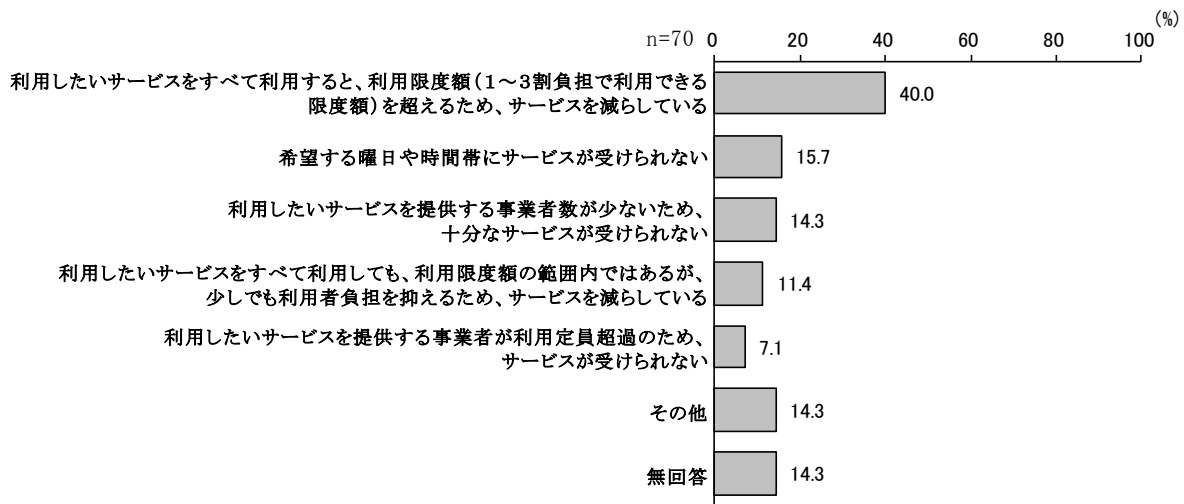


(10) 在宅サービスの量に対して不満な点【複数回答】

在宅サービス利用者

問26-(1) 【問26で「やや不満」「不満」と回答した方】
 どのようなことに不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

○在宅サービスの量に対して不満な点は、「利用したいサービスをすべて利用すると、利用限度額(1～3割負担で利用できる限度額)を超えるため、サービスを減らしている」(40.0%)が最も多く、次いで、「希望する曜日や時間帯にサービスが受けられない」(15.7%)、「利用したいサービスを提供する事業者数が少ないため、十分なサービスが受けられない」(14.3%)、「利用したいサービスをすべて利用しても、利用限度額の範囲内ではあるが、少しでも利用者負担を抑えるため、サービスを減らしている」(11.4%)となっています。また、「その他」の内容としては、「回数が少ない」などが挙げられています。



6 在宅サービスの利用限度額について

(1) 利用限度額に対する在宅サービスの利用量

在宅サービス利用者

問27 現在、利用限度額※までサービスを利用していますか。(あてはまるもの1つに○)

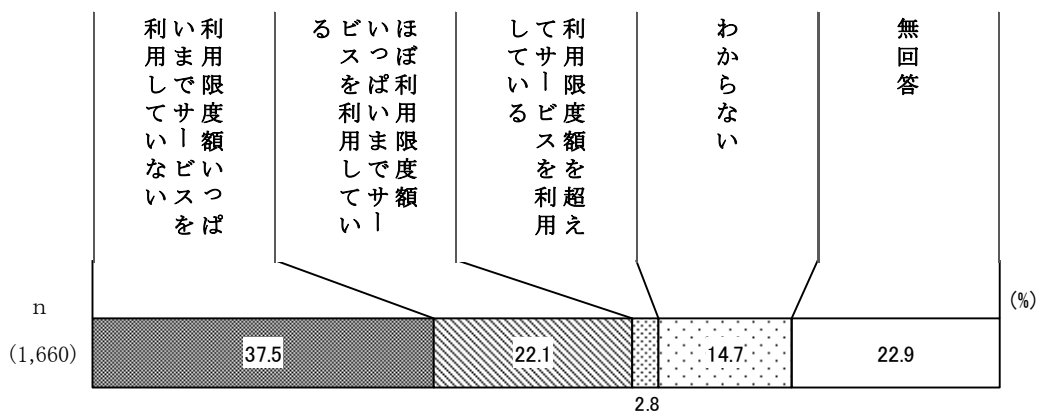
※「利用限度額」…要支援・要介護状態区分に応じて、1か月あたりの利用限度額が単位数で決められています。(ケアマネジャーから交付されたサービス利用票別表などに記載されています。単位数はサービスによって、1単位の単価が10円～10.42円の範囲で設定されています。)

利用限度額を超えてもサービスを利用することは可能ですが、限度額を超えた分は全額自己負担となります。

《利用限度額の一例》

要介護1の方は167,7000円～174,700円程度、要介護5の方は362,200円～377,400円程度。

○利用限度額に対する在宅サービスの利用量は、「利用限度額いっぱいまでサービスを利用していない」(37.5%)が最も多く、次いで、「ほぼ利用限度額いっぱいまでサービスを利用している」(22.1%)となっています。

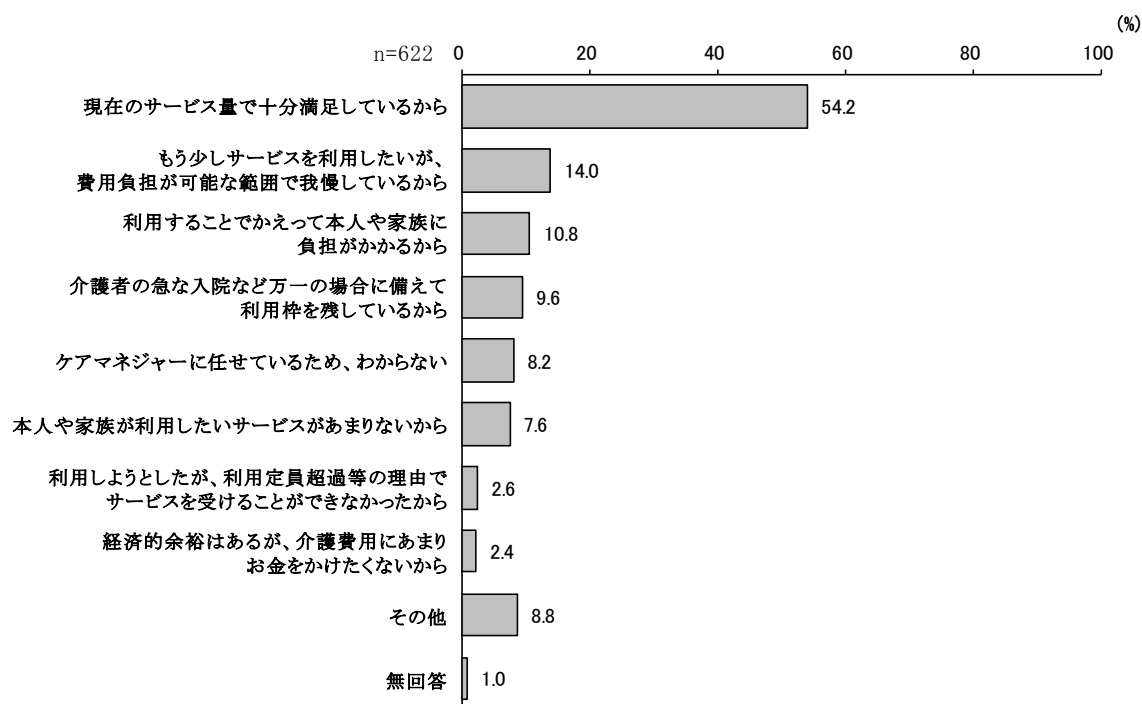


（2）利用限度額まで在宅サービスを利用していない理由【複数回答】

在宅サービス利用者

問27-(1) 【問27で「利用限度額いっぱいまでサービスを利用していない」と回答した方】
 利用限度額いっぱいまでサービスを利用していない理由は何ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

○利用限度額まで在宅サービスを利用していない理由は、「現在のサービス量で十分満足しているから」（54.2%）が最も多く、次いで、「もう少しサービスを利用したいが、費用負担が可能な範囲で我慢しているから」（14.0%）、「利用することでかえって本人や家族に負担がかかるから」（10.8%）となっています。



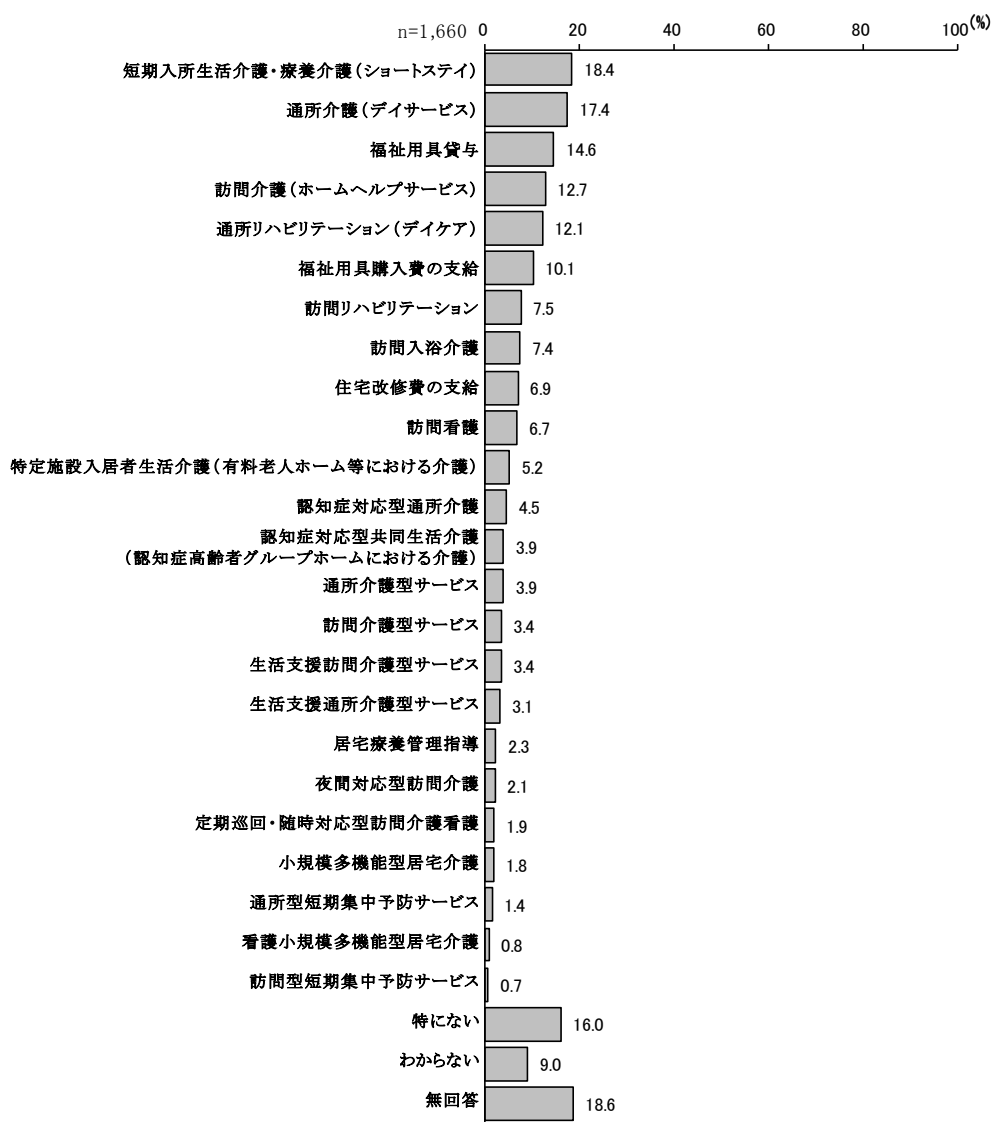
7 在宅サービスの今後の利用意向について

(1) 今後利用したい、増やしたいと思う在宅サービス【複数回答】

在宅サービス利用者

問28 【問20で、いずれかを「利用している」と回答した方】
 今後利用したい、あるいは増やしたいと思う在宅サービスをお答えください。
 （あてはまるものすべてに○）

○今後利用したい、あるいは増やしたいと思う在宅サービスは、「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」（18.4%）が最も多く、次いで、「通所介護（デイサービス）」（17.4%）、
 「福祉用具貸与」（14.6%）、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（12.7%）、「通所リハビリテーション（デイケア）」（12.1%）、「福祉用具購入費の支給」（10.1%）となっています。なお、「特にない」は16.0%となっています。



8 在宅サービスを利用していない方について

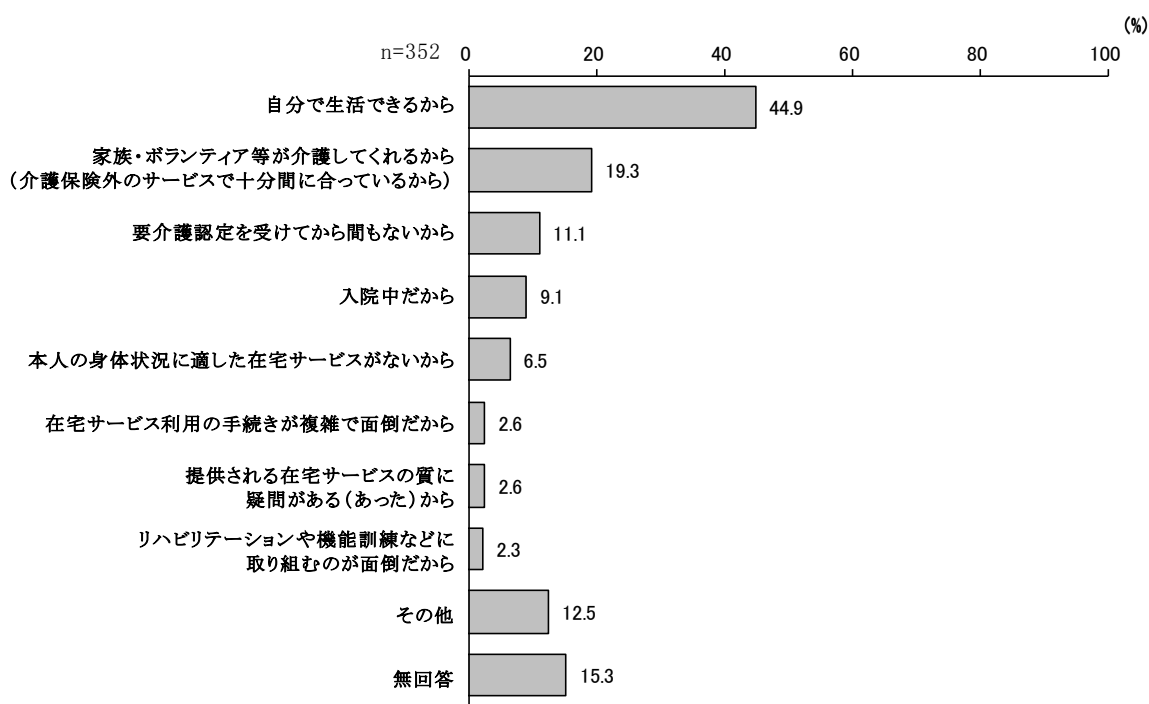
（1）在宅サービスを利用していない理由【複数回答】

在宅サービス未利用者

問29 【問20で「利用していない」と回答した方】

在宅サービスを利用していないのはなぜですか。（あてはまるものすべてに○）

○在宅サービスを利用していない理由は、「自分で生活できるから」（44.9%）が最も多く、次いで、「家族・ボランティア等が介護してくれるから（介護保険外のサービスで十分間に合っているから）」（19.3%）、「要介護認定を受けてから間もないから」（11.1%）となっています。また、「その他」の内容としては、「費用がかかるから」、「他人を家に入れたくない」などが挙げられています。

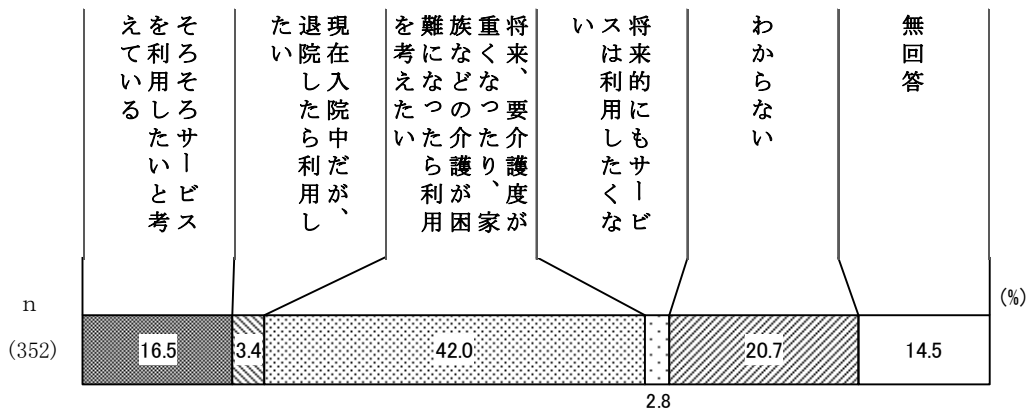


（2）今後の在宅サービスの利用予定

在宅サービス未利用者

問30 【問20で「利用していない」と回答した方】
 今後の在宅サービスの利用予定は次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

○今後の在宅サービスの利用予定は、「将来、要介護度が重くなったり、家族などの介護が困難になったら利用を考えたい」（42.0%）が最も多くなっています。

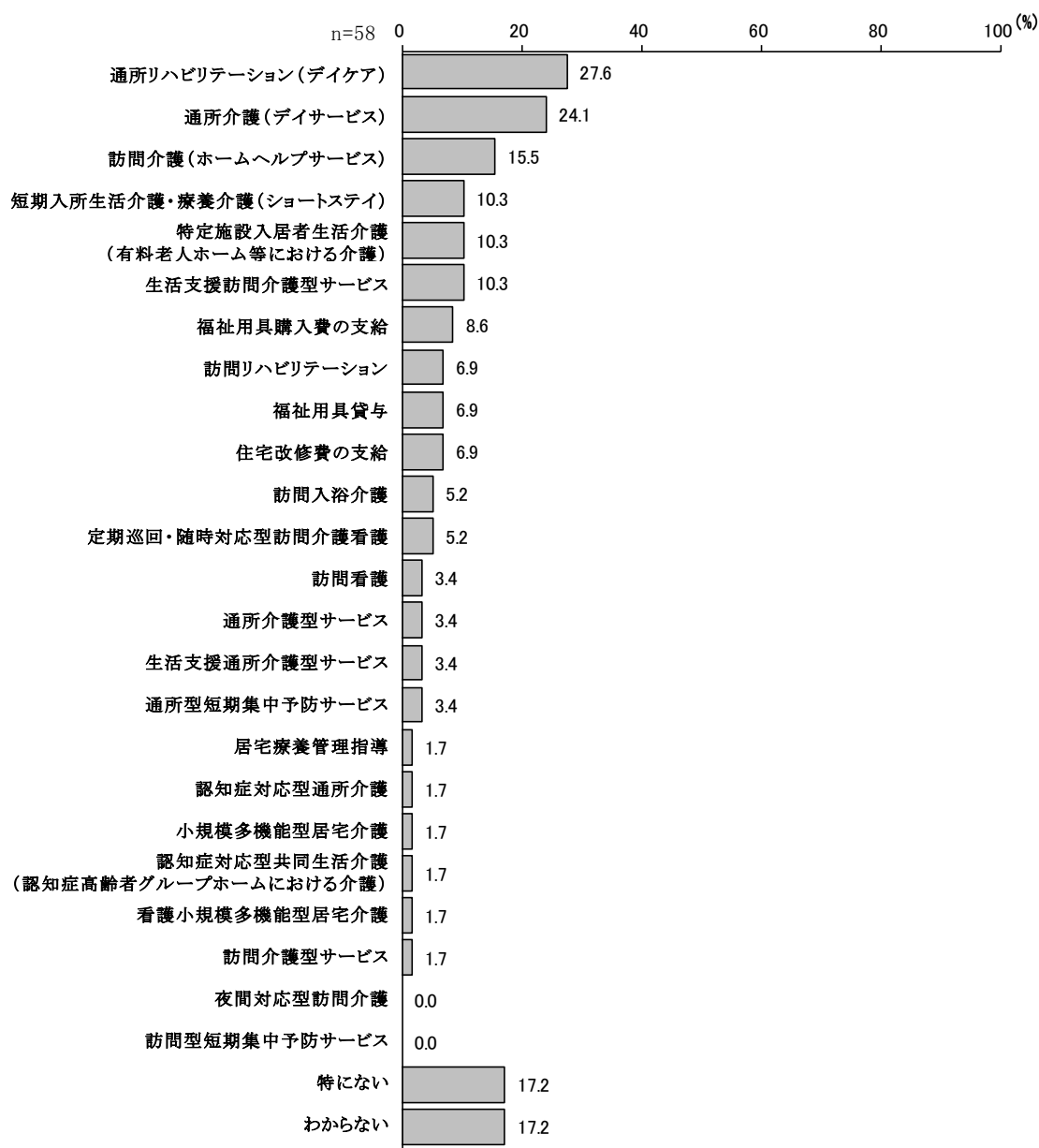


(3) 今後利用したいと思う在宅サービス【複数回答】

在宅サービス未利用者

問30-(1) 【問30で「そろそろサービスを利用したいと考えている」と回答した方】
 今後利用したいと思う在宅サービスをお答えください。
 （あてはまるものすべてに○）

○今後利用したいと思う在宅サービスは、「通所リハビリテーション（デイケア）」(27.6%)
 が最も多く、次いで、「通所介護（デイサービス）」(24.1%)、「訪問介護（ホームヘルプ
 サービス）」(15.5%)となっています。



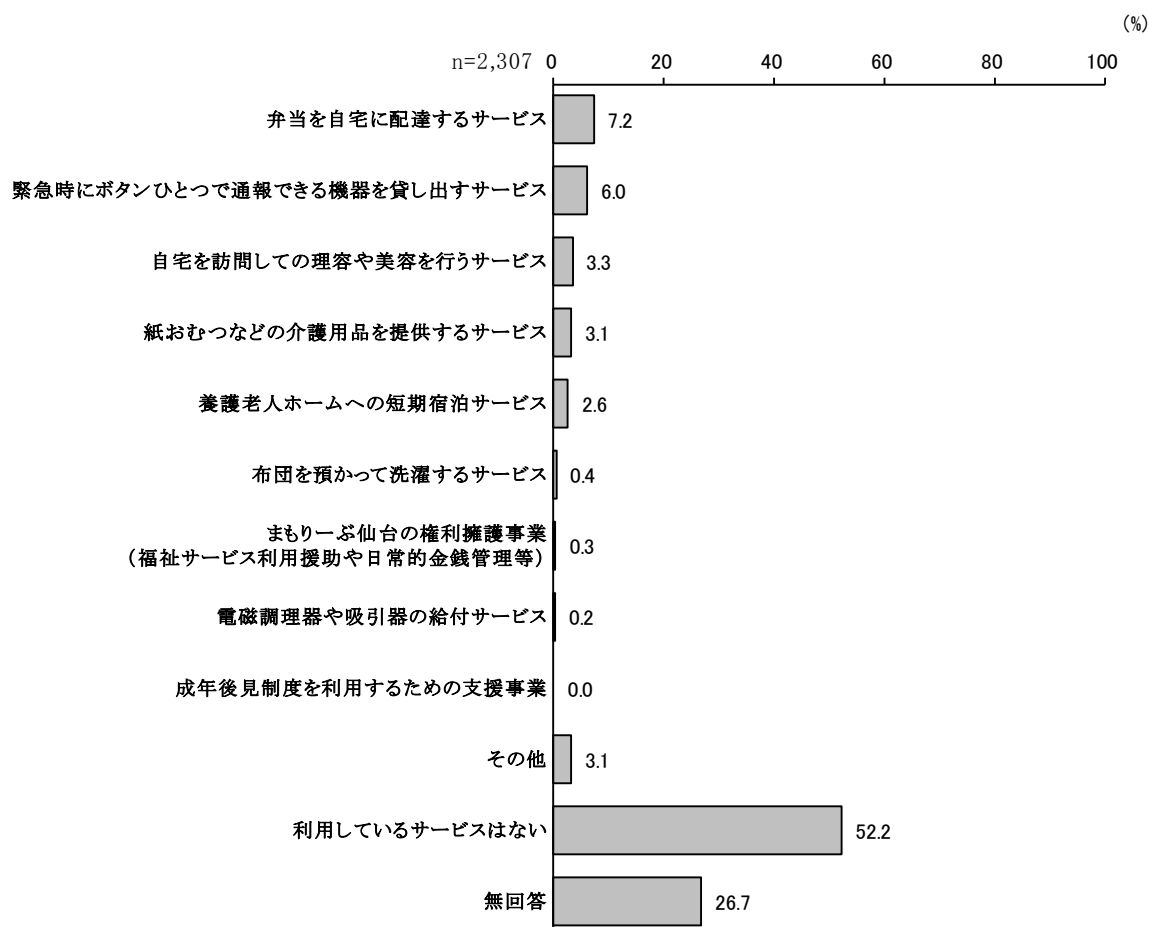
9 介護保険以外のサービスの利用状況と今後の利用意向について

(1) 高齢者福祉サービスの利用状況【複数回答】

在宅者等

問31-(1) 現在利用しているサービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○現在利用している高齢者福祉サービスは、回答者の半数以上である 52.2%が「利用しているサービスはない」と回答しています。利用しているサービスの中では「弁当を自宅に配達するサービス」（7.2%）が最も多く、次いで、「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」（6.0%）となっています。

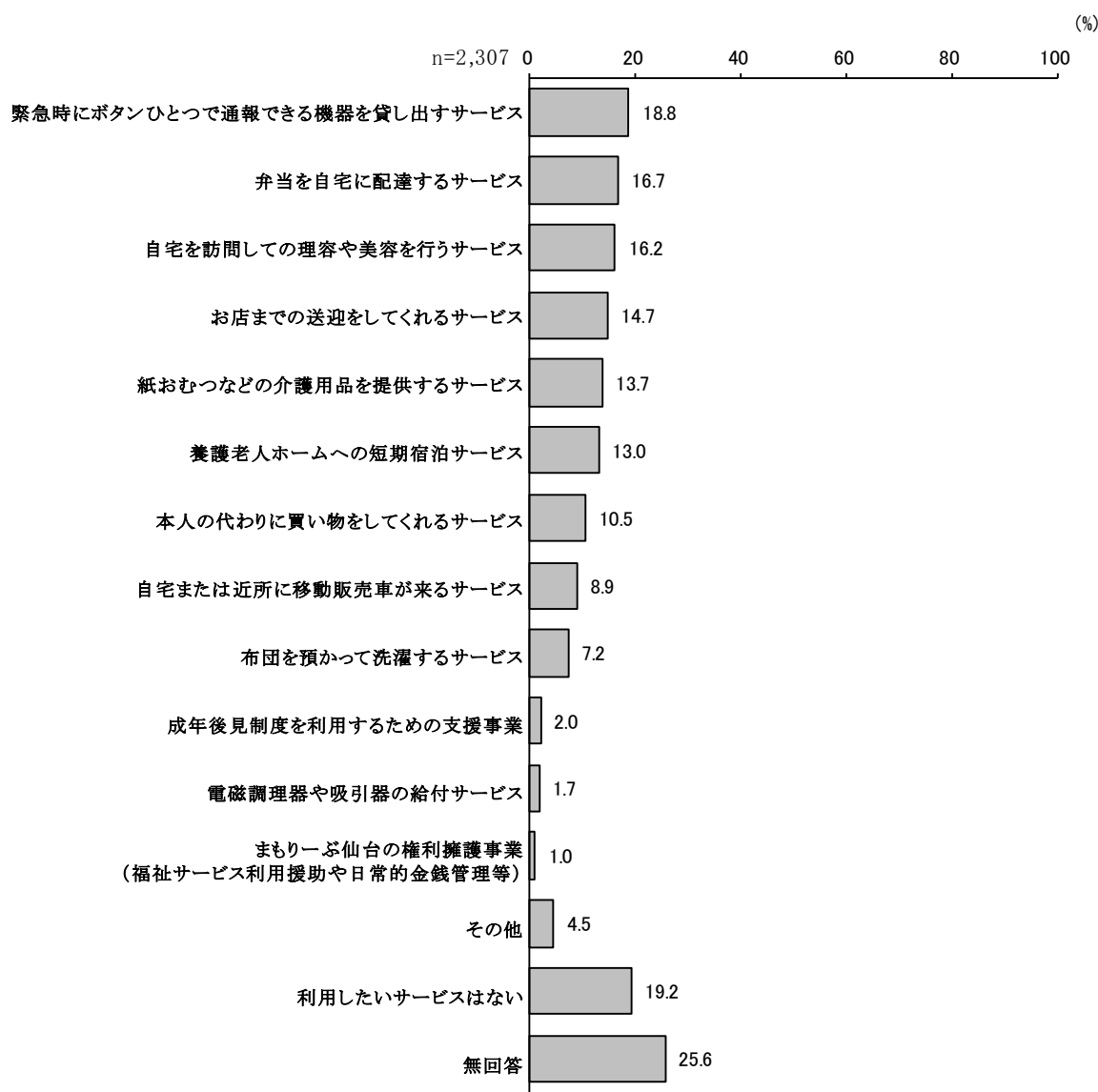


（2）高齢者福祉サービスの今後の利用意向【複数回答】

在宅者等

問31-(2) 今後利用したい（現在利用していて、今後も引き続き利用したい場合を含む）
と思うサービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○今後利用したい高齢者福祉サービスは、「利用したいサービスはない」と回答した方が最も多く（19.2%）、次いで「緊急時にボタンひとつで通報できる機器を貸し出すサービス」（18.8%）、「弁当を自宅に配達するサービス」（16.7%）、「自宅を訪問しての理容や美容を行うサービス」（16.2%）となっています。

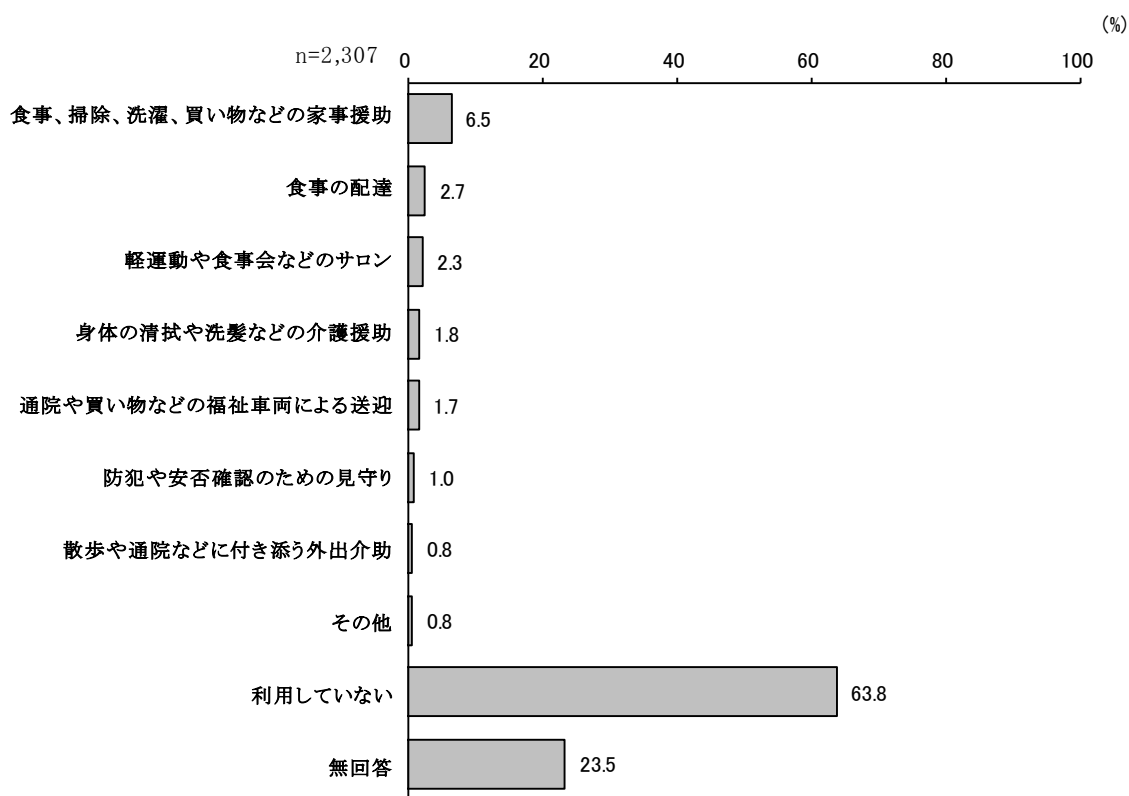


（3）地域、NPOやボランティアによるサービスの利用状況【複数回答】

在宅者等

問32-(1) 現在利用しているサービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○現在利用している地域、NPOやボランティアによるサービスは、回答者の 63.8%「が利用していない」と回答し、前回調査（平成 28 年度）より、6.1 ポイント高くなっています。利用しているサービスの中では「食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助」(6.5%) が最も多く、次いで、「食事の配達」(2.7%)、「軽運動や食事会などのサロン」(2.3%) となっています。一方、「利用していない」は 63.8%となっています。



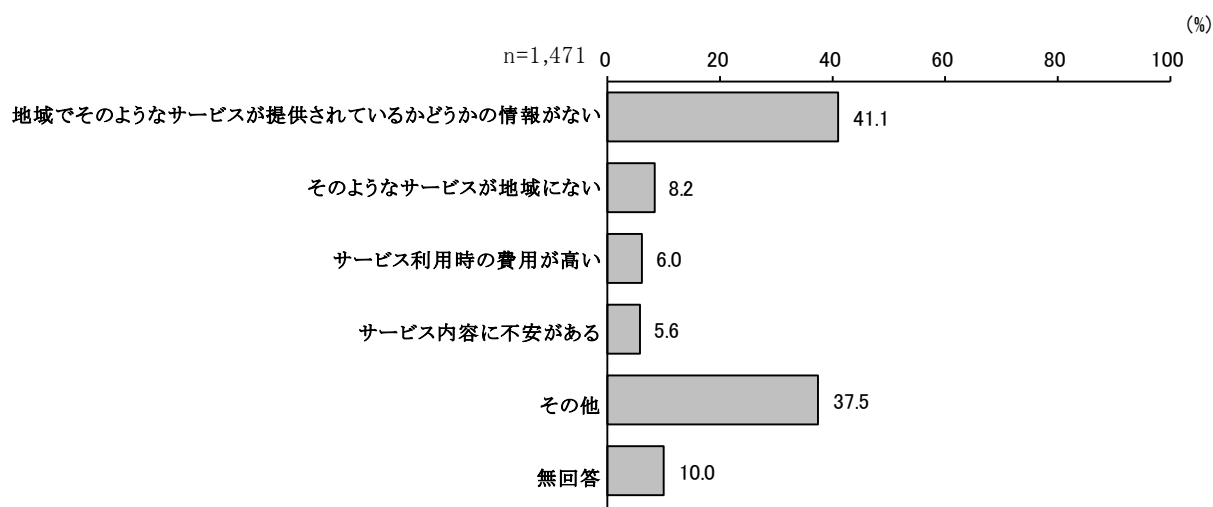
（4）地域、NPOやボランティアによるサービスを利用していない理由

【複数回答】

在宅者等

問32-(2) 【問32-(1)で「利用していない」と回答した方】
 利用していない理由は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○地域、NPOやボランティアによるサービスを利用していない理由は、「地域でそのようなサービスが提供されているかどうかの情報がない」（41.1%）が最も多くなっています。また、「その他」の内容としては、「今のところ必要としていない」などが挙げられています。

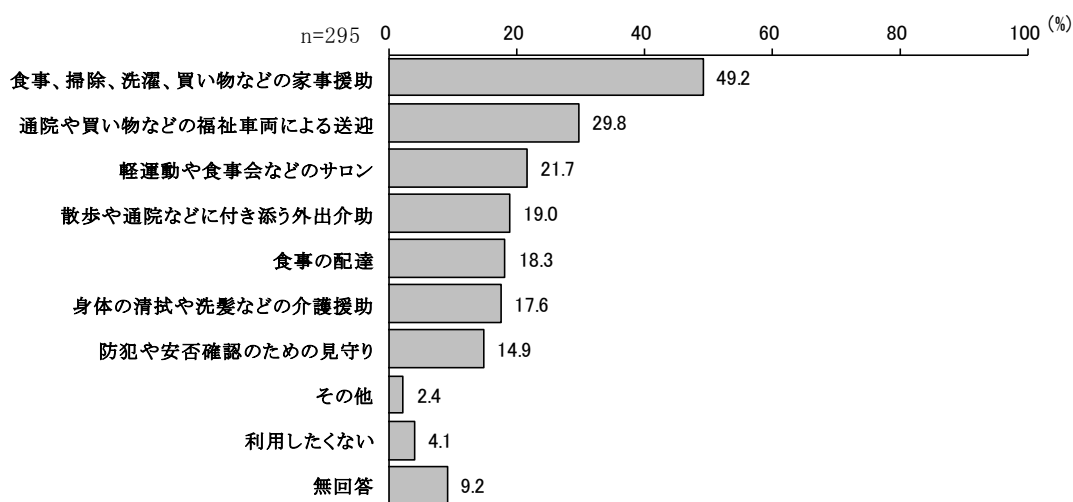


(5) 地域、NPOやボランティアによる今後利用したい（現在利用していて、今後も引き続き利用したい場合を含む）と思うサービス【複数回答】

在宅者等

問32-(3) 【問32-(1)で、いずれかを「利用している」と回答した方】
 今後利用したい（現在利用していて、今後も引き続き利用したい場合を含む）
 と思うサービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○今後利用したいと思う地域、NPOやボランティアによるサービスは、「食事、掃除、洗濯、買い物などの家事援助」（49.2%）が最も多く、次いで、「通院や買い物などの福祉車両による送迎」（29.8%）、「軽運動や食事会などのサロン」（21.7%）となっています。



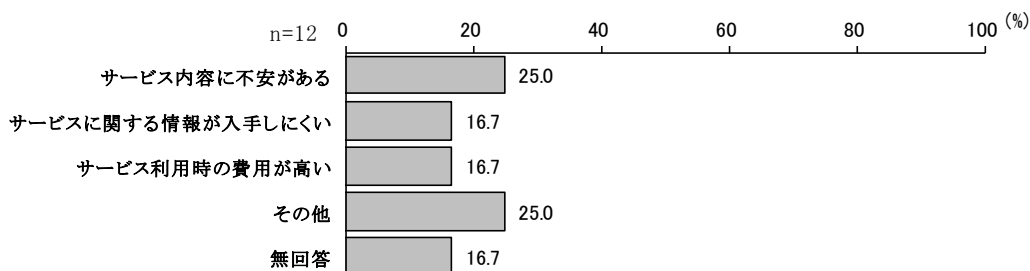
(6) 地域、NPOやボランティアによるサービスを今後利用したくない理由

【複数回答】

在宅者等

問32-(4) 【問32-(3)で「利用したくない」と回答した方】
 利用したくない理由は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

○地域、NPOやボランティアによるサービスを今後利用したくない理由は、「サービス内容に不安がある」「その他」（ともに 25.0%）が最も多くなっています。なお、「その他」の内容としては、「現在は必要ない」などが挙げられています。



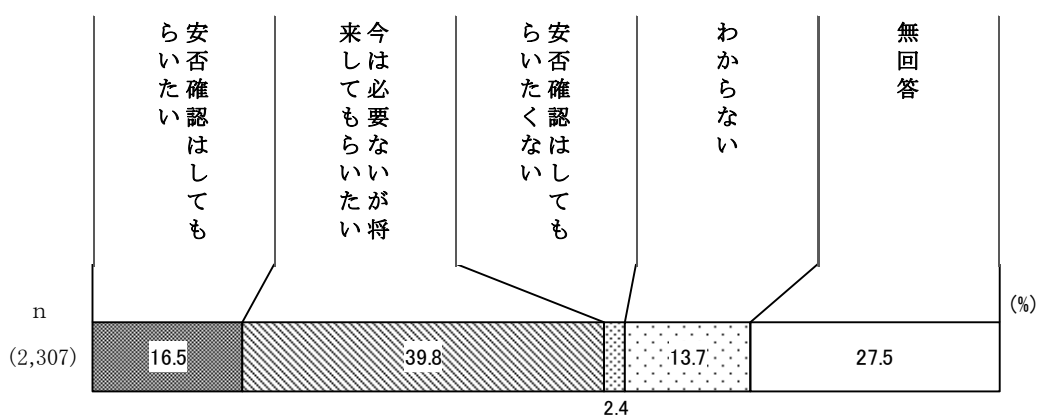
10 安否確認について

（1）安否確認の意向

対象者全員

問33-(1) 安否を確認してもらいたいですか。（あてはまるもの1つに○）

○安否確認の意向は、「今は必要ないが将来してもらいたい」（39.8%）と「安否確認はしてもらいたい」（16.5%）を合わせた『安否確認を希望する』が 56.3%となっており、前回調査（平成28年度）とほぼ同様の結果となっています。

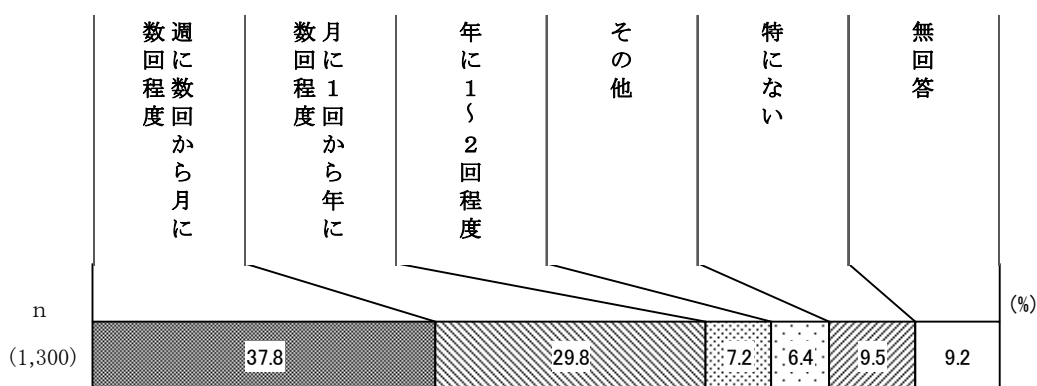


（2）安否確認の希望回数

対象者全員

問33-(2)① 【問33-(1)で「安否確認はしてもらいたい」「今は必要ないが将来してもらいたい」のいずれかに回答した方】
回数（あてはまるもの1つに○）

○安否確認の希望回数は、「週に数回から月に数回程度」（37.8%）が最も多く、次いで、「月に1回から年に数回程度」（29.8%）、「年に1～2回程度」（7.2%）となっています。

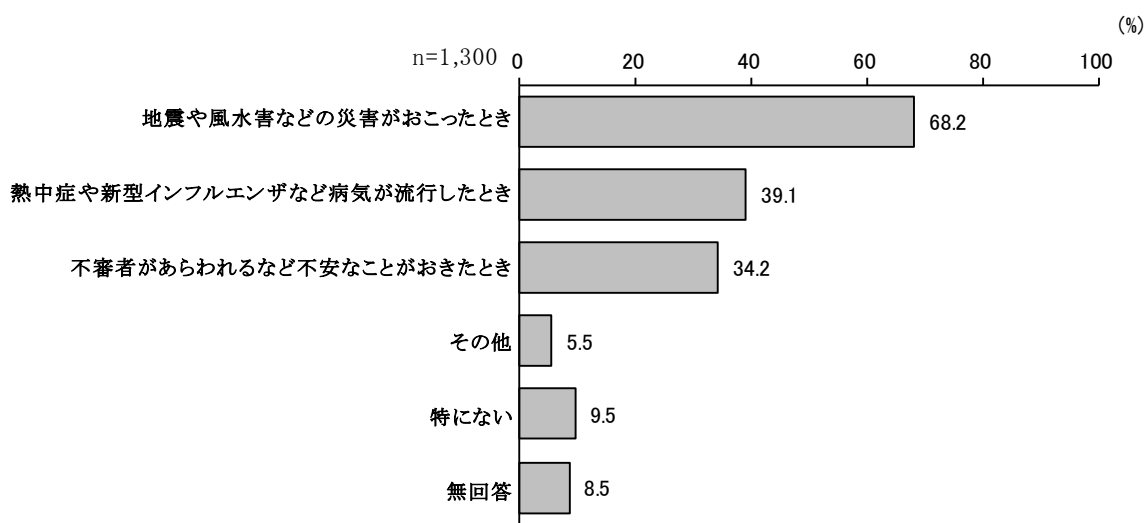


（3）安否確認を必要とする状況【複数回答】

対象者全員

問33-(2)② 【問33-(1)で「安否確認はしてもらいたい」「今は必要ないが将来してもらいたい」のいずれかに回答した方】
状況（あてはまるものすべてに○）

○安否確認を必要とする状況は、「地震や風水害などの災害がおこったとき」（68.2%）が最も多く、次いで、「熱中症や新型インフルエンザなど病気が流行したとき」（39.1%）、「不審者があらわれるなど不安なおこったとき」（34.2%）となっています。なお、前回調査（平成 28 年度）より、「熱中症や新型インフルエンザなど病気が流行したとき」が 5.7 ポイント高くなり、「地震や風水害などの災害がおこったとき」が 4.1 ポイント低くなっています。

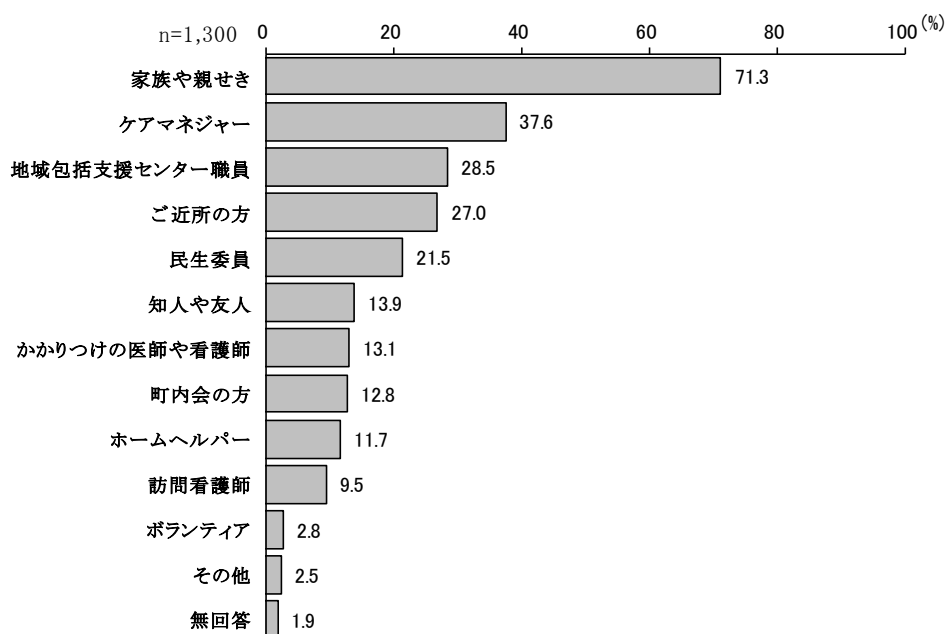


（4）安否確認をしてもらいたい相手方【複数回答】

対象者全員

問33-(3) 【問33-(1)で「安否確認はしてもらいたい」「今は必要ないが将来してもらいたい」のいずれかに回答した方】
 どなたに安否を確認してもらいたいですか。（あてはまるものすべてに○）

○安否確認をしてもらいたい相手方は、「家族や親せき」（71.3%）が最も多く、次いで、「ケアマネジャー」（37.6%）、「地域包括支援センター職員」（28.5%）、「ご近所の方」（27.0%）となっています。なお、前回調査（平成28年度）より、「ご近所の方」が4.3ポイント、「町内会の方」が3.1ポイント低くなっています。



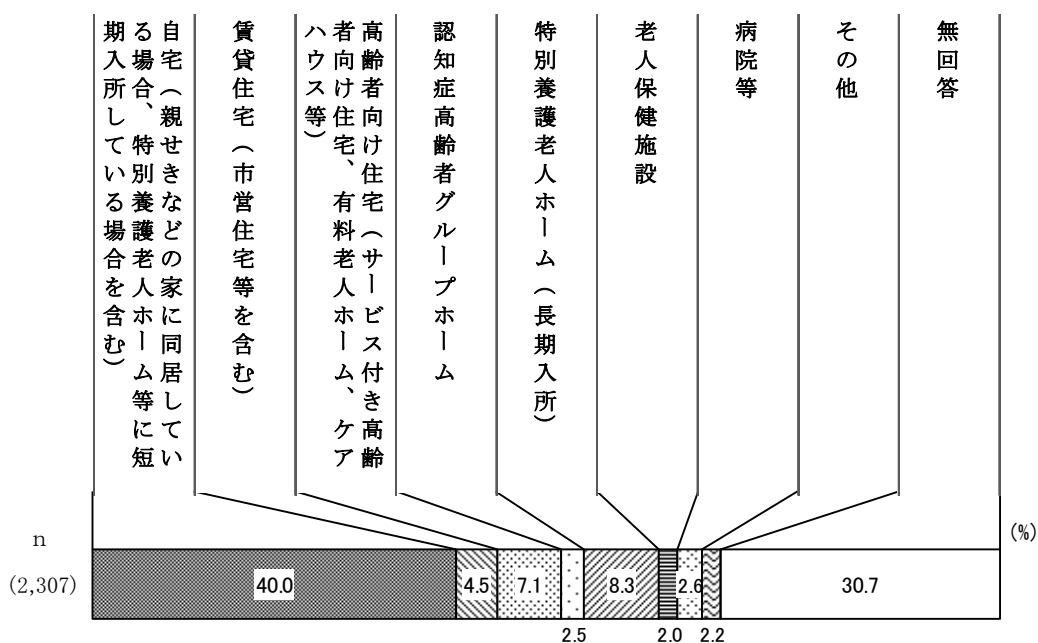
11 今後介護を受けたい場所と施設への入所申し込み状況について

（1）今後介護を受けたい場所

在宅者等

問34 今後どこで介護を受けながら生活したいと思いますか。
（あてはまるもの1つに○）

○今後介護を受けたい場所は、「自宅（親せきなどの家に同居している場合、特別養護老人ホーム等に短期入所している場合を含む）」（40.0%）が最も多く、次いで、「特別養護老人ホーム（長期入所）」（8.3%）、「高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、ケアハウス等）」（7.1%）となっています。

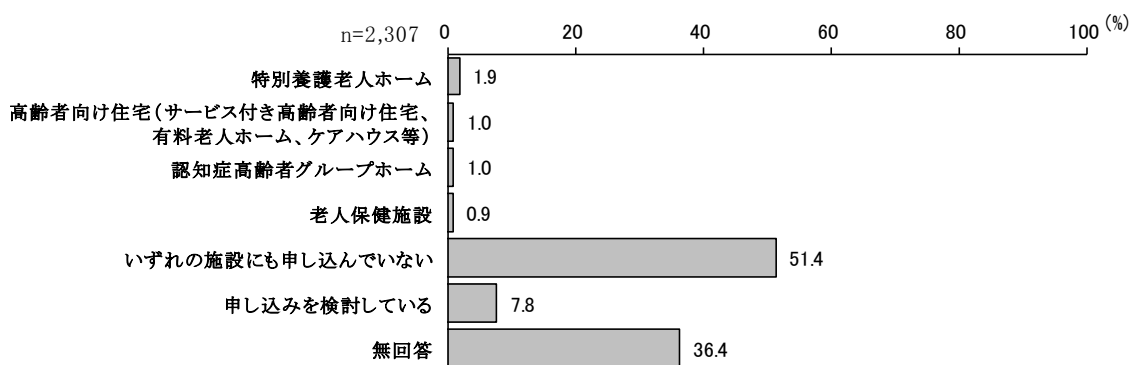


（2）施設への入所申し込み状況【複数回答】

在宅者等

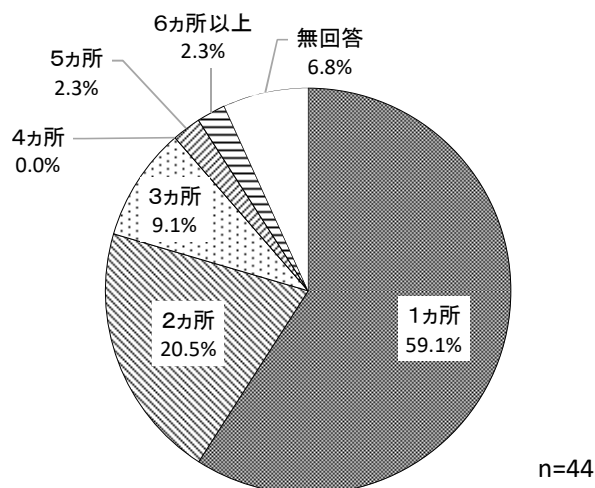
問35 現在、次の施設に入所の申し込みをされていますか。申し込みをしている場合は、何カ所に申し込んでいるかもお答えください。（あてはまるものすべてに○）

○施設への入所申し込み状況は、「特別養護老人ホーム」（1.9%）が最も多くなっています。一方、「いずれの施設にも申し込んでいない」は51.4%となっています。



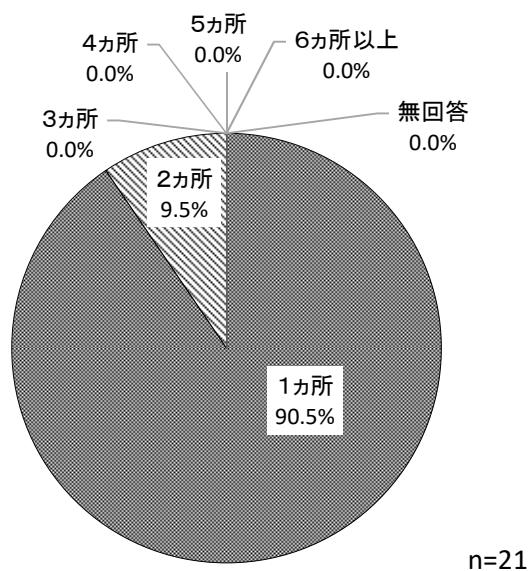
問35-(1) 【問35で「特別養護老人ホーム」と回答した方】
特別養護老人ホームに入所の申し込み／何カ所

○特別養護老人ホームに入所の申し込みをしている方の申込施設数は、「1カ所」（59.1%）が最も多く、次いで、「2カ所」（20.5%）となっています。



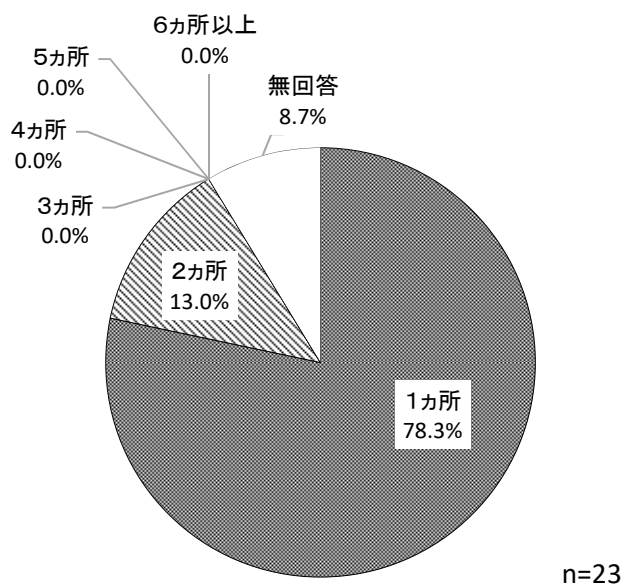
問35-(2) 【問35で「老人保健施設」と回答した方】
老人保健施設に入所の申し込み／何カ所

○老人保健施設に入所の申し込みをしている方の申込施設数は、「1カ所」（90.5%）が最も多く、次いで、「2カ所」（9.5%）となっています。



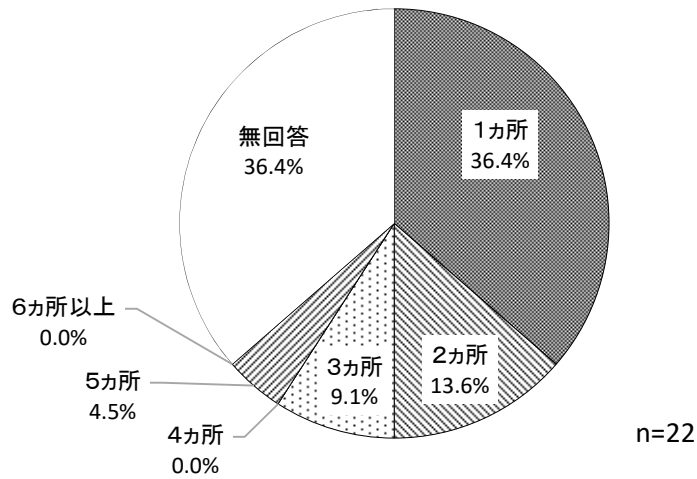
問35-(3) 【問35で「高齢者向け住宅」と回答した方】
高齢者向け住宅に入所の申し込み／何カ所

○高齢者向け住宅に入所の申し込みをしている方の申込施設数は、「1カ所」（78.3%）が最も多く、次いで、「2カ所」（13.0%）となっています。



問35-(4) 【問35で「認知症高齢者グループホーム」と回答した方】
認知症高齢者グループホームに入所の申し込み/何カ所

○認知症高齢者グループホームに入所の申し込みをしている方の申込施設数は、「1カ所」
（36.4%）が最も多く、次いで、「2カ所」（13.6%）、「3カ所」（9.1%）となっていま
す。



12 施設入所者の状況について

（1）施設入所前の生活場所

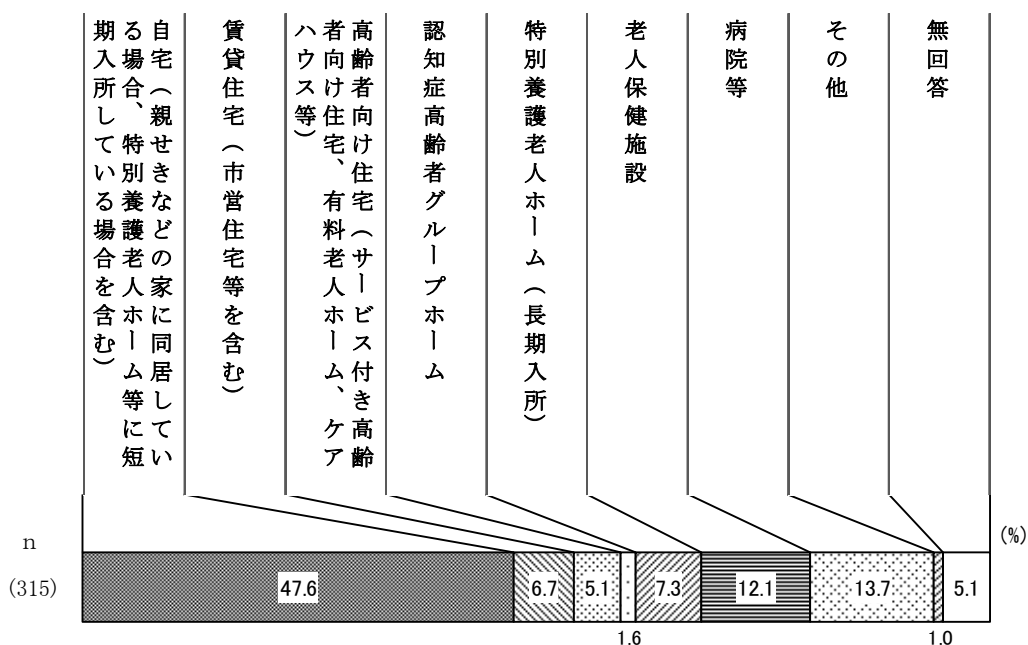
施設入所者

全体：問36 施設：問20

現在の施設に入所する前に、ご本人はどこで生活していましたか。

（あてはまるもの1つに○）

○現在の施設・病院等に入所・入院する前の生活場所は、「自宅（親せきなどの家に同居している場合、特別養護老人ホーム等に短期入所している場合を含む）」(47.6%)が最も多く、次いで、「病院等」(13.7%)、「老人保健施設」(12.1%)となっています。



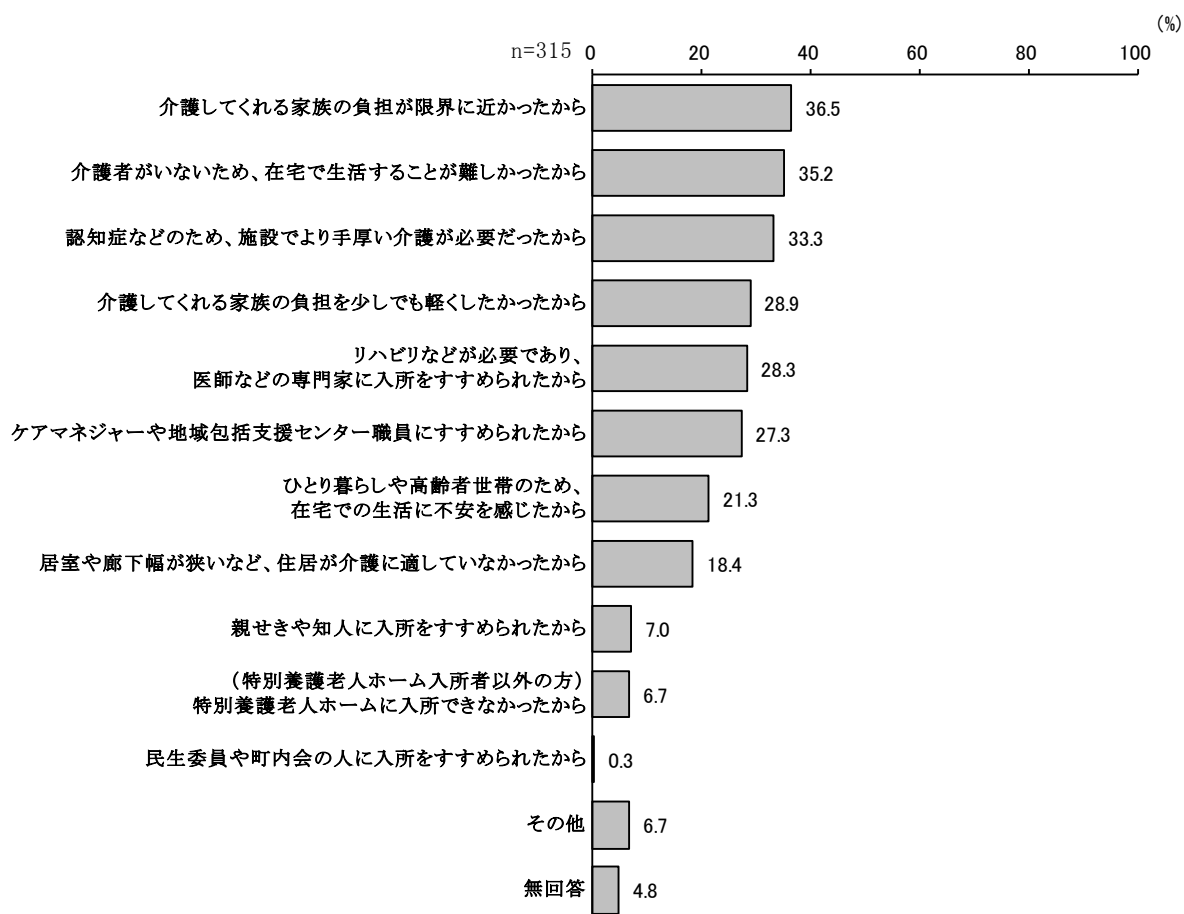
（2）施設への入所理由【複数回答】

施設入所者

全体：問37 施設：問21

現在の施設に入所した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

○現在の施設・病院等に入所・入院した理由は、「介護してくれる家族の負担が限界に近かったから」（36.5%）が最も多く、次いで、「介護者がいないため、在宅で生活することが難しかったから」（35.2%）、「認知症などのため、施設でより手厚い介護が必要だったから」（33.3%）となっています。



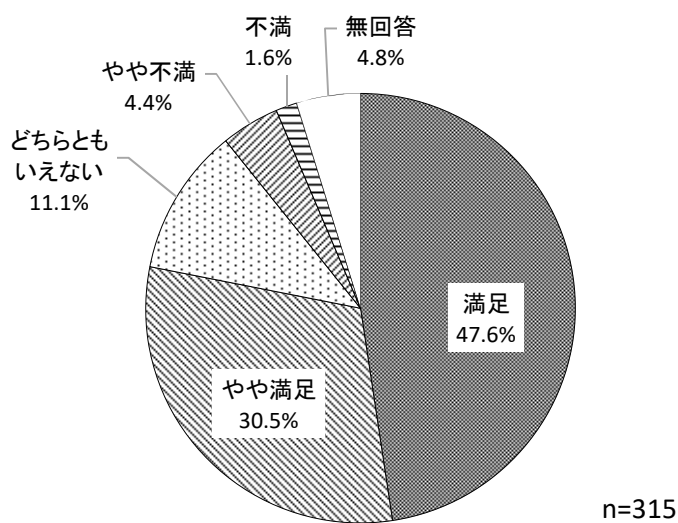
（3）施設サービスの満足度

施設入所者

全体：問38 施設：問22

現在受けている施設サービスに満足していますか。（あてはまるもの1つに○）

○現在受けている施設サービスの満足度は、「満足」（47.6%）と「やや満足」（30.5%）を合わせた『満足』が78.1%となっています。一方、「不満」（1.6%）と「やや不満」（4.4%）は合わせた『不満』は6.0%となっています。なお、前回調査（平成28年度）より、「満足」が5.0ポイント高くなっています。

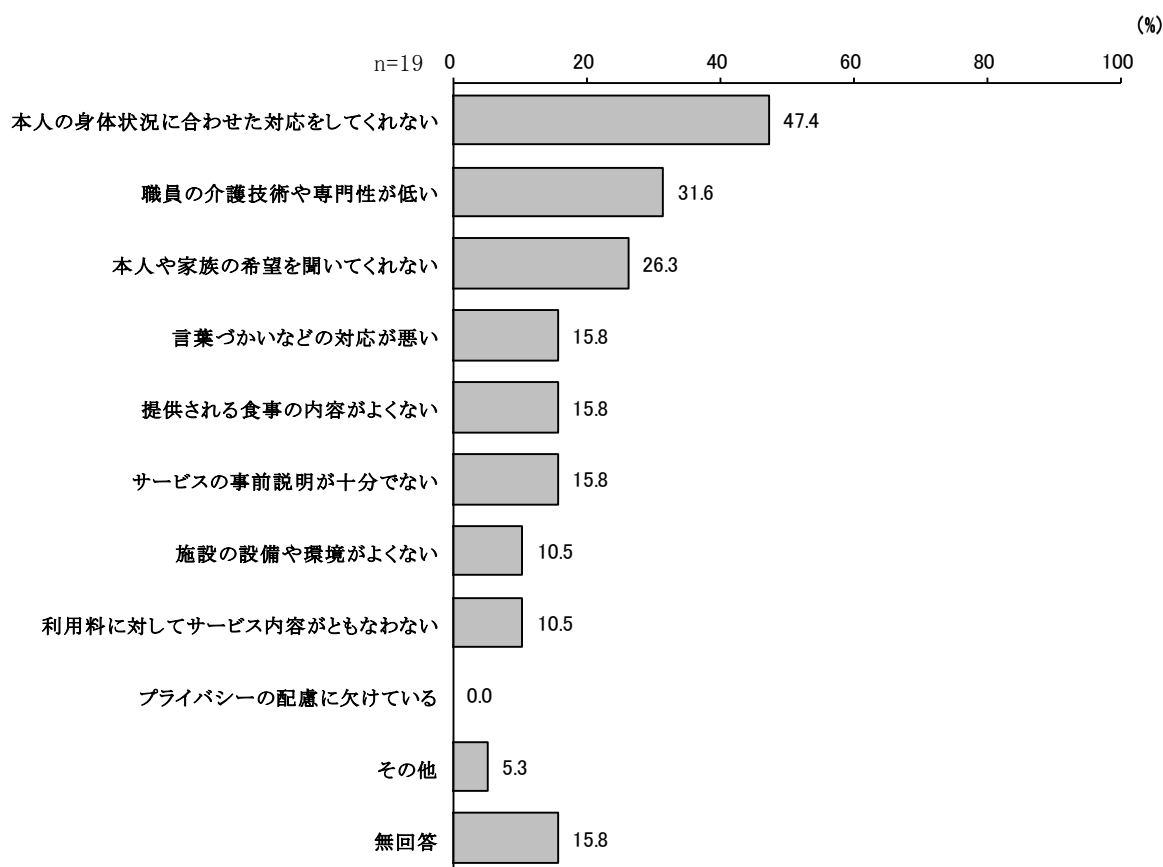


（4）施設サービスの不満な点【複数回答】

施設入所者

全体：問38-(1) 施設：問22-(1) 【問38で「やや不満」「不満」と回答した方】
 どのようなことに不満がありますか。（あてはまるものすべてに○）

○施設サービスの不満な点は、「本人の身体状況に合わせた対応をしてくれない」（47.4%）が最も多く、次いで、「職員の介護技術や専門性が低い」（31.6%）、「本人や家族の希望を聞いてくれない」（26.3%）となっています。また、「その他」の内容としては、「利用料が高い」などが挙げられています。



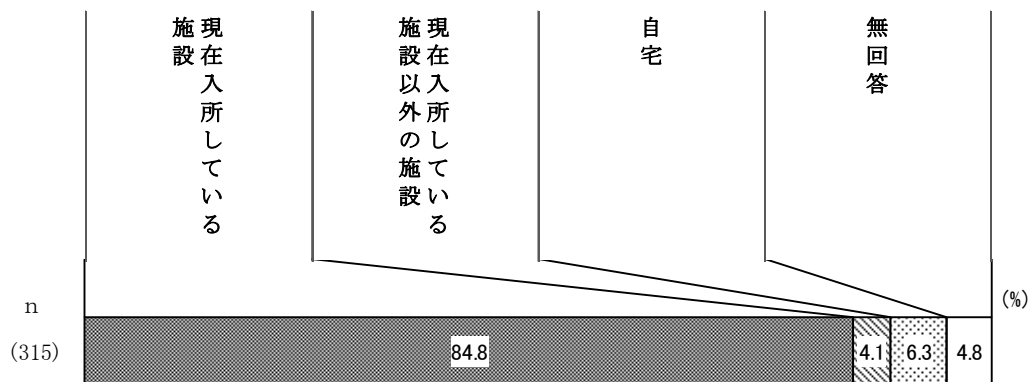
（5）今後介護を受けたい場所

施設入所者

全体：問38-(2) 施設：問22-(2)

今後どのような場所で介護を受けたいですか。（あてはまるもの1つに○）

○今後介護を受けたい場所は、「現在入所している施設」（84.8%）が最も多くなっており、次いで、「自宅」（6.3%）、「現在入所している施設以外の施設」（4.1%）となっています。



（6）自宅や他施設での介護を希望する理由【複数回答】

施設入所者

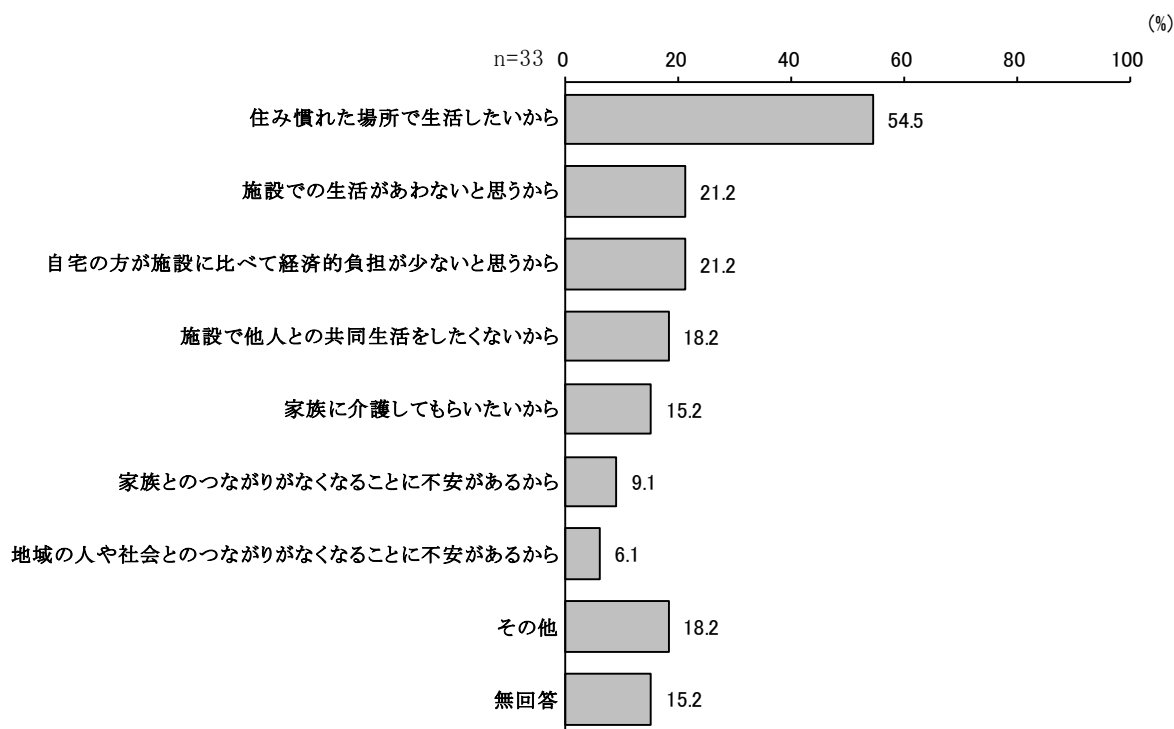
全体：問38-(3) 施設：問22-(3)

【全体：問38-(2)，施設：問22-(2)で「現在入所している施設以外の施設」「自宅」のいずれかに回答した方】

自宅や他施設での介護を希望する理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

○自宅や他施設での介護を希望する理由は、「住み慣れた場所で生活したいから」（54.5%）が最も多く、次いで、「施設での生活があわないと思うから」「自宅の方が施設に比べて経済的負担が少ないと思うから」（ともに21.2%）、「施設で他人との共同生活をしたくないから」（18.2%）、「家族に介護してもらいたいから」（15.2%）となっています。



(7) 引き続き現在の施設に入所を希望する理由【複数回答】

施設入所者

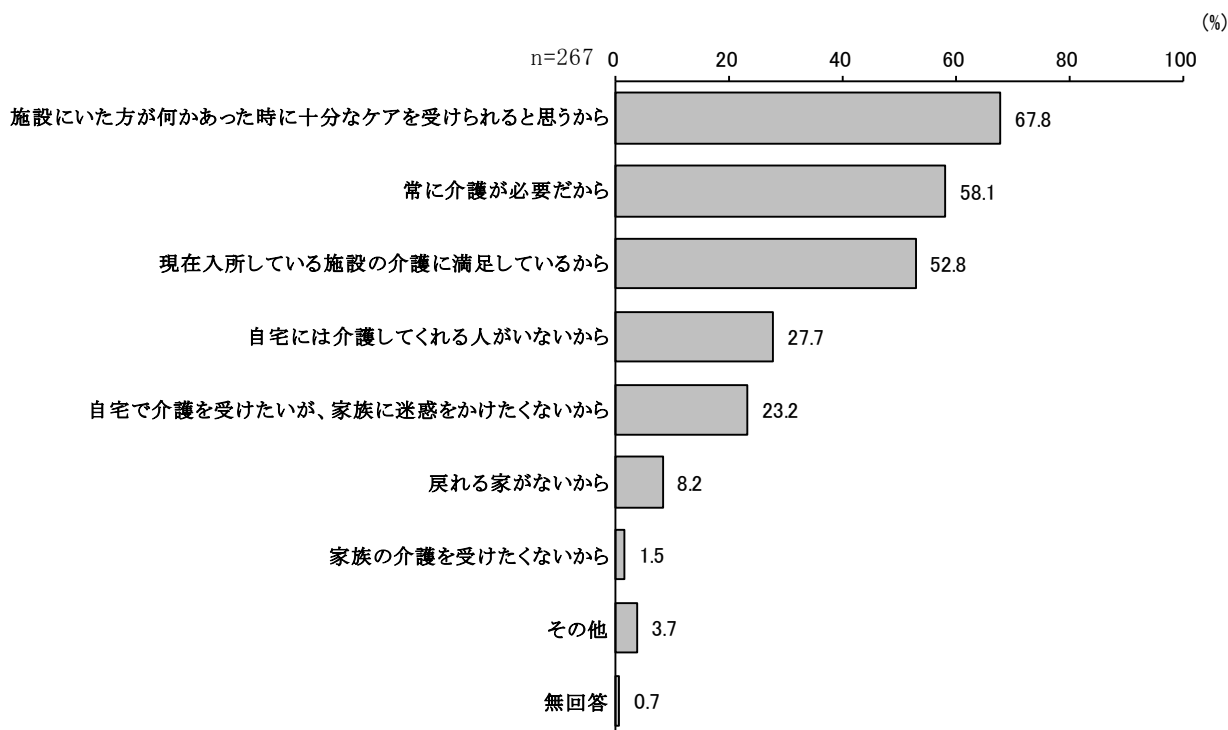
全体：問38-(4) 施設：問22-(4)

【全体：問38-(2), 施設：問22-(2)で「現在入所している施設」と回答した方】

引き続き現在の施設への入所を希望する理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

○引き続き現在の施設に入所を希望する理由は、「施設にいた方が何かあった時に十分なケアを受けられると思うから」(67.8%)が最も多く、次いで、「常に介護が必要だから」(58.1%)、「現在入所している施設の介護に満足しているから」(52.8%)となっています。



13 介護サービスに不満があった場合の対応について

（1）介護サービスに不満があった場合の相談先【複数回答】

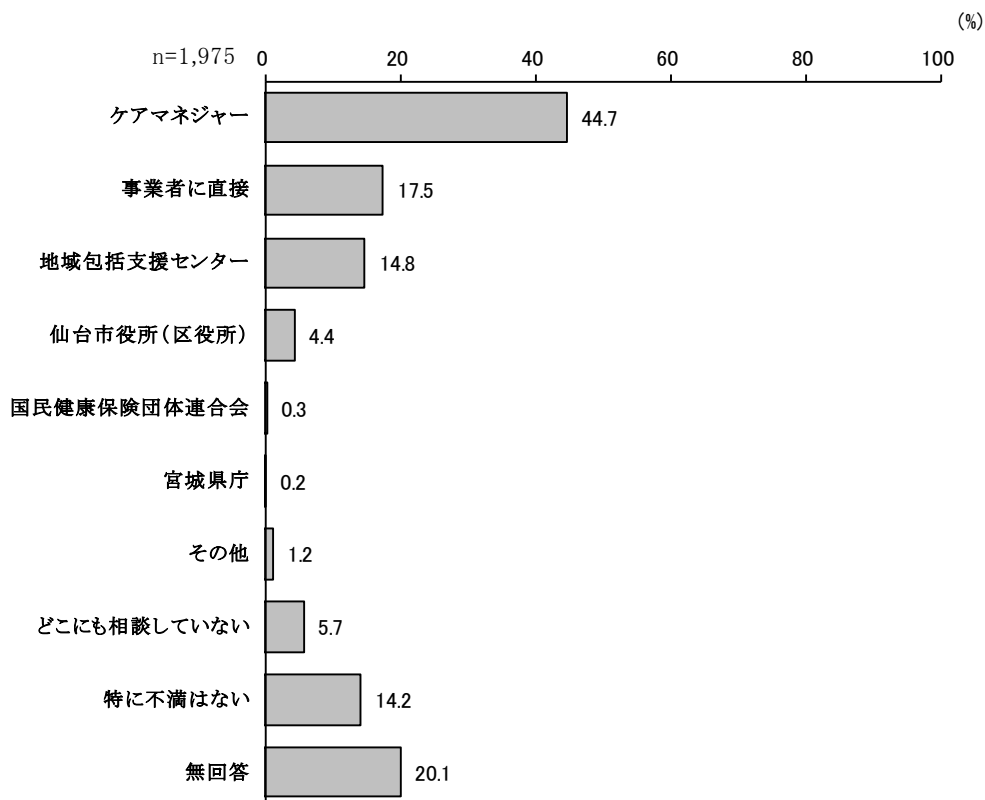
介護サービス利用者

全体：問39 施設：問23

介護サービスに不満があった場合、どこに相談していますか。

（あてはまるものすべてに○）

○介護サービスに不満があった場合の相談先は、「ケアマネジャー」（44.7%）が最も多く、次いで、「事業者へ直接」（17.5%）、「地域包括支援センター」（14.8%）となっています。



14 介護サービスの利用者負担について

(1) 1か月の平均的な利用者負担額

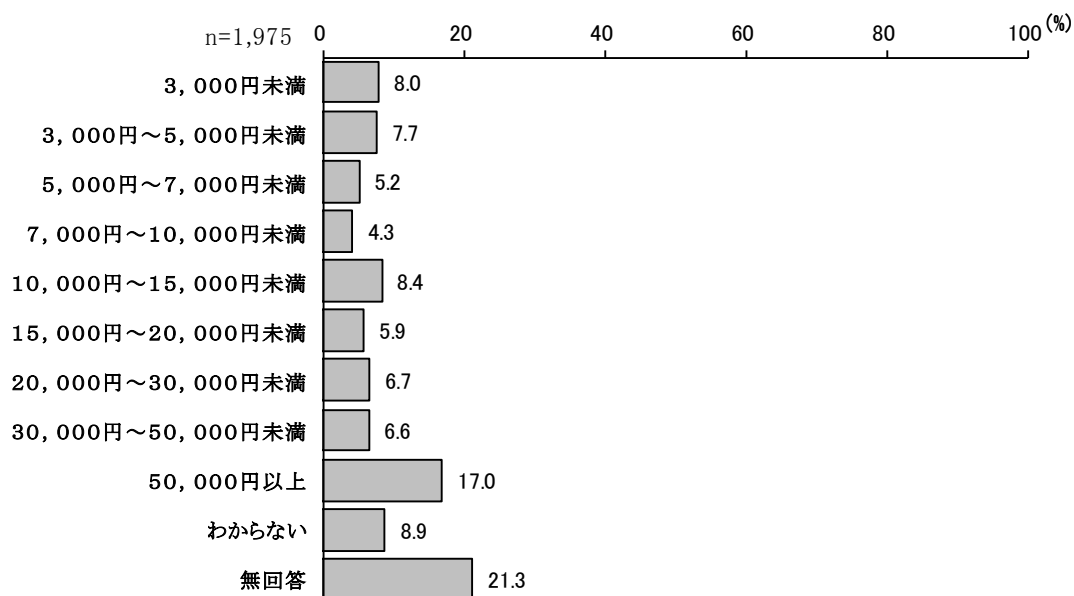
介護サービス利用者

全体：問40 施設：問24

現在、利用している介護サービスの1か月の平均的な利用者負担額（1～3割負担分に食費・居住費(滞在費)を加えたもの）は次のうちどれですか。

（あてはまるもの1つに○）

○1か月の平均的な利用者負担額は、「50,000円以上」（17.0%）が最も多く、次いで、「10,000円～15,000円未満」（8.4%）、「3,000円未満」（8.0%）、「3,000円～5,000円未満」（7.7%）となっています。



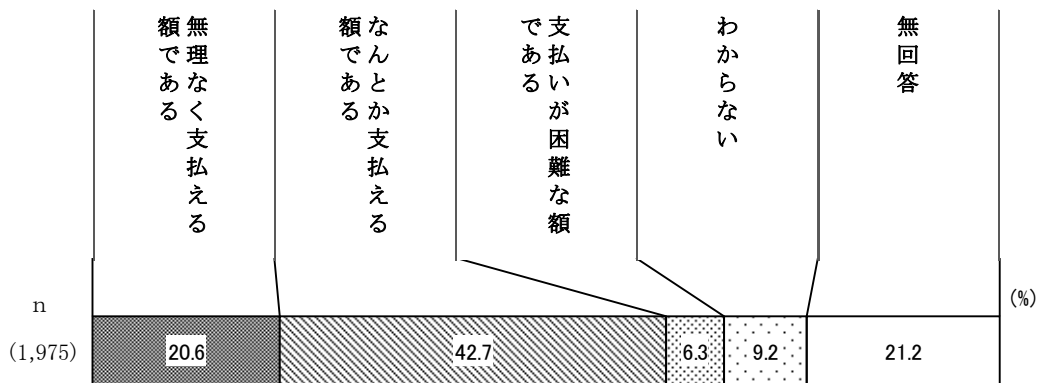
（2）利用者負担の負担感

介護サービス利用者

全体：問41 施設：問25

介護サービスを利用する際に支払っている利用者負担額（1～3割負担分に食費・居住費(滞在費)を加えたもの）について、ご本人はどのように感じていますか。
（あてはまるもの1つに○）

○利用者負担の負担感は、「なんとか支払える額である」（42.7%）と「無理なく支払える額である」（20.6%）を合わせた『支払える』は63.3%となっています。一方、「支払いが困難な額である」は6.3%となっており、前回調査（平成28年度）とほぼ同様の傾向となっています。



（3）利用者負担が3割になった以降における利用量の変化とその理由

利用者負担3割の方

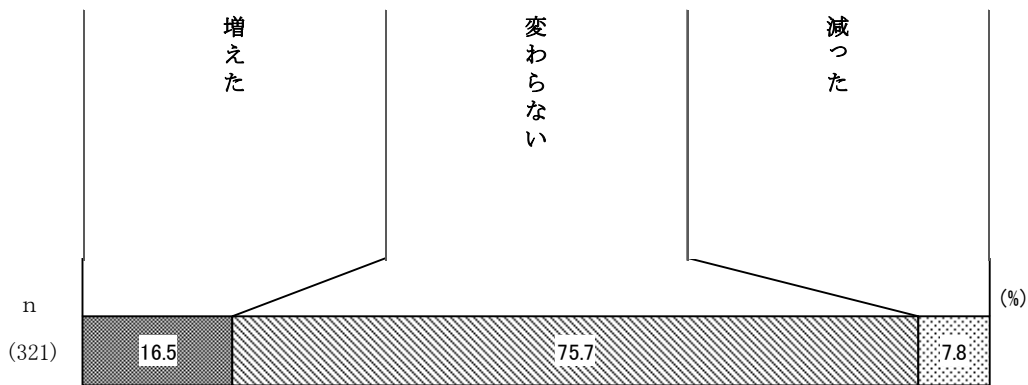
全体：問42 施設：問26

利用者負担が3割になりサービスの利用量はどうなりましたか。

※利用者負担の割合は「介護保険負担割合証」（ピンク色のもの）に記載されています。

（あてはまるもの1つに○）

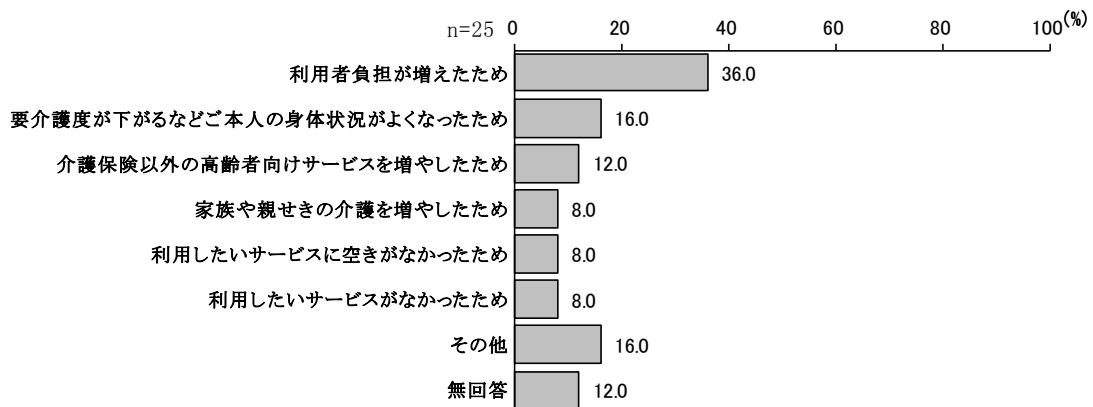
○利用者負担が3割になった以降における利用量の変化は、「変わらない」（75.7%）が最も多く、次いで、「増えた」（16.5%）、「減った」（7.8%）となっています。



全体：問42-(1) 施設：問26-(1) 【問42で「減った」と回答した方】

その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

○利用者負担が3割になった以降に利用量が減った理由は、「利用者負担が増えたため」（36.0%）が最も多く、次いで、「要介護度が下がるなどご本人の身体状況がよくなったため」（16.0%）、「介護保険以外の高齢者向けサービスを増やしたため」（12.0%）となっています。



15 仙台市への意見・要望について（自由記述）

対象者全員

全体：問43 施設：問27

仙台市の介護保険事業や高齢者保健福祉施策に関してご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

仙台市への意見・要望について自由に記述していただく設問では、510件の意見が寄せられました。意見内容を分類し、多い順に示した結果は下表のとおりです。

順位	項目	意見数	比率（%）
1	行政への提言など	85	16.7
2	経済的な負担について	61	12.0
3	在宅サービスについて	59	11.6
4	施設サービスについて	54	10.6
5	日常生活について	46	9.0
6	介護保険制度について	37	7.3
7	情報の提供	36	7.1
8	アンケートの感想	31	6.1
9	介護者の負担について	27	5.3
10	感謝	26	5.1
11	要介護認定について	24	4.7
12	施設で働く人の待遇について	6	1.2
13	手続き全般について	6	1.2
14	その他	12	2.4
合計		510	100.0

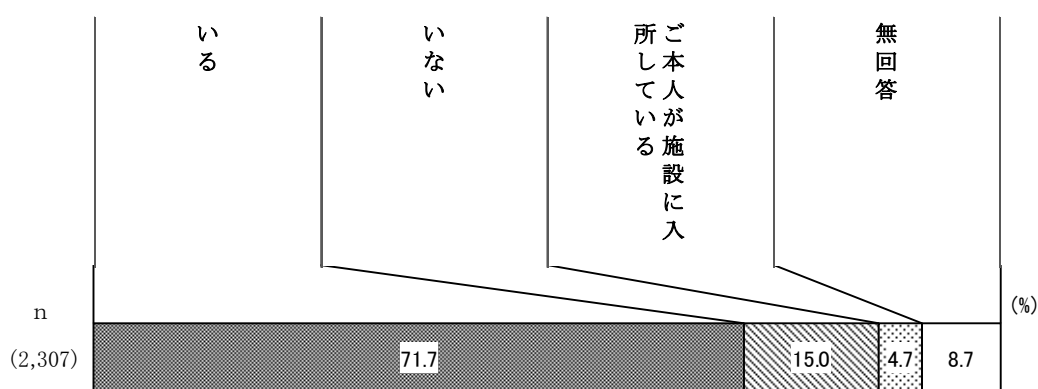
16 介護者について

（1）介護者の有無

対象者全員

問44 ご本人には、同居、別居を問わず介護をしてくれるご家族・ご親せきの方はいらっしゃいますか。（あてはまるもの1つに○）

○介護者は、「いる」と回答した人が71.7%である一方、「いない」と回答した人は15.0%となっています。なお、前回調査（平成28年度）より、「いる」が11.1ポイント高くなっています。

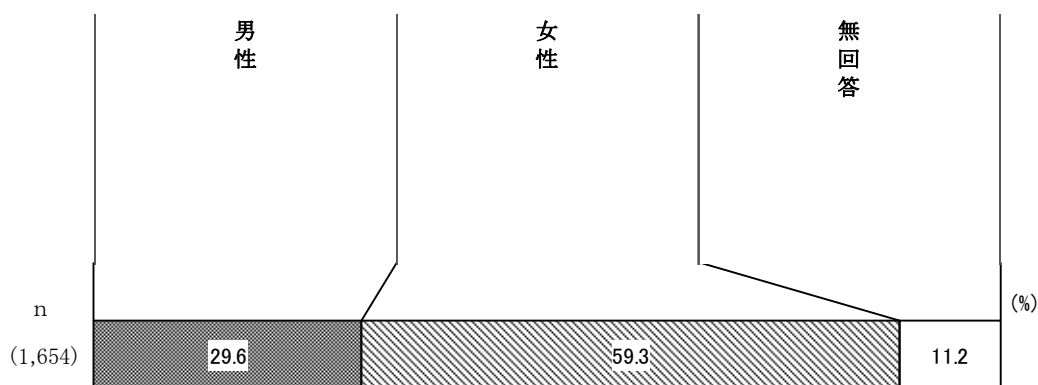


（2）介護者の性別

介護者

問45 介護者の方の性別について、お答えください。（あてはまるもの1つに○）
※現在の社会生活上の性別（自分がどちらの性として日常生活を送っているか）をお答えください。

○介護者の性別は、「男性」が29.6%、「女性」が59.3%となっています。

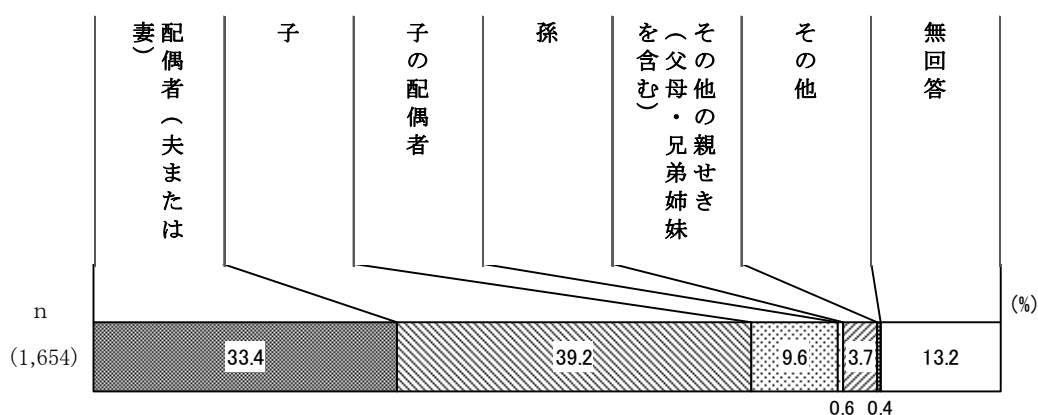


（3）介護者の続柄

介護者

問45 介護者の方の続柄（ご本人から見た場合）について、お答えください。
（あてはまるもの1つに○）

○介護者の続柄（ご本人から見た場合）は、「子」（39.2%）が最も多く、次いで、「配偶者（夫または妻）」（33.4%）となっています。なお、「子」と「子の配偶者」（9.6%）を合わせると48.8%となっています。また、前回調査（平成28年度）より、「子」が5.0ポイント低くなっています。

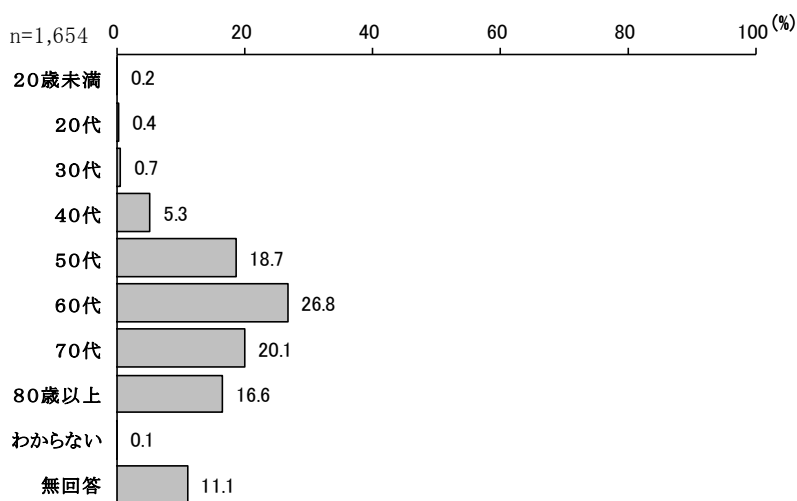


（4）介護者の年齢

介護者

問45 介護者の方の年齢について、お答えください。（あてはまるもの1つに○）

○介護者の年齢は、「60代」（26.8%）が最も多く、次いで、「70代」（20.1%）、「50代」（18.7%）となっています。なお、60代以上は63.5%となっています。

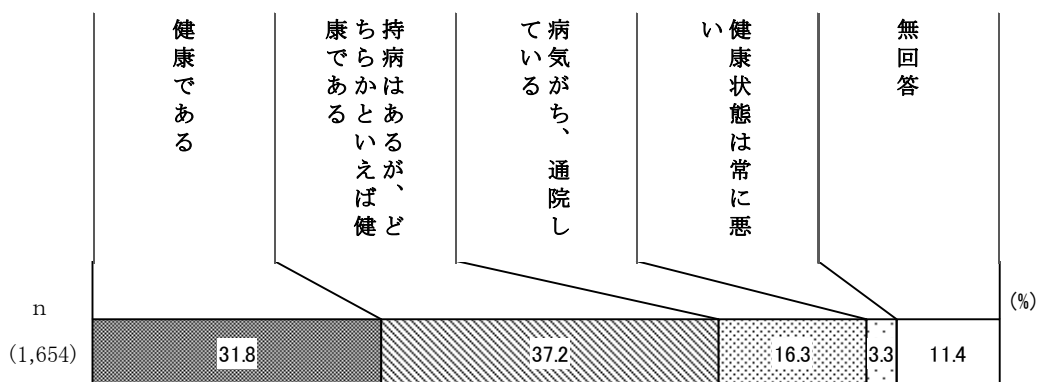


(5) 介護者の健康状態

介護者

問45 介護者の方の健康状態について、お答えください。（あてはまるもの1つに○）

○介護者の健康状態は、「持病はあるが、どちらかといえば健康である」（37.2%）が最も多く、次いで、「健康である」（31.8%）となっており、69.0%が健康に不安のない状況です。一方、「病気がち、通院している」は16.3%、「健康状態は常に悪い」は3.3%となっています。なお、前回調査（平成28年度）より、「健康である」が2.0ポイント、「持病はあるが、どちらかといえば健康である」が1.2ポイント低くなっています。

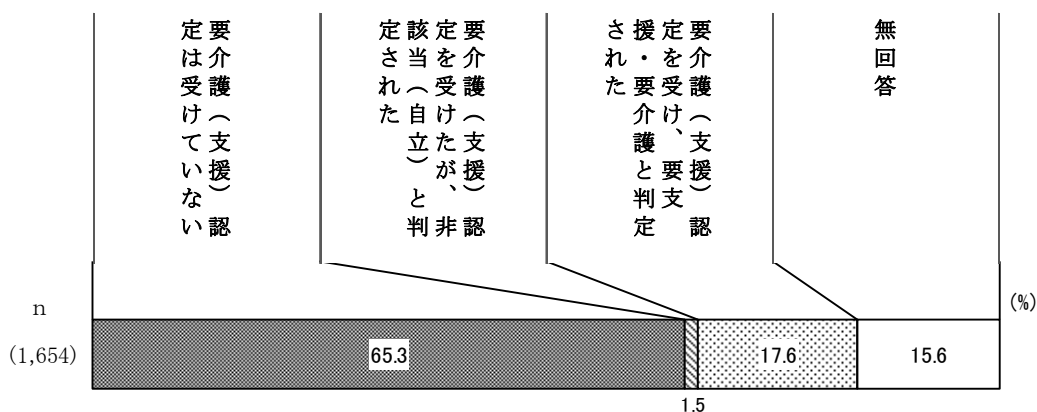


(6) 介護者の要介護等認定の状況

介護者

問45 介護者の方の要介護等認定について、お答えください。（あてはまるもの1つに○）

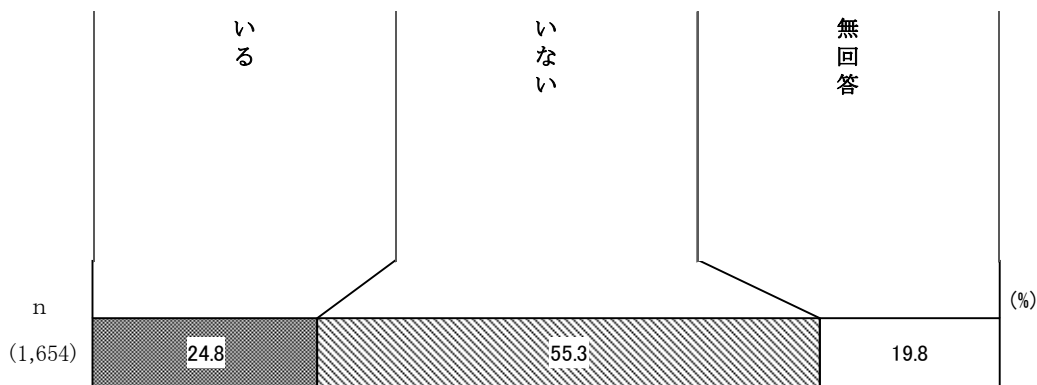
○介護者の要介護等認定の状況は、「要介護（支援）認定は受けていない」（65.3%）が最も多くなっています。一方、「要介護（支援）認定を受け、要支援・要介護と判定された」は17.6%となっています。



（7）介護者の他の介護の有無

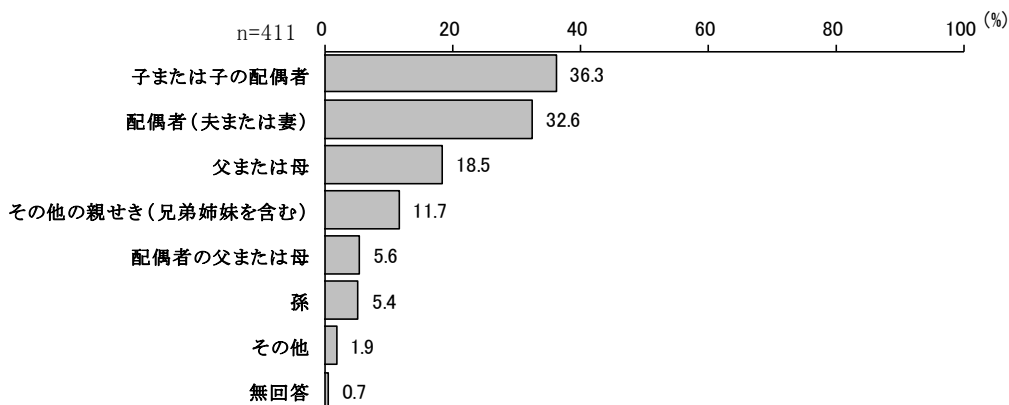
問45-(1) ご本人以外に介護者が介護をしている方はいますか。
 （あてはまるもの1つに○）

○介護者の他の介護の有無は、「いない」が55.3%、「いる」が24.8%となっています。



問45-(2) 【問45-(1)で「いる」と回答した方】
 介護者から見たその方の続柄をお答えください。
 （あてはまるものすべてに○）

○介護者が本人以外にも介護をしている方の続柄は、「子または子の配偶者」（36.3%）が最も多く、次いで、「配偶者（夫または妻）」（32.6%）、「父または母」（18.5%）となっています。

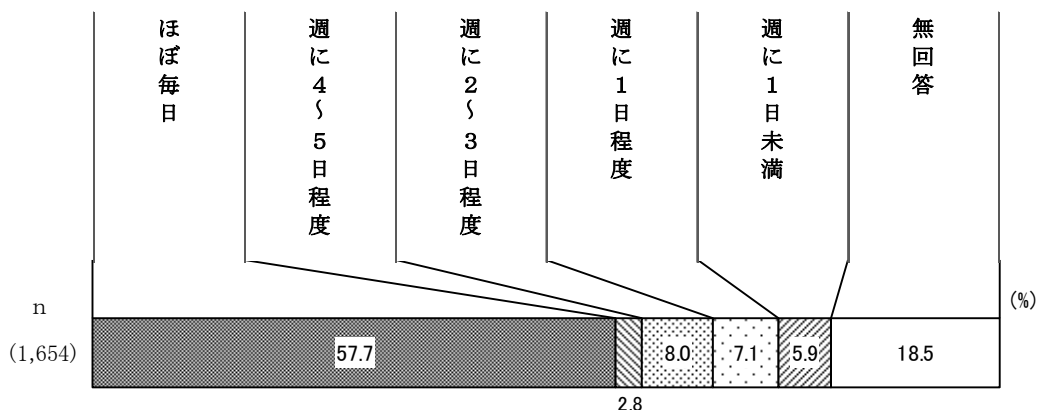


（8）週あたりの介護日数

介護者

問46-(1) 介護者の方は、どのくらいの頻度で介護を行っていますか。1週間のうち何日くらい介護を行っていますか。（あてはまるもの1つに○）

○週あたりの介護日数は、「ほぼ毎日」（57.7%）が最も多くなっています。

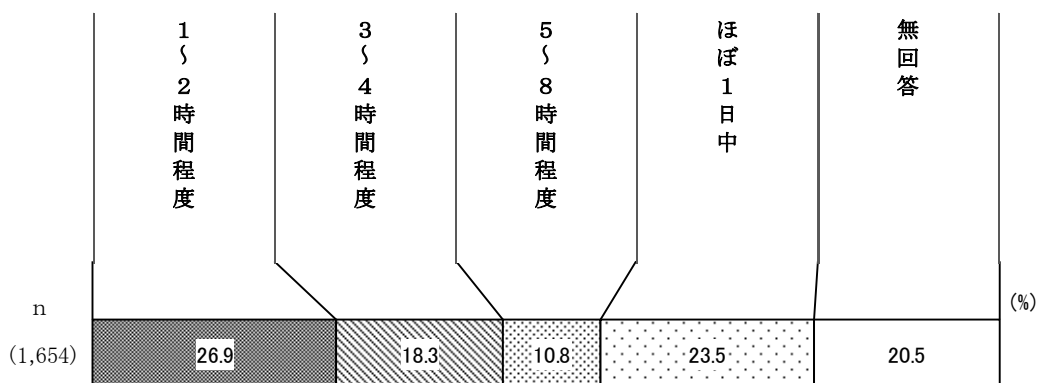


（9）1日平均の介護時間

介護者

問46-(2) 1日平均どのくらいの時間介護を行っていますか（付き添いや見守りの時間も含まれます）。（あてはまるもの1つに○）

○1日平均の介護時間は、「1〜2時間程度」（26.9%）が最も多く、次いで、「ほぼ1日中」（23.5%）、「3〜4時間程度」（18.3%）、「5〜8時間程度」（10.8%）となっています。

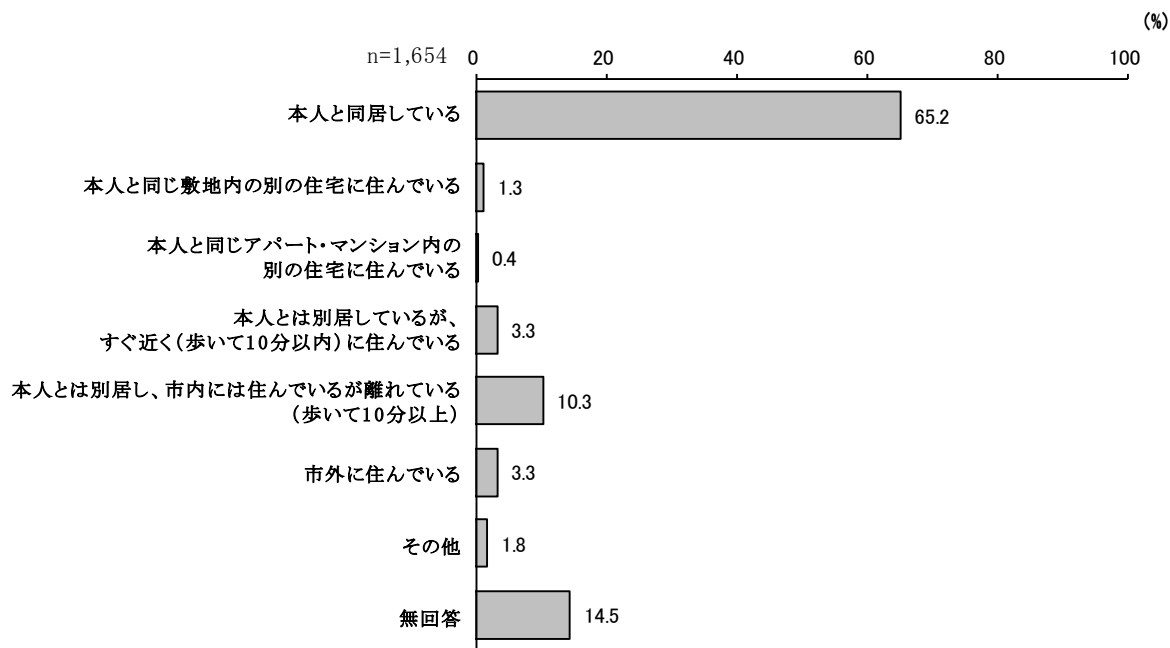


(10) 介護者の住まい

介護者

問47 介護者の方はどちらにお住まいですか。（あてはまるもの1つに○）

○介護者の住まいは、「本人と同居している」（65.2%）が最も多くなっています。なお、前回調査（平成28年度）より、「本人と同居している」が5.3ポイント低くなっています。

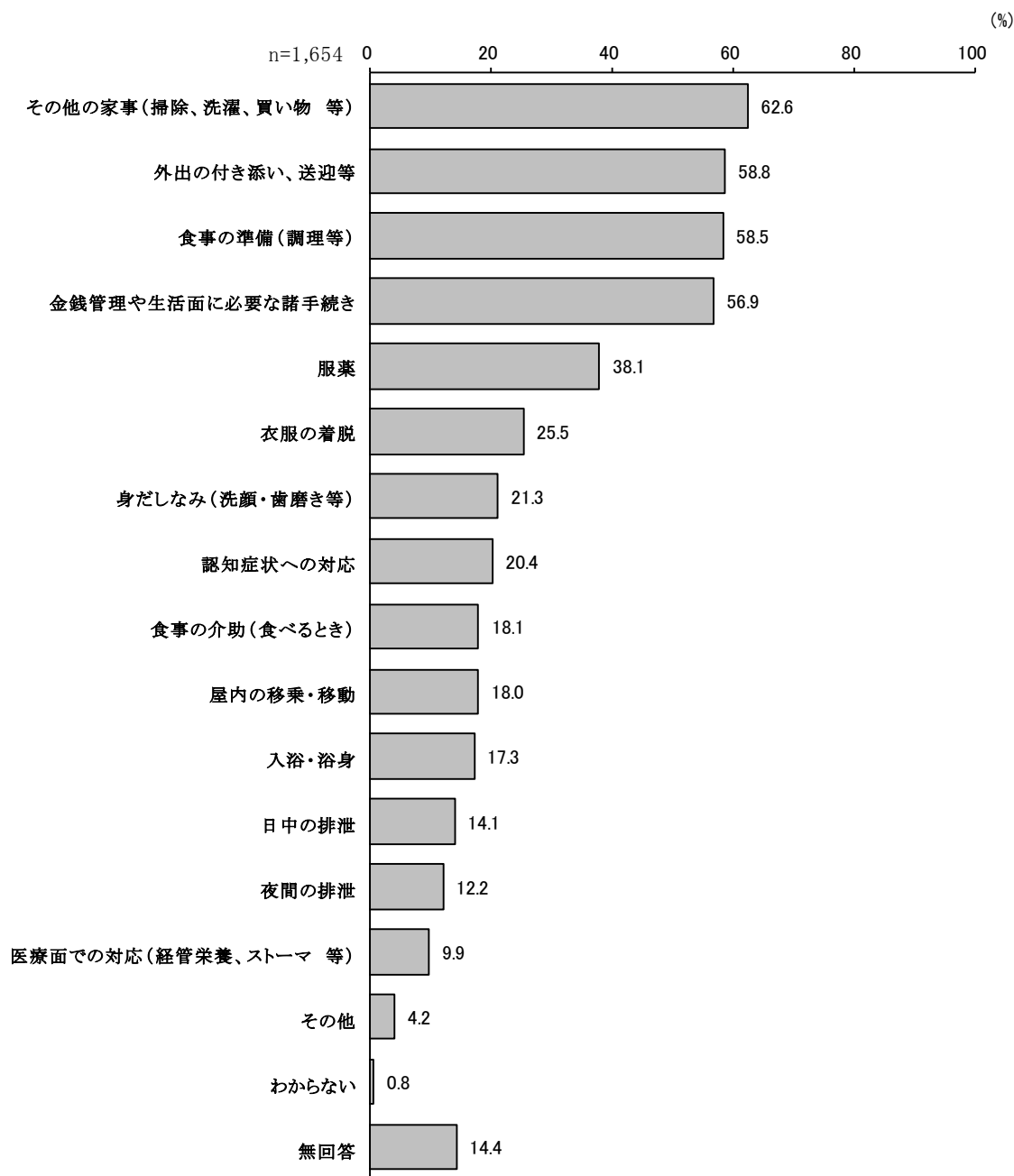


(11) 介護している内容【複数回答】

介護者

問48 現在、介護者の方が行っている介護等は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

○現在、介護者の方が行っている介護等は、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(62.6%)が最も多く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」(58.8%)、「食事の準備(調理等)」(58.5%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(56.9%)となっています。

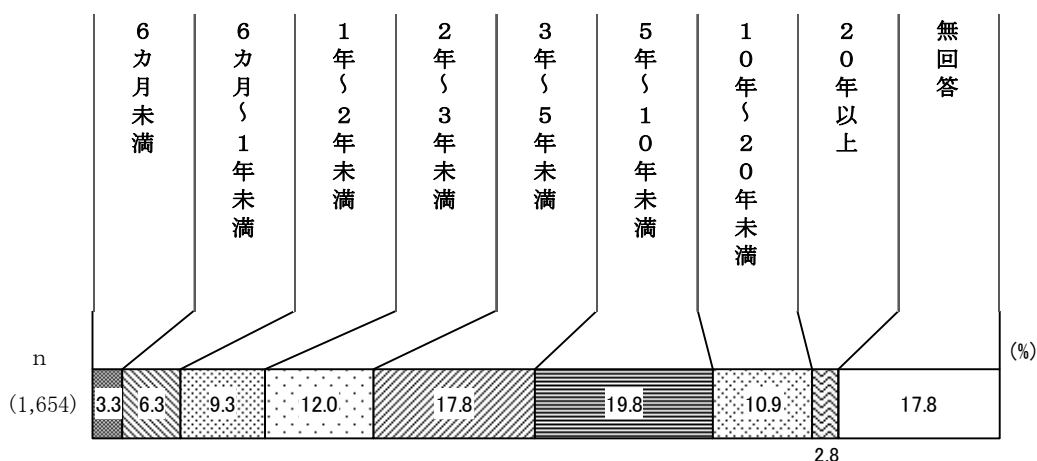


(12) 介護の期間

介護者

問49 介護者の方は、どのくらいの期間ご本人を介護していますか。
（あてはまるもの1つに○）

○介護の期間は「5年～10年未満」（19.8%）が最も多く、次いで、「3年～5年未満」（17.8%）、「2年～3年未満」（12.0%）となっています。

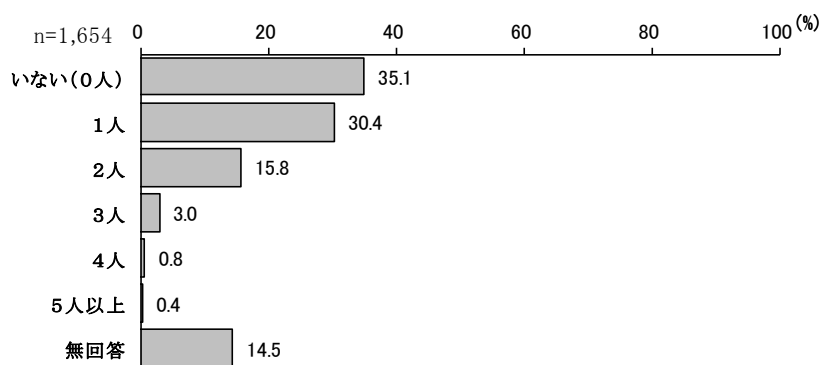


(13) 介護者以外に介護を手伝ってくれる人数

介護者

問50 介護者以外の方で、ご本人の介護を手伝ってくれる方は何人いますか（介護サービス事業者の方は除く）。（あてはまるもの1つに○）

○介護者以外に介護を手伝ってくれる人数は、「いない（0人）」（35.1%）が最も多く、次いで、「1人」（30.4%）、「2人」（15.8%）となっています。

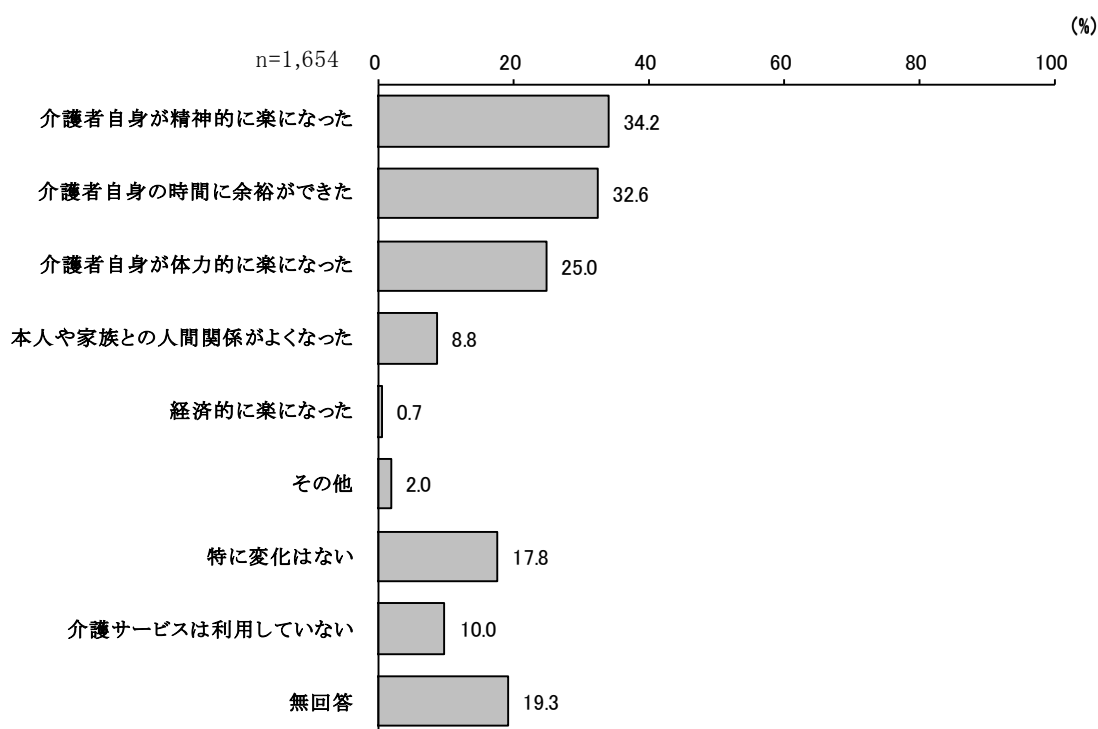


(14) 介護サービスを利用してよくなった点【複数回答】

介護者

問51 介護サービスを利用して、利用する前に比べてよくなったと思われる点は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

○介護サービスを利用して、利用する前に比べてよくなった点は、「介護者自身が精神的に楽になった」(34.2%)が最も多く、次いで、「介護者自身の時間に余裕ができた」(32.6%)、「介護者自身が体力的に楽になった」(25.0%)となっています。なお、前回調査（平成28年度）より、「介護者自身が精神的に楽になった」が4.7ポイント低くなっています。

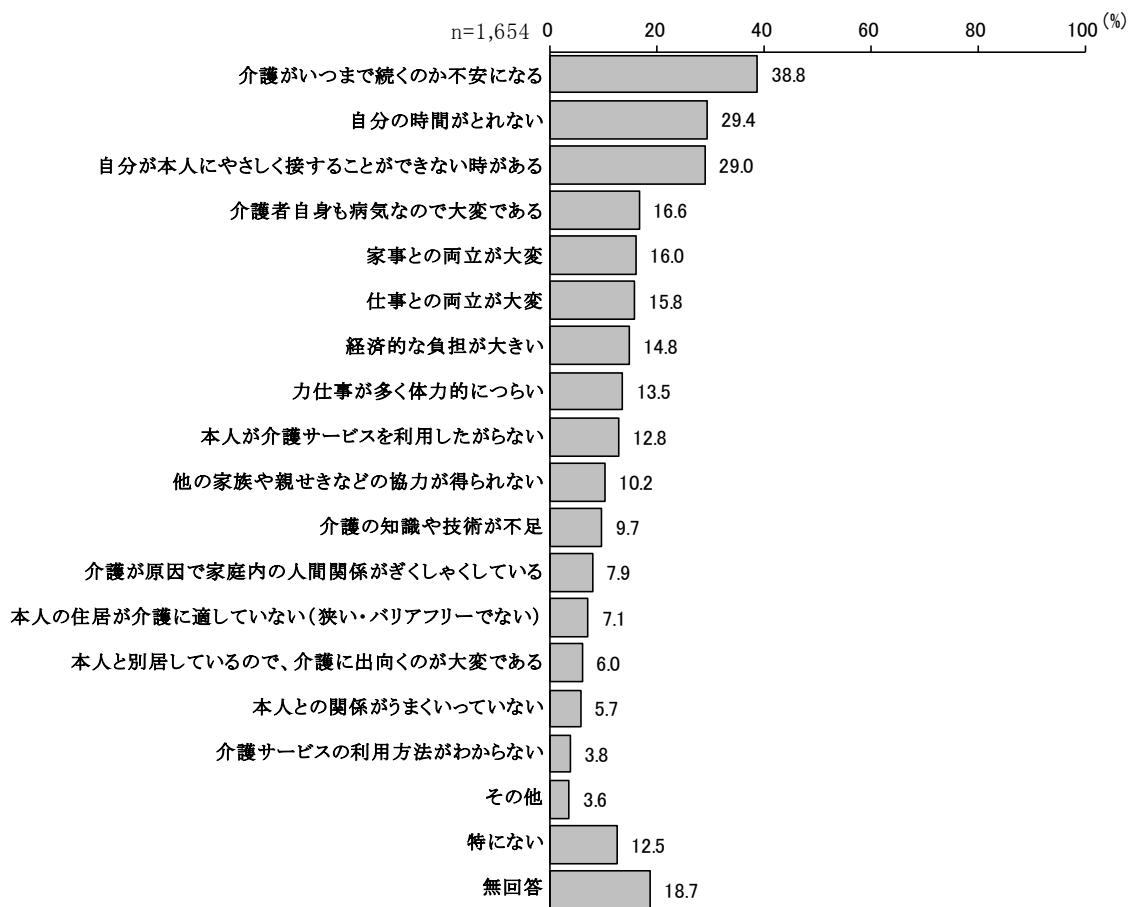


(15) 介護するうえで困った点・不満な点【複数回答】

介護者

問52 介護者の方が、介護をするうえで困ったり不満に思ったりしていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

○介護をするうえで困ったり不満に思ったりしていることは、「介護がいつまで続くのか不安になる」（38.8％）が最も多く、次いで、「自分の時間がとれない」（29.4％）、「自分が本人にやさしく接することができない時がある」（29.0％）となっています。なお、前回調査（平成28年度）より、「介護がいつまで続くのか不安になる」が4.4ポイント、「自分が本人にやさしく接することができない時がある」が2.8ポイント低くなっています。

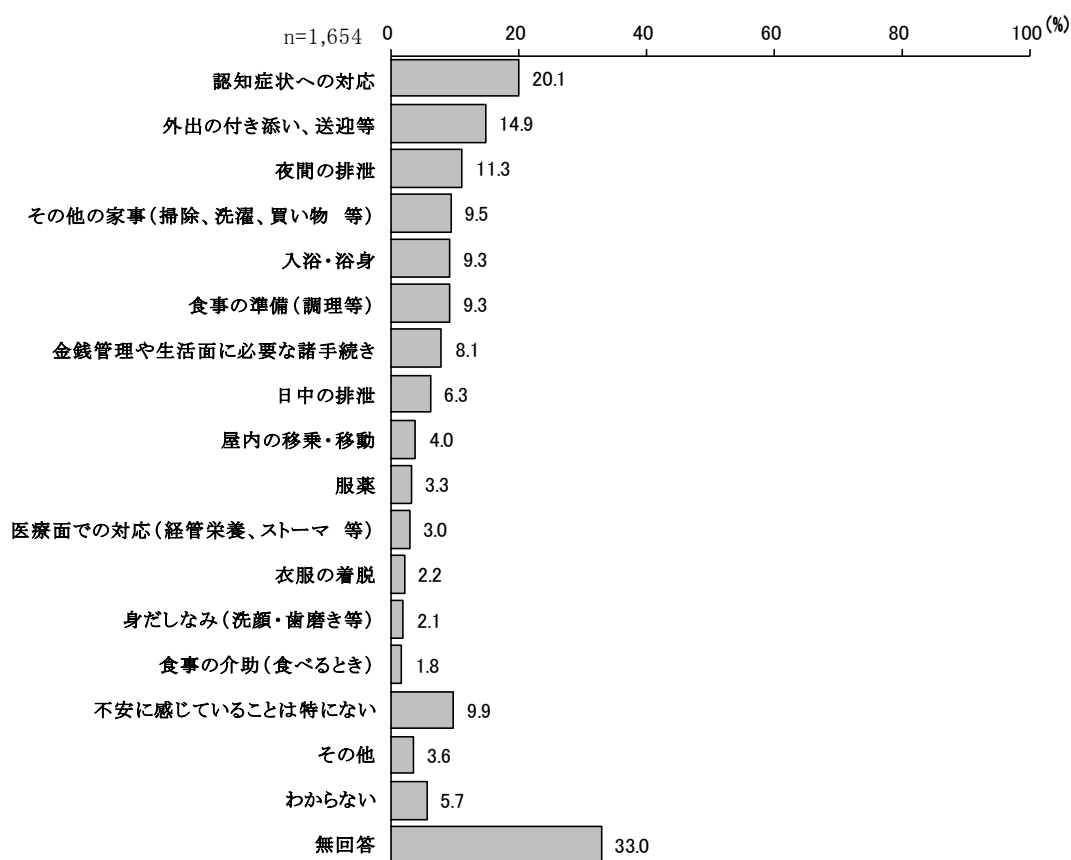


(16) 介護を継続するにあたっての不安【複数回答】

介護者

問53 現在の生活を継続していくにあたって、介護者の方が不安を感じる介護等は何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

○現在の生活を継続するにあたって、介護者の方が不安を感じる介護等は、「認知症状への対応」（20.1％）が最も多く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」（14.9％）、「夜間の排泄」（11.3％）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（9.5％）、「入浴・浴身」「食事の準備（調理等）」（ともに9.3％）となっています。

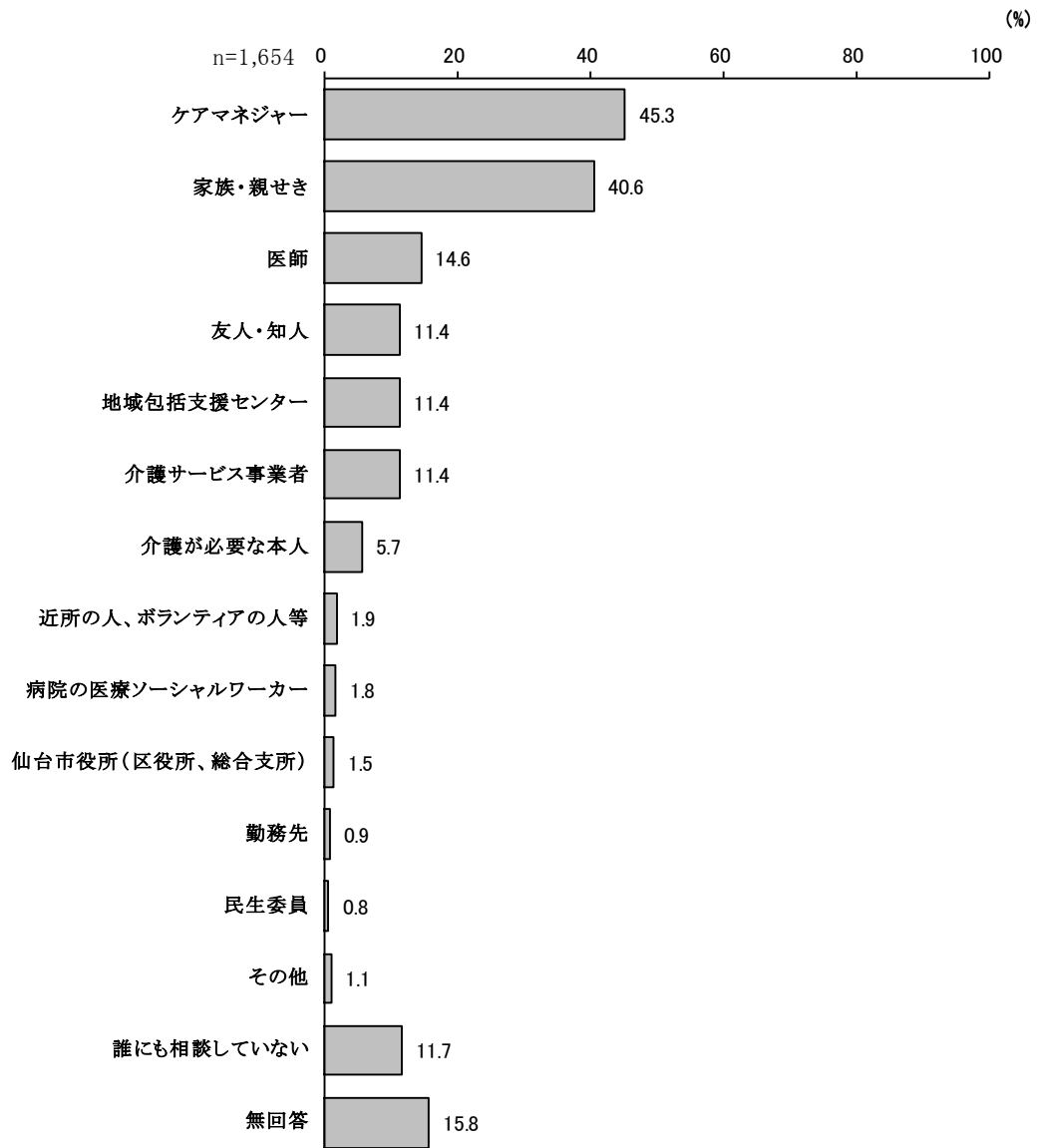


(17) 介護についての相談者【複数回答】

介護者

問54 介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。
（あてはまるものすべてに○）

○介護についての相談者は、「ケアマネジャー」（45.3%）が最も多く、次いで、「家族・親せき」（40.6%）、「医師」（14.6%）となっています。

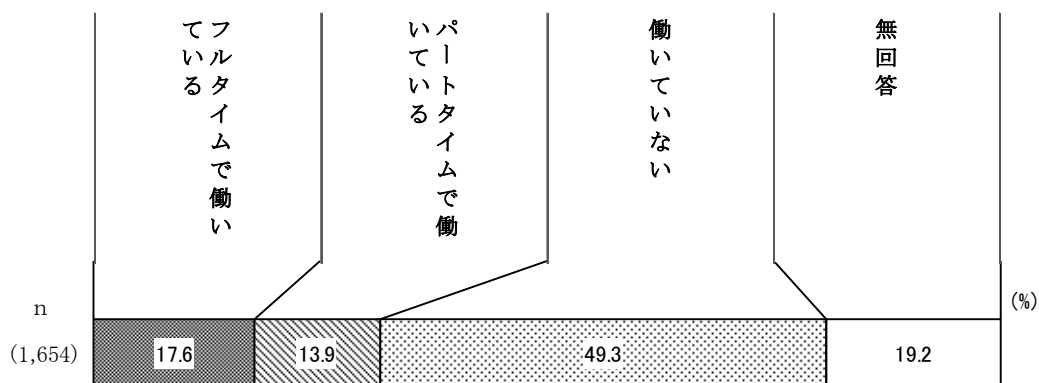


(18) 介護者の現在の勤務形態

介護者

問55 介護者の方の現在の勤務形態は次のうちどれですか。（あてはまるもの1つに○）

○介護者の現在の勤務形態は、「働いていない」（49.3%）が最も多く、次いで、「フルタイムで働いている」（17.6%）、「パートタイム^{※1}で働いている」（13.9%）となっています。



^{※1} 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかに該当します

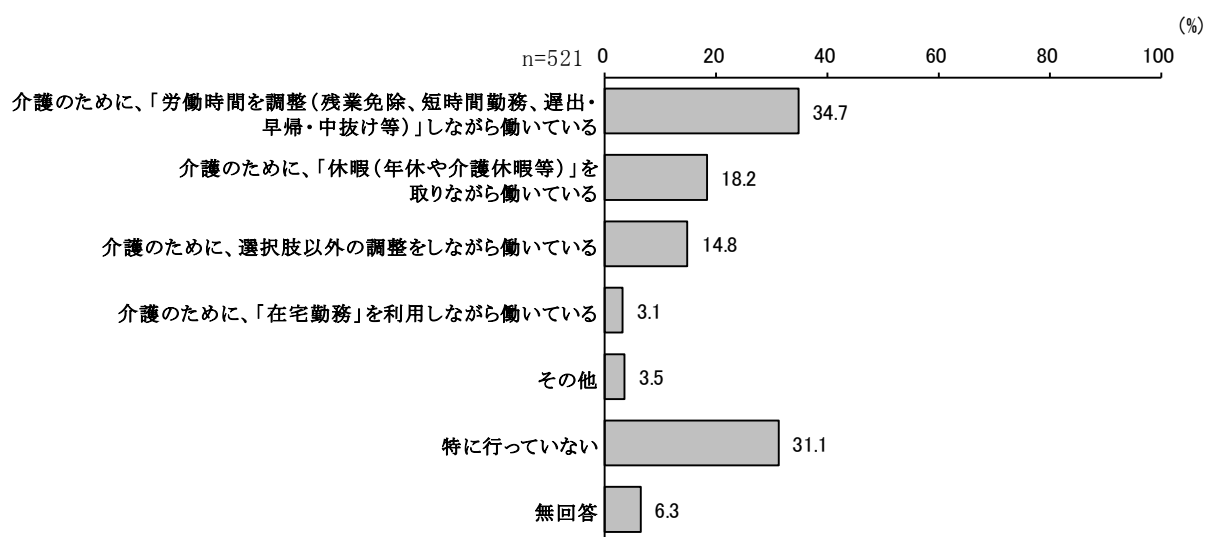
(19) 介護するための働き方の調整【複数回答】

介護者

問55-(1) 【問55で「働いている」と回答した方】

介護者の方が、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

○介護するために働き方を調整しているかは、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら働いている」（34.7%）が最も多く、次いで、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら働いている」（18.2%）となっています。一方、「特に行っていない」は31.1%となっています。



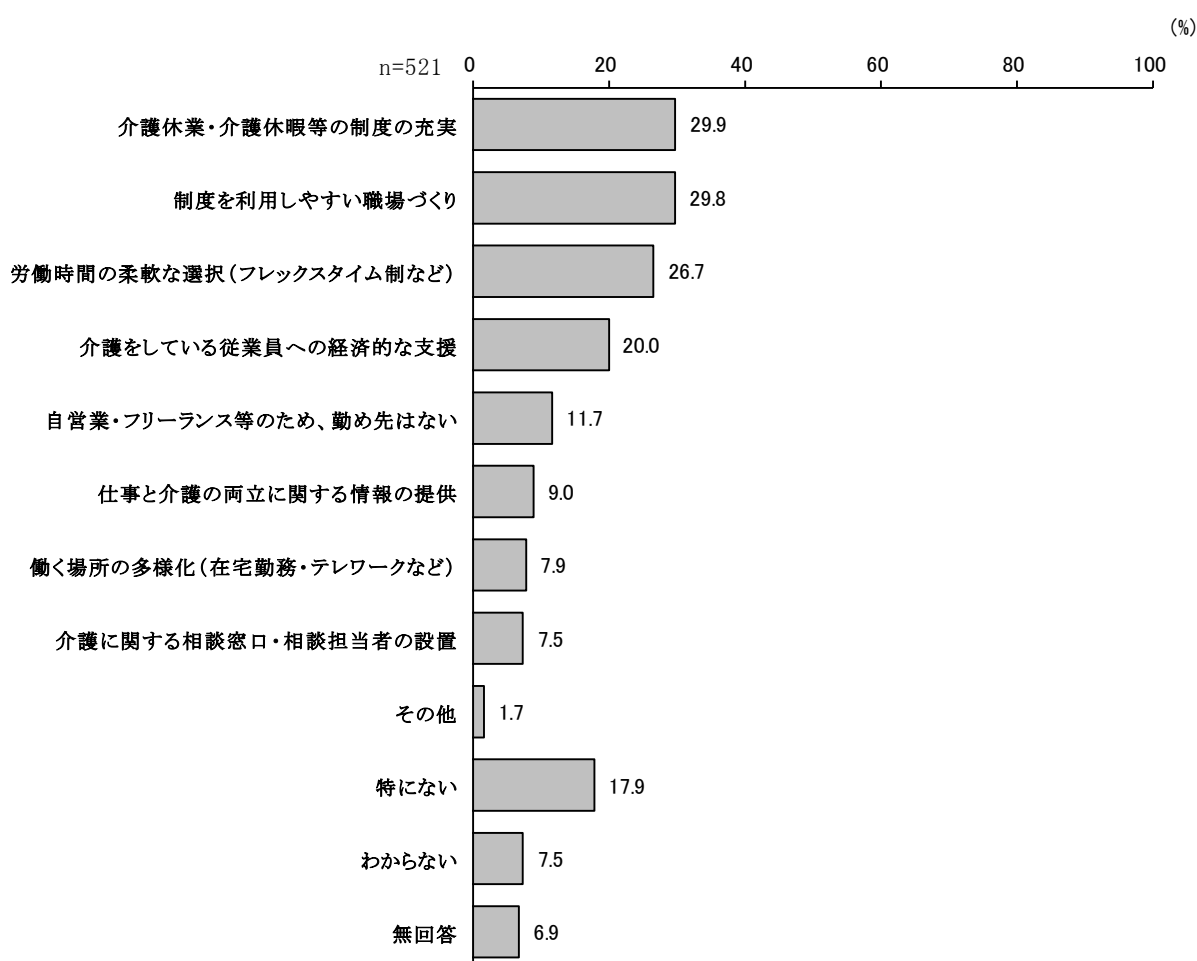
(20) 仕事と介護の両立に向けた勤務先の支援のあり方【複数回答】

介護者

問55-(2) 【問55で「働いている」と回答した方】

介護者の方が、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○仕事と介護の両立に向けた勤務先の効果的な支援のあり方は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(29.9%)が最も多く、次いで、「制度を利用しやすい職場づくり」(29.8%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(26.7%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(20.0%)となっています。

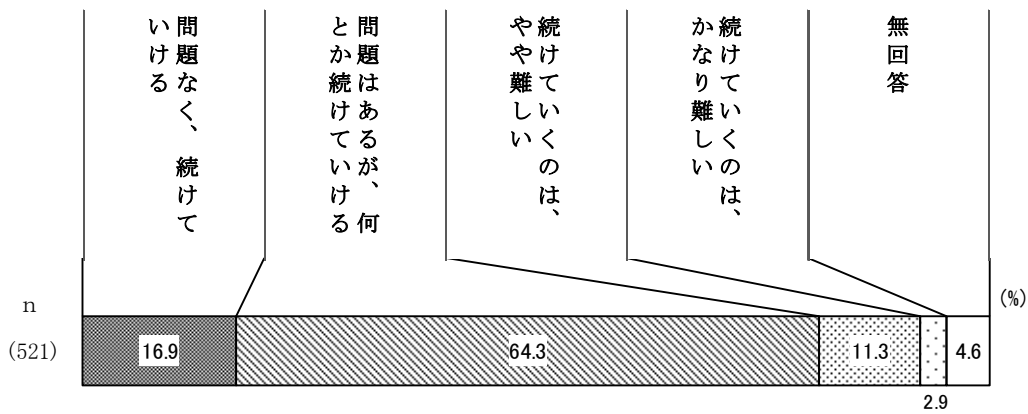


(21) 今後の仕事と介護の両立に対する意向

介護者

問55-(3) 【問55で「働いている」と回答した方】
 介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

○今後の仕事と介護の両立に対する意向は、「問題はあるが、何とか続けていける」(64.3%)
 が最も多く、次いで、「問題なく、続けていける」(16.9%)、「続けていくのは、やや難しい」(11.3%)
 となっています。

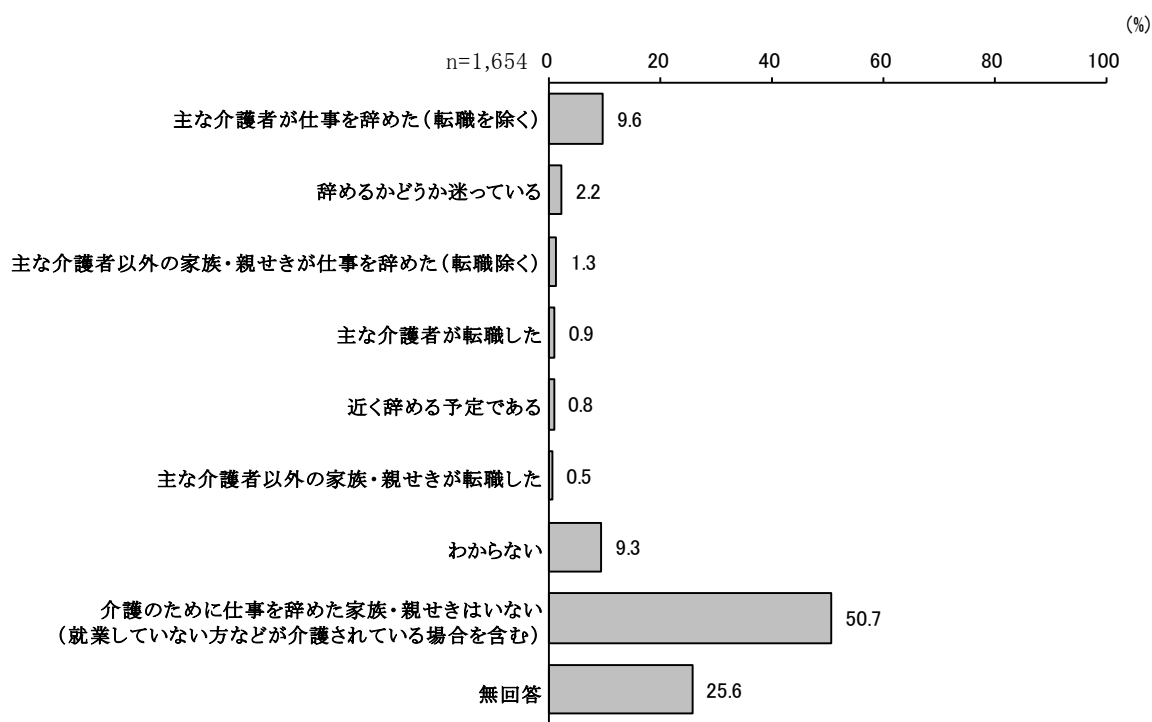


(22) 過去1年間、介護のために家族や親戚が離職の有無【複数回答】

介護者

問56 ご家族やご親せきの中で、ご本人の介護のために、仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや勤務形態は問いません）（あてはまるものすべてに○）

○過去1年間、介護のため家族や親戚の離職の有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親せきはいない」（50.7%）が最も多くなっています。一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」は9.6%となっています。

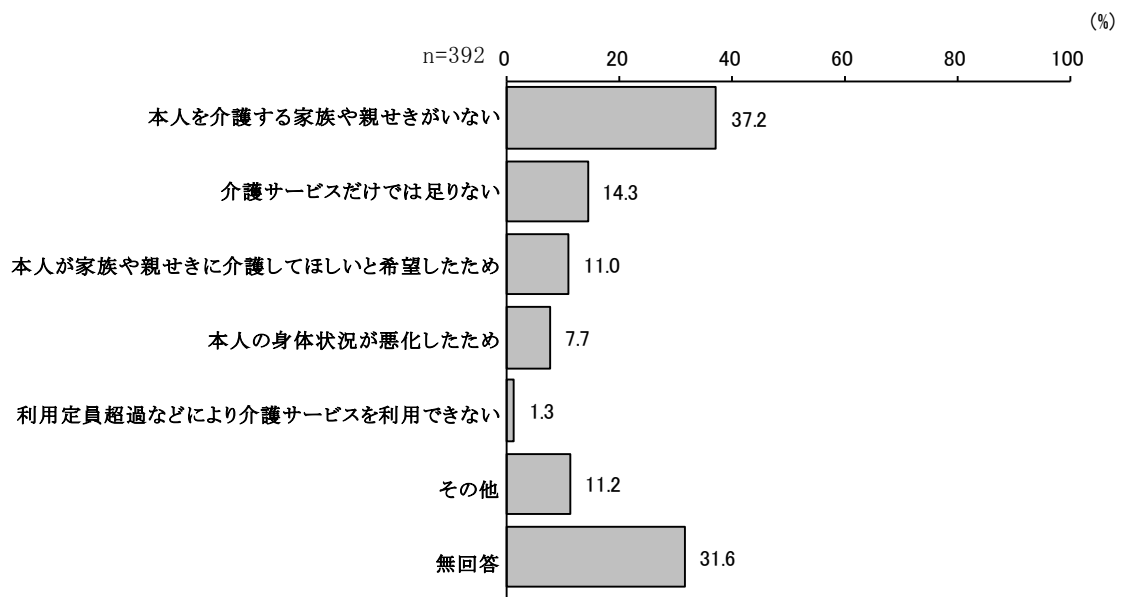


(23) 介護のために家族や親戚が離職や転職した理由【複数回答】

介護者

問56-(1) 【問56で「1」～「7」（退職・転職）のいずれかに回答した方のみ回答】
仕事を辞めた(検討・転職した)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○介護のために家族や親戚が離職や転職した理由は、「本人を介護する家族や親せきがない」(37.2%)が最も多く、次いで、「介護サービスだけでは足りない」(14.3%)、「本人が家族や親せきに介護してほしいと希望したため」(11.0%)となっています。



(24) 介護のために家族や親戚が離職していない理由【複数回答】

介護者

問56-(2) 【問56で「介護のために仕事を辞めた家族・親せきはいない」と回答した方】
 仕事を辞めたご家族やご親せきがいけない理由は何ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

○介護のために家族や親戚が離職していない理由は、「就業していない方などが介護されている」（33.5%）が最も多く、次いで、「介護サービスの利用でおぎなっている」（29.6%）、「本人の身体状況がよいため」（27.8%）となっています。また、「その他」の内容としては、「仕事を辞めた後に、介護が必要な状況となった」、「仕事と介護が両立出来ている」などが挙げられています。

